

第五次総合計画 アウトカム別指標

令和2年度実績報告書

総括実績報告書

館 林 市

目 次

	ページ
○令和2年度実績報告書	1～4
指標一覧	5～10
○総括実績報告書	11～16
指標一覧	17～28
I より良好な環境の形成・保全と安全安心なま	29～35
II 思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち	36～43
III 心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち	44～48
IV 子どもたちが健やかに成長できるまち	49～52
V 学ぶよろこびや豊かな心を育むまち	53～55
VI 便利で快適な住みやすいまち	56～61
VII 出会いと交流のある元気で活力のあるまち	63～69
VIII まちづくりのしくみが整い発展できるまち	70～74

令和2年度実績報告書

1 目的

この指標の実績調査は、第五次総合計画において各施策目的に設定した全指標の実績を把握し、今後の総合計画を推進していくうえで、基礎資料とするためのものです。

2 結果

各課から報告された令和2年度実績結果を取りまとめました。目標の方向性に対する結果は次表のとおりです。

(1)指標達成率：42.5%

内 訳	指標数
○アウトカム別指標	
目標の方向性におおむね合致している指標	45
目標の方向性に合致していない指標	61
合 計	106
○評価指標から除外した指標	
出典元となる統計調査等の集計年次でなかった指標等	12
新型コロナウイルスの影響で事業実施できなかった指標	2

※集計方法の変更により、当初の基準値との整合性が取れないものもあります

※次の指標については、出典元の公表時期の関係で令和元年度の実績値を使用しています

- ・施策目的09「メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の割合」
- ・施策目的10「周産期死亡率」
- ・施策目的18「駅（市内）の年間乗降人員」
- ・施策目的20「従業員一人当たりの付加価値額」
- ・施策目的21「従業者数」、「事業所数」、「製造品出荷額等」
- ・施策目的27「第六次行政改革大綱の進捗率」

(2)実績に対する分析

基本目的	全指標数	令和2年度			令和元年度			平成30年度			平成29年度			平成28年度		
		対象指標数	達成数	達成率	対象指標数	達成数	達成率	対象指標数	達成数	達成率	対象指標数	達成数	達成率	対象指標数	達成数	達成率
I よい良質な環境の形成・保全と安全安心なまち	21	21	9	42.9%	13	8	61.5%	13	9	69.2%	21	10	47.6%	21	12	57.1%
II 思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち	19	16	7	43.8%	12	9	75.0%	12	10	83.3%	16	13	81.3%	16	14	87.5%
III 心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち	15	13	4	30.8%	12	4	33.3%	10	3	30.0%	13	1	7.7%	13	1	7.7%
IV 子どもたちが健やかに成長できるまち	9	7	5	71.4%	7	5	71.4%	7	5	71.4%	9	4	44.4%	9	6	66.7%
V 学ぶよるこびや豊かな心を育むまち	9	9	2	22.2%	5	1	20.0%	5	2	40.0%	9	3	33.3%	9	1	11.1%
VI 便利で快適な住みやすいまち	15	10	7	70.0%	11	8	72.7%	11	8	72.7%	12	8	66.7%	10	9	90.0%
VII 出会いと交流のある元気で活力のあるまち	19	17	7	41.2%	15	6	40.0%	15	7	46.7%	17	7	41.2%	14	8	57.1%
VIII まちづくりのしくみが整い発展できるまち	13	13	4	30.8%	8	3	37.5%	8	2	25.0%	12	5	41.7%	12	6	50.0%
計	120	106	45	42.5%	83	44	53.0%	81	46	56.8%	109	51	46.8%	104	57	54.8%

①評価基準

令和2年度のアウトカム指標の評価を実施するにあたり、120指標中、出典元となる統計調査等の集計年次でなかった指標等12指標及び新型コロナウイルスの影響で事業実施できなかった2指標を除く、計106指標について評価を実施しました。

評価にあたっては、後期基本計画策定時に設定した基準値より数値が改善されているものを「達成」、改善されていないものを「未達成」として評価しました。

②全体分析

●全8分野中の5分野が前年度対比で低下しており、アウトカム指標全体の達成率は10.5ポイント低下したという結果でした。ただし、市民活動調査について、令和元年度実績には調査結果が含まれていなかった一方で、令和2年度実績には令和3年度に行った調査結果が含まれているなど、単純に前年度の達成率と比較できるものではありません。

●評価指標によっては、新型コロナウイルスの影響で数値が前年度より大幅に低下してしまったものや、事業自体を実施できなかったものがあります。

●達成率が高水準の分野は、「IV子どもたちが健やかに成長できるまち」（71.4%）、「VI便利で快適な住みやすいまち」（70.0%）でした。

●達成率が改善した分野については、「V学ぶよろこびや豊かな心を育むまち」（22.2%）が前回（20.0%）よりも2.2ポイント改善し、「VII出会いと交流のある元気で活力のあるまち」（41.2%）も前回（40.0%）よりも1.2ポイント改善しました。

●一方、達成率が低下した分野については、「Iより良好な環境の形成・保全と安全安心なまち」（42.9%）が前回より18.6ポイント低下、「II思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち」（43.8%）が前回よりも31.2ポイントの低下が見られました。

③個別分析

I より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち

達成率は42.9%であり、前回調査の61.5%から18.6ポイント低下しました。防災に関する指標はおおむね達成されていますが、BOD数値、資源化率、水道事業有効率、消防車の平均到着時間、消費生活センター出前講座回数などが未達成となっており、引き続き指標の改善に向けた取組が必要と考えられます。特にBOD数値や資源化率については、市民一人一人の日常生活に起因するところが大きいため、環境改善に関する市民意識の向上に向けた取組の強化が求められます。

II 思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち

達成率は43.8%で前回調査の75.0%よりも31.2ポイント低下し、8分野の中で最も下落幅の大きい結果となりました。ボランティアや高齢者、障がい者等に対する指標は、それぞれ良好に推移していますが、市民活動調査の項目がいずれも未達成でした。

達成率が大幅に低下したのは、集計年次の関係で令和2年度実績の対象指標数が前年度の約1.3倍の個数であったことも要因であると考えられます。

※今回、未達成に転じた指標：生きいきサークル活動人数、介護支援ボランティア活動人数

III 心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち

達成率は30.8%で、前回調査の33.3%から2.5ポイント低下しました。検診受診率など健康づくりに関する10指標のうち8指標が未達成となっているため、受診率の向上や健康づくりに関する市民意識の向上に向けて引き続き取組を強化する必要があります。

※今回、達成に転じた指標：健康づくりグループ活動人数

IV 子どもたちが健やかに成長できるまち

達成率は前回調査の71.4%から変動がありませんでした。なお、新型コロナウイルスの影響で小・中学校数において新体力テストを実施することができなかつたため、同指標は評価対象外としています。

標準学力テストで全国平均を上回る中学校数が今回達成に転じたものの、5か年の平均値では基準値に満たないため、学力向上への取組を継続していく必要があります。

※今回、達成に転じた指標：予防接種の接種率、標準学力テストで全国平均を上回る中学校数

V 学ぶよろこびや豊かな心を育むまち

達成率は22.2%で、前回調査の20.0%から2.2ポイント改善しています。文化施設における年間利用者数については、前回調査の213,501人から48,049人へ大幅な減少となりましたが、新型コロナウイルスの影響で休館や利用制限があったことが要因であると考えられます。引き続き、感染症対策を行いながら利用促進を図る必要があります。公園競技施設利用者数についても、同様の事情により未達成となっています。

一方、週1回以上のスポーツ実施率は今回達成に転じていますが、健康寿命の延伸及び健康増進のため、引き続き市民全体のスポーツ実施率の向上に向けて取組を強化する必要があります。

※今回、達成に転じた指標：週1回以上のスポーツ実施率

※今回、未達成に転じた指標：生涯学習ボランティア登録者（団体）数

VI 便利で快適な住みやすいまち

達成率は70.0%で、前回調査の72.7%から2.7ポイント低下しました。前回調査と同様、電車やバスなど公共交通の指標の向上が課題であるといえます。

なお、館林東西駅前広場連絡通路の通行量の令和2年度実績については、令和2年度から同連絡通路の管理が所管替えとなったことに伴い、調査を行っていません。

VII 出会いと交流のある元気で活力のあるまち

達成率は41.2%であり、前回調査の40.0%から1.2ポイント改善されています。産業面では、従業員一人当たりの付加価値額や製造品出荷額等の指標が達成となっています。農業面では、認定農業者や農用地の集積に関する指標は達成できている一方で、荒廃農地の面積は年々増加しており、事業者の高齢化や後継者不足による事業承継などが課題となっています。また、観光分野に関する指標が全て未達成となっていますが、新型コロナウイルスの影響を強く受けているものです。

※今回、達成に転じた指標：創業塾受講後の市内起業件数

VIII まちづくりのしくみが整い発展できるまち

達成率は30.8%で、前回調査の37.5%から6.7ポイント低下しました。特に人権尊重に関する指標や財政指標が低迷しているため、在住外国人への対応や歳入と歳出のバランスの取れた財政運営に取り組む必要があります。

※今回、未達成に転じた指標：在住外国人を支援する市民の数（法人）

3 対応

本結果は第六次総合計画推進のための基礎資料とし、各指標の目標達成に向けて取り組むものとします。

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (令和2年度)	備考	
環境と安全	I	より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち				
		01 良好な環境のなかで、快適に暮らすことができるまちになる				
			・ BOD数値(城沼中央の水質)		×	
			・ 下水道水洗化率		○	
			・ CO2排出の抑制を心がけている市民の割合		×	市民活動調査
			・ 良好な環境をつくるための活動をしている市民の割合		×	市民活動調査
		02 ごみを減らし、資源を生かすまちになる				
			・ 市民一人あたりごみの排出量(1日あたり)		○	
			・ 資源化率		×	
			・ ごみ減量のためにさまざまな工夫をしている市民の割合		×	市民活動調査
			・ 地域として、ごみの発生抑制、再利用、再資源化に取り組んでいる市民の割合		×	市民活動調査
		03 安全でおいしい水が安定的に供給されているまちになる				
			・ 有効率(有効水量/総配水量)		×	
		04 災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる				
			・ 自主防災組織設置率		○	
			・ 幹線排水路の整備率		○	
			・ 公共下水道雨水きよの整備率		○	
			・ 消防車の平均到着時間		×	
			・ 救急車の平均到着時間		○	
			・ 刑法犯認知件数		○	
			・ 交通事故発生件数		○	
			・ 消費生活センター出前講座回数		×	
			・ 災害に備えさまざまな準備をしている市民の割合		○	市民活動調査
			・ ご近所の方たちと声かけをしている市民の割合		×	市民活動調査
			・ 自主防災組織などに参加している市民の割合		×	市民活動調査
			・ 地域ぐるみで自主防犯活動などを行っている市民の割合		×	市民活動調査

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (令和2年度)	備考
福祉と健康	II	思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち			
		05 地域で支えあい、誰もが自立できるまちになる			
			・ 福祉ボランティア登録者数	○	
			・ 福祉NPO法人数	×	
			・ 小地域ネットワーク設置数	—	
			・ 小地域ネットワーク協力者数	—	
			・ 地域のなかで相談したり、助け合える友人・知人がいる市民の割合	×	市民活動調査
			・ 地域の困った問題を、近所で協力して取り組んでいる市民の割合	×	市民活動調査
		06 高齢者が生涯はつらつと生活できるまちになる			
			・ 第1号被保険者に占める要介護認定及び要支援認定者の割合	×	
			・ 高齢者の就業割合	—	
			・ 生きいきサークル活動団体数	○	
			・ 生きいきサークル活動人数	×	
			・ 介護支援ボランティア活動人数	×	
			・ 高齢者などが、住みなれたまちで、いきいきと生活するために地域で支えあう活動をしている市民の割合	×	市民活動調査
		07 障がい者が自立した生活をおくることができるまちになる			
			・ 民間企業における障がい者の実雇用率	○	
			・ 法定雇用率達成企業の割合	○	
			・ 障がい者などが、住みなれたまちで、いきいきと生活するために地域で支えあう活動をしている市民の割合	×	市民活動調査
		08 互いに助けあい、安心して生活できるまちになる			
			・ 国民年金保険料納付率	○	
			・ 国民健康保険税収納率	○	
			・ 生活保護受給世帯から自立した世帯数	×	
			・ 児童扶養手当受給者のうち自立した受給者数	○	

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (令和2年度)	備考			
福祉と健康	Ⅲ	心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち						
		09 地域全体で健康づくりに取り組むまちになる						
			健康づくりグループ活動団体数		×			
			健康づくりグループ活動人数		○			
			大腸がん検診受診率		×			
			子宮頸がん検診受診率		×			
			乳がん検診受診率		×			
			生活習慣病予防健康診査のうち、要指導、要医療者の割合		×			
			メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者及び予備群の割合		×			
			健康の維持や体を鍛えるために運動をしている市民の割合		○	市民活動調査		
			定期的に健康診断を受けている市民の割合		×	市民活動調査		
			心身ともに元気で暮らせるよう、地域の人々とともに健康づくり活動をしている市民の割合		×	市民活動調査		
			10 適切な医療を受けることができるまちになる					
			かかりつけ医所持率		—			
			かかりつけ歯科医所持率		—			
			救急救命士の有資格者数(館林地区消防組合)		○			
			普通救命講習受講者数		×			
			周産期死亡率		○			
		子育てと学び	Ⅳ	子どもたちが健やかに成長できるまち				
				11 子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる				
	乳幼児健康診査受診率				○			
	予防接種の接種率(麻しん風しん)				○			
	妊婦健康診査受診率				○			
	子育て中の親を応援する活動を行っている市民の割合				×	市民活動調査		
	子どもの心身の健全な成長を応援する活動を行っている市民の割合				×	市民活動調査		
	12 心身ともに健康で確かな学力を身につけた子どもが育つまちになる							
	標準学力テストで全国平均を上回る小学校数(国語・算数2教科)6年生				○			
	標準学力テストで全国平均を上回る中学校数(国語、社会、数学、理科、英語 5教科)2年生				○			
	新体力テストで全国平均を上回る小学校数 5年生		—					
	新体力テストで全国平均を上回る中学校数 2年生		—					

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (令和2年度)	備考	
子育てと学び	V	学ぶよるこびや豊かな心を育むまち				
		13 生涯にわたって学び続けることができるまちになる				
			・ 生涯学習ボランティア登録者(団体)数		×	
			・ 生涯学習関係団体・サークルの登録数		×	
			・ 自分を高めるために何かを勉強したり、研究している市民の割合		○	市民活動調査
		14 芸術や文化、歴史や伝統を知り親しむことで、郷土に愛着と誇りが持てるまちになる				
			・ 文化施設における年間利用者数		×	
			・ 芸術文化活動を行っている市民の割合		×	市民活動調査
			・ 芸術や文化などに学ぶ意欲を持つ人々のために貢献する活動を行っている市民の割合		×	市民活動調査
		15 楽しんでスポーツができる環境があり、スポーツが盛んなまちになる				
			・ 週1回以上のスポーツ実施率		○	
			・ 公園競技施設の利用者数		×	
			・ スポーツに取り組む市民のために貢献する活動を行っている市民の割合		×	市民活動調査
		都市と産業	VI	便利で快適な住みやすいまち		
16 地域性に応じた土地利用ができていくまちになる						
	・ 地区計画の区域数				○	
17 まちなかににぎわいがあるまちになる						
	・ 館林東西駅前広場連絡通路の通行量				—	
	・ 市街化区域内の人口密度				×	
	・ 中心市街地内の事業所数				—	
18 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる						
	・ 土地区画整理事業進捗率(西部第一南地区)				○	
	・ 土地区画整理事業進捗率(西部第一中地区)				○	
	・ 土地区画整理事業進捗率(西部第二地区)				○	
	・ 走行速度調査(国道122号)				—	
	・ 走行速度調査(国道354号)				—	
	・ 走行速度調査(主要地方道佐野行田線)				—	
	・ 都市計画道路の整備率				○	
	・ 市道の整備率				○	
	・ 駅(市内)の年間乗降人員		×			
	・ 路線バスの年間利用者数		×			

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (令和2年度)	備考	
都市と産業	VI	19 緑の多い魅力のあるまちになる				
		・ 市民一人当たりの都市公園面積		○		
	出合いと交流のある元気で活力のあるまち					
	VII	20 新しい産業が起きるまちになる				
		・ 従業員一人当たりの付加価値額		○		
		・ 創業塾受講後の市内起業件数		○		
		・ 企業立地件数		×		
		21 事業者の活発な活動により、商工業が盛んなまちになる				
		・ 小売業・卸売業の商店数		—		
		・ 小売業・卸売業の年間商品販売額		—		
		・ 従業者数(従業者4人以上の製造業を営む事業所時務める従業者数)		×		
		・ 事業所数(従業者4人以上の製造業を営む事業所数)		×		
		・ 製造品出荷額等		○		
		22 安定した労働環境が整っているまちになる				
		・ 有効求人倍率(ハローワーク館林管内)		○		
		・ 新規就職者数(ハローワーク館林管内)		×		
	23 農産物を安定して提供できるまちになる					
	・ 認定農業者数		○			
	・ 農業法人数		○			
	・ 農用地利用集積面積		○			
	・ 荒廃農地の面積		×			
	24 多くの人が訪れたい個性と魅力のあるまちになる					
	・ 観光客入込数		×			
	・ 観光ボランティアガイドの団体数		×			
・ 観光ボランティアガイドの登録者数		×				
・ 地域の行事などに参加している市民の割合		×	市民活動調査			
・ 国内外から来訪した方たちと交流をすすめる活動をしている市民の割合		×	市民活動調査			

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (令和2年度)	備考	
計画の推進	VIII	まちづくりのしくみが整い発展できるまち				
		25 まちづくりを市民と行政が共創しておこなうまちになる				
			・ 館林市内に主たる事務所があるNPO法人数	×		
			・ 「ちょいボラ」登録者数	○		
			・ 共に魅力的なまちを創るために活動している市民の割合	×		市民活動調査
		26 人権尊重の意識が生活の中に定着した住みよいまちになる				
			・ 在住外国人を支援する市民の数(個人等)	×		
			・ 在住外国人を支援する市民の数(法人)	×		
			・ 男性優位と思う市民の割合(男女の地位の平等感)	×		
			・ 人権が尊重される平和な社会をつくるための活動をしている市民の割合	×		市民活動調査
		27 高品質で生産性の高い行政活動が展開されているまちになる				
			・ 第六次行政改革大綱の進捗状況	○		
			・ 実質公債費比率 (早期健全化基準 25%)	×		
			・ 将来負担比率 (早期健全化基準 350%)	×		
		28 開かれた行政となり、透明性の高いまちになる				
			・ まちづくりに関する意見	×		
			・ インターネットを活用して情報検索や情報発信している市民の割合	○		市民活動調査
			・ 館林市のホームページを閲覧している市民の割合	○		市民活動調査

総括実績報告書

1 目的

この指標の実績調査は、第五次総合計画において各施策目的に設定した全指標の実績を把握し、今後の総合計画を推進していくうえで、基礎資料とするためのものです。

2 結果

各課から報告された令和2年度実績結果を取りまとめました。目標の方向性に対する結果は次表のとおりです。なお、令和2年度実績の中には、集計年次でなく数値が取れなかった指標や、新型コロナウイルスの影響で実績が低下した（又は事業を実施できなかった）指標が含まれます。それらの指標については、以下のように考慮した集計を行いました。

[総括] 集計年次でなく数値が取れなかった指標について、令和元年度までの実績を用いて評価

[参考] 上記の集計に加えて、新型コロナウイルスの影響で実績が低下した（又は事業を実施できなかった）指標について、令和元年度までの実績を用いて評価

(1)指標達成率： [総括] **46.1%** [参考] **47.8%**

内 訳	指標数	
	[総括]	[参考]
○アウトカム別指標		
目標の方向性におおむね合致している指標	53	55
目標の方向性に合致していない指標	62	60
合 計	115	115
○評価指標から除外した指標		
出典元となる統計調査等の集計年次でなかった指標等	5	5

※集計方法の変更により、当初の基準値との整合性が取れないものもあります

※[総括]・[参考]の除外5指標については、5か年で一度も数値が取れず、評価に含めることが不可能なものです

※次の指標については、出典元の公表時期の関係で令和元年度の実績値を使用しています

- ・ 施策目的09「メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の割合」
- ・ 施策目的10「周産期死亡率」
- ・ 施策目的18「駅（市内）の年間乗降人員」
- ・ 施策目的20「従業員一人当たりの付加価値額」
- ・ 施策目的21「従業者数」、「事業所数」、「製造品出荷額等」
- ・ 施策目的27「第六次行政改革大綱の進捗率」

(2)実績に対する分析

基本目的	全指標数	令和2年度(総括)		
		対象指標数	達成数	達成率
I より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち	21	21	9	42.9%
II 思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち	19	17	9	52.9%
III 心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち	15	15	6	40.0%
IV 子どもたちが健やかに成長できるまち	9	9	7	77.8%
V 学ぶよろこびや豊かな心を育むまち	9	9	2	22.2%
VI 便利で快適な住みやすいまち	15	12	8	66.7%
VII 出会いと交流のある元気で活力のあるまち	19	19	8	42.1%
VIII まちづくりのしくみが整い発展できるまち	13	13	4	30.8%
計	120	115	53	46.1%

①評価基準

アウトカム指標の評価を実施するにあたり、120指標中、出典元となる統計調査等の集計年次でなかった指標等5指標を除く、計115指標について評価を実施しました。

評価にあたっては、後期基本計画策定時に設定した基準値より数値が改善されているものを「達成」、改善されていないものを「未達成」として評価しました。

②全体分析

- 全体としての指標達成率は46.1%でした。
- 全8分野のうち、達成率が50%以上のものは、「II 思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち」「IV 子どもたちが健やかに成長できるまち」「VI 便利で快適な住みやすいまち」の3分野でした。
- 達成率が最も高い分野は、「IV 子どもたちが健やかに成長できるまち」(77.8%)でした。
- 達成率が最も低い分野は、「V 学ぶよろこびや豊かな心を育むまち」(22.2%)でした。
- 評価指標によっては、新型コロナウイルスの影響で数値が前年度より大幅に低下してしまったものがあります。
- 新型コロナウイルスの影響を差し引いて評価しても、47.8% (参考) であり、依然として約

③個別分析

改善率 = R2実績値/基準値-1

I より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち

評価対象：21指標 達成率42.9%

●基準値に対して改善されている指標

『交通事故発生件数』：関係機関と連携し啓発活動を実施するとともに、地域要望等に基づき交通安全施設の整備・維持に努めた結果、改善率が50.5%となりました。

『刑法犯認知件数』：行政区による自主防犯パトロール等の防犯活動を支援するとともに、関係機関と連携を図り、犯罪や事故の未然防止に努めた結果、改善率が32.8%となりました。

●基準値に対して改善されなかった指標

『消費生活センター出前講座回数』：新型コロナウイルスの影響で出前講座の実施が困難になり、改善率が△94.1%と大幅に下がりました。

『消防車の平均到着時間』：令和2年度の庁舎移転により出動地域等に変更が生じたため、令和元年度までの数値とは異なる結果となりました（改善率△10.8%）。

II 思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち

評価対象：17指標 達成率52.9%

●基準値に対して改善されている指標

『生きいきサークル活動団体数』：平成28年度に大幅に増加後、5か年で微減傾向でしたが、参加者の自立支援と参加の促進を支援した結果、改善率は66.7%となりました。

『障がい者の実雇用率』：8年連続で過去最高を更新・3年連続で全国平均（2.15%）を上回り、全国順位は37位となりました（改善率20.0%）。

●基準値に対して改善されなかった指標

『生きいきサークル活動人数』：参加者の高齢化を受けて、市の介護予防教室の卒業生の参加促進や、いつでもどこでも行える「生きいき百歳体操」の普及を図りましたが、依然として減少傾向にあります（※改善率△16.4%、△56.4%）。

※活動実人数、活動延人数それぞれの改善率

『生活保護受給世帯から独立した世帯数』：被保護者の高齢化等により稼働年齢者が激減しており、就労による自立が困難な状況であるため、改善率は△13.6%となりました。

Ⅲ 心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち

評価対象：15指標 達成率40.0%

●基準値に対して改善されている指標

『周産期死亡率』：子育て世代包括支援センター「かるがも相談室」での妊娠届出時アンケート調査や、妊婦健康診査の受診結果に基づく妊婦訪問やママパパ学級等の支援など、細やかな心理的配慮のある保健指導や相談を実施しました。その結果、周産期死亡率は年々低下し、母子の健康増進及び安全なお産につなげることができました（改善率100%）。

『救急救命士の有資格者数』：救急救命士の育成に取り組んだ結果、改善率は41.5%となりました。

●基準値に対して改善されなかった指標

『普通救命講習受講者数』：令和元年度から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、派遣型の講習会を中止している状況であるため、改善率は△99.2%となりました。

『乳がん検診受診率』：初発年齢への無料クーポン券の配布や未受診者への再受診勧奨を行ってきましたが、国の方針によりH29年度から実績の算出方法を「人口に対する受診率」に変更したことが影響し、改善率は△70.6%となりました。

Ⅳ 子どもたちが健やかに成長できるまち

評価対象：9指標 達成率77.8%

●基準値に対して改善されている指標

『標準学力テストで全国平均を上回る小学校数』及び

『標準学力テストで全国平均を上回る中学校数』：基礎・基本の確実な定着について取り組んだ結果、改善率は25.0%となりました。

※基準値に対して改善されなかった指標は、市民活動調査以外ではありませんでした。

Ⅴ 学ぶよろこびや豊かな心を育むまち

評価対象：9指標 達成率22.2%

●基準値に対して改善されている指標

『週1回以上のスポーツ実施率』：健康への関心の高まりのほか、各種スポーツ事業の開催や施設の維持管理等の環境整備を行ってきた結果、改善率は24.4%となりました。

●基準値に対して改善されなかった指標

『公園競技施設の利用者数』：新型コロナウイルスの影響から、令和元年度から施設の貸し出しを中止していたため、改善率は△80.7%となりました。

『文化施設における年間利用者数』：新型コロナウイルス感染拡大による休館や人数制限、各種事業等の中止などの影響があったため、改善率は△78.5%となりました。

VI 便利で快適な住みやすいまち

評価対象：12指標 達成率66.7%

●基準値に対して改善されている指標

『市民一人当たりの都市公園面積』：都市公園の1箇所増及び都市公園面積の2,745㎡増により、改善率は88.1%となりました。

『土地区画整理事業進捗率（西部第二地区）』：国庫補助（道路区画）や新たな交付金（都市再生区画）も活用しながら整備を進めた結果、改善率は32.1%となりました。

●基準値に対して改善されなかった指標

『路線バスの年間利用者数』：新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は大幅な減となってしまったため、改善率は△33.1%となりました。

『市街化区域内の人口密度』：市全体として人口減少が進んでいるため、改善率は△6.3%となりました。

VII 出会いと交流のある元気で活力のあるまち

評価対象：19指標 達成率42.1%

●基準値に対して改善されている指標

『創業塾受講後の市内起業件数』：創業補助金の支給前に創業計画を指摘するなど、創業者の支援に取り組んだ結果、改善率は100%となりました。

『農用地利用集積面積』：農地所有者の高齢化が進む中で、耕作できなくなった高齢者所有農地（自作地）が地域の担い手へ貸付されたため、改善率は28.1%となりました。

●基準値に対して改善されなかった指標

『荒廃農地の面積』：農業委員及び推進委員による農地パトロールを実施しましたが、農業従事者の高齢化や後継者不足、新規就農者の減少などにより、改善率は△201.5%となりました。

『観光客入込数』：既存事業に捉われない新たな観光として、「里沼」やアニメ「宇宙よりも遠い場所」を活用した観光事業を展開してきましたが、新型コロナウイルスの影響により改善率は△68.7%となりました。

VIII まちづくりのしくみが整い発展できるまち

評価対象：13指標 達成率30.8%

●基準値に対して改善されている指標

『「ちょいボラ」登録者数』：ホームページへの掲載や、窓口でのチラシ配布等の周知活動を続けた結果、改善率は119.0%となりました。

●基準値に対して改善されなかった指標

『実質公債化比率』：一部事務組合の施設整備に伴う組合負担金の増加などにより、改善率は△20.9%となりました。

『まちづくりに関する意見』：市政に生かすため、電子メールや文書、電話、面談等のあらゆる手段によって意見要望等を受け付けてきましたが、改善率は△49.2%となりました。

3 対応

本結果は第六次総合計画推進のための基礎資料とし、各指標の目標達成に向けて取り組むものとしします。

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (総括)	備考	
環境と安全	I	より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち				
		01 良好な環境のなかで、快適に暮らすことができるまちになる				
			・ BOD数値(城沼中央の水質)		×	
			・ 下水道水洗化率		○	
			・ CO2排出の抑制を心がけている市民の割合		×	市民活動調査
			・ 良好な環境をつくるための活動をしている市民の割合		×	市民活動調査
		02 ごみを減らし、資源を生かすまちになる				
			・ 市民一人あたりごみの排出量(1日あたり)		○	
			・ 資源化率		×	
			・ ごみ減量のためにさまざまな工夫をしている市民の割合		×	市民活動調査
			・ 地域として、ごみの発生抑制、再利用、再資源化に取り組んでいる市民の割合		×	市民活動調査
		03 安全でおいしい水が安定的に供給されているまちになる				
			・ 有効率(有効水量/総配水量)		×	
		04 災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる				
			・ 自主防災組織設置率		○	
			・ 幹線排水路の整備率		○	
			・ 公共下水道雨水きよの整備率		○	
			・ 消防車の平均到着時間		×	
			・ 救急車の平均到着時間		○	
			・ 刑法犯認知件数		○	
			・ 交通事故発生件数		○	
			・ 消費生活センター出前講座回数		×	
			・ 災害に備えさまざまな準備をしている市民の割合		○	市民活動調査
			・ ご近所の方たちと声かけをしている市民の割合		×	市民活動調査
			・ 自主防災組織などに参加している市民の割合		×	市民活動調査
			・ 地域ぐるみで自主防犯活動などを行っている市民の割合		×	市民活動調査

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (総括)	備考	
福祉と健康	II	思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち				
		05 地域で支えあい、誰もが自立できるまちになる				
			・ 福祉ボランティア登録者数	○		
			・ 福祉NPO法人数	×		
			・ 小地域ネットワーク設置数	—		
			・ 小地域ネットワーク協力者数	—		
			・ 地域のなかで相談したり、助け合える友人・知人がいる市民の割合	×		市民活動調査
			・ 地域の困った問題を、近所で協力して取り組んでいる市民の割合	×		市民活動調査
		06 高齢者が生涯はつらつと生活できるまちになる				
			・ 第1号被保険者に占める要介護認定及び要支援認定者の割合	×		
			・ 高齢者の就業割合	○		
			・ 生きいきサークル活動団体数	○		
			・ 生きいきサークル活動人数	×		
			・ 介護支援ボランティア活動人数	○		
			・ 高齢者などが、住みなれたまちで、いきいきと生活するために地域で支えあう活動をしている市民の割合	×		市民活動調査
		07 障がい者が自立した生活をおくることができるまちになる				
			・ 民間企業における障がい者の実雇用率	○		
			・ 法定雇用率達成企業の割合	○		
			・ 障がい者などが、住みなれたまちで、いきいきと生活するために地域で支えあう活動をしている市民の割合	×		市民活動調査
		08 互いに助けあい、安心して生活できるまちになる				
			・ 国民年金保険料納付率	○		
			・ 国民健康保険税収納率	○		
			・ 生活保護受給世帯から自立した世帯数	×		
			・ 児童扶養手当受給者のうち自立した受給者数	○		

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (総括)	備考			
福祉と健康	Ⅲ	心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち						
		09 地域全体で健康づくりに取り組むまちになる						
			健康づくりグループ活動団体数		×			
			健康づくりグループ活動人数		○			
			大腸がん検診受診率		×			
			子宮頸がん検診受診率		×			
			乳がん検診受診率		×			
			生活習慣病予防健康診査のうち、要指導、要医療者の割合		×			
			メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者及び予備群の割合		×			
			健康の維持や体を鍛えるために運動をしている市民の割合		○	市民活動調査		
			定期的に健康診断を受けている市民の割合		×	市民活動調査		
			心身ともに元気で暮らせるよう、地域の人々とともに健康づくり活動をしている市民の割合		×	市民活動調査		
			10 適切な医療を受けることができるまちになる					
			かかりつけ医所持率		○			
			かかりつけ歯科医所持率		○			
			救急救命士の有資格者数(館林地区消防組合)		○			
			普通救命講習受講者数		×			
			周産期死亡率		○			
		子育てと学び	Ⅳ	子どもたちが健やかに成長できるまち				
				11 子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる				
	乳幼児健康診査受診率				○			
	予防接種の接種率(麻しん風しん)				○			
	妊婦健康診査受診率				○			
	子育て中の親を応援する活動を行っている市民の割合				×	市民活動調査		
	子どもの心身の健全な成長を応援する活動を行っている市民の割合				×	市民活動調査		
	12 心身ともに健康で確かな学力を身につけた子どもが育つまちになる							
	標準学力テストで全国平均を上回る小学校数(国語・算数2教科)6年生				○			
	標準学力テストで全国平均を上回る中学校数(国語、社会、数学、理科、英語 5教科)2年生				○			
	新体力テストで全国平均を上回る小学校数 5年生		○					
	新体力テストで全国平均を上回る中学校数 2年生		○					

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (総括)	備考	
子育てと学び	V	学ぶよるこびや豊かな心を育むまち				
		13 生涯にわたって学び続けることができるまちになる				
			・ 生涯学習ボランティア登録者(団体)数		×	
			・ 生涯学習関係団体・サークルの登録数		×	
			・ 自分を高めるために何かを勉強したり、研究している市民の割合		○	市民活動調査
		14 芸術や文化、歴史や伝統を知り親しむことで、郷土に愛着と誇りが持てるまちになる				
			・ 文化施設における年間利用者数		×	
			・ 芸術文化活動を行っている市民の割合		×	市民活動調査
			・ 芸術や文化などに学ぶ意欲を持つ人々のために貢献する活動を行っている市民の割合		×	市民活動調査
		15 楽しんでスポーツができる環境があり、スポーツが盛んなまちになる				
			・ 週1回以上のスポーツ実施率		○	
			・ 公園競技施設の利用者数		×	
			・ スポーツに取り組む市民のために貢献する活動を行っている市民の割合		×	市民活動調査
		都市と産業	VI	便利で快適な住みやすいまち		
16 地域性に応じた土地利用ができていくまちになる						
	・ 地区計画の区域数				○	
17 まちなかににぎわいがあるまちになる						
	・ 館林東西駅前広場連絡通路の通行量				○	
	・ 市街化区域内の人口密度				×	
	・ 中心市街地内の事業所数				×	
18 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる						
	・ 土地区画整理事業進捗率(西部第一南地区)				○	
	・ 土地区画整理事業進捗率(西部第一中地区)				○	
	・ 土地区画整理事業進捗率(西部第二地区)				○	
	・ 走行速度調査(国道122号)				—	
	・ 走行速度調査(国道354号)				—	
	・ 走行速度調査(主要地方道佐野行田線)				—	
	・ 都市計画道路の整備率				○	
	・ 市道の整備率				○	
	・ 駅(市内)の年間乗降人員				×	
	・ 路線バスの年間利用者数		×			

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (総括)	備考	
都市と産業	VI	19 緑の多い魅力のあるまちになる				
		・	市民一人当たりの都市公園面積	○		
	出会いと交流のある元気で活力のあるまち					
	20 新しい産業が起きるまちになる					
	・	従業員一人当たりの付加価値額		○		
	・	創業塾受講後の市内起業件数		○		
	・	企業立地件数		×		
	21 事業者の活発な活動により、商工業が盛んなまちになる					
	・	小売業・卸売業の商店数		×		
	・	小売業・卸売業の年間商品販売額		○		
	・	従業員数(従業員4人以上の製造業を営む事業所時務める従業員数)		×		
	・	事業所数(従業員4人以上の製造業を営む事業所数)		×		
	・	製造品出荷額等		○		
	22 安定した労働環境が整っているまちになる					
	VII	・	有効求人倍率(ハローワーク館林管内)		○	
		・	新規就職者数(ハローワーク館林管内)		×	
	23 農産物を安定して提供できるまちになる					
	・	認定農業者数		○		
	・	農業法人数		○		
	・	農用地利用集積面積		○		
	・	荒廃農地の面積		×		
	24 多くの人が訪れたい個性と魅力のあるまちになる					
	・	観光客入込数		×		
	・	観光ボランティアガイドの団体数		×		
・	観光ボランティアガイドの登録者数		×			
・	地域の行事などに参加している市民の割合		×	市民活動調査		
・	国内外から来訪した方たちと交流をすすめる活動をしている市民の割合		×	市民活動調査		

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (総括)	備考	
計画の推進	VIII	まちづくりのしくみが整い発展できるまち				
		25 まちづくりを市民と行政が共創しておこなうまちになる				
			・ 館林市内に主たる事務所があるNPO法人数	×		
			・ 「ちょいボラ」登録者数	○		
			・ 共に魅力的なまちを創るために活動している市民の割合	×		市民活動調査
		26 人権尊重の意識が生活の中に定着した住みよいまちになる				
			・ 在住外国人を支援する市民の数(個人等)	×		
			・ 在住外国人を支援する市民の数(法人)	×		
			・ 男性優位と思う市民の割合(男女の地位の平等感)	×		
			・ 人権が尊重される平和な社会をつくるための活動をしている市民の割合	×		市民活動調査
		27 高品質で生産性の高い行政活動が展開されているまちになる				
			・ 第六次行政改革大綱の進捗状況	○		
			・ 実質公債費比率 (早期健全化基準 25%)	×		
			・ 将来負担比率 (早期健全化基準 350%)	×		
		28 開かれた行政となり、透明性の高いまちになる				
			・ まちづくりに関する意見	×		
			・ インターネットを活用して情報検索や情報発信している市民の割合	○		市民活動調査
			・ 館林市のホームページを閲覧している市民の割合	○		市民活動調査

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (総括:参考)	備考	
環境と安全	I	より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち				
		01 良好な環境のなかで、快適に暮らすことができるまちになる				
			・ BOD数値(城沼中央の水質)		×	
			・ 下水道水洗化率		○	
			・ CO2排出の抑制を心がけている市民の割合		×	市民活動調査
			・ 良好な環境をつくるための活動をしている市民の割合		×	市民活動調査
		02 ごみを減らし、資源を生かすまちになる				
			・ 市民一人あたりごみの排出量(1日あたり)		○	
			・ 資源化率		×	
			・ ごみ減量のためにさまざまな工夫をしている市民の割合		×	市民活動調査
			・ 地域として、ごみの発生抑制、再利用、再資源化に取り組んでいる市民の割合		×	市民活動調査
		03 安全でおいしい水が安定的に供給されているまちになる				
			・ 有効率(有効水量/総配水量)		×	
		04 災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる				
			・ 自主防災組織設置率		○	
			・ 幹線排水路の整備率		○	
			・ 公共下水道雨水きよの整備率		○	
			・ 消防車の平均到着時間		×	
			・ 救急車の平均到着時間		○	
			・ 刑法犯認知件数		○	
			・ 交通事故発生件数		○	
			・ 消費生活センター出前講座回数		×	
			・ 災害に備えさまざまな準備をしている市民の割合		○	市民活動調査
			・ ご近所の方たちと声かけをしている市民の割合		×	市民活動調査
			・ 自主防災組織などに参加している市民の割合		×	市民活動調査
			・ 地域ぐるみで自主防犯活動などを行っている市民の割合		×	市民活動調査

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (総括:参考)	備考	
福祉と健康	II	思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち				
		05 地域で支えあい、誰もが自立できるまちになる				
			・ 福祉ボランティア登録者数	○		
			・ 福祉NPO法人数	×		
			・ 小地域ネットワーク設置数	—		
			・ 小地域ネットワーク協力者数	—		
			・ 地域のなかで相談したり、助け合える友人・知人がいる市民の割合	×		市民活動調査
			・ 地域の困った問題を、近所で協力して取り組んでいる市民の割合	×		市民活動調査
		06 高齢者が生涯はつらつと生活できるまちになる				
			・ 第1号被保険者に占める要介護認定及び要支援認定者の割合	×		
			・ 高齢者の就業割合	○		
			・ 生きいきサークル活動団体数	○		
			・ 生きいきサークル活動人数	○		
			・ 介護支援ボランティア活動人数	○		
			・ 高齢者などが、住みなれたまちで、いきいきと生活するために地域で支えあう活動をしている市民の割合	×		市民活動調査
		07 障がい者が自立した生活をおくることができるまちになる				
			・ 民間企業における障がい者の実雇用率	○		
			・ 法定雇用率達成企業の割合	○		
			・ 障がい者などが、住みなれたまちで、いきいきと生活するために地域で支えあう活動をしている市民の割合	×		市民活動調査
		08 互いに助けあい、安心して生活できるまちになる				
			・ 国民年金保険料納付率	○		
			・ 国民健康保険税収納率	○		
			・ 生活保護受給世帯から自立した世帯数	×		
			・ 児童扶養手当受給者のうち自立した受給者数	○		

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (総括:参考)	備考	
福祉と健康	Ⅲ	心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち				
		09 地域全体で健康づくりに取り組むまちになる				
			健康づくりグループ活動団体数		×	
			健康づくりグループ活動人数		○	
			大腸がん検診受診率		×	
			子宮頸がん検診受診率		×	
			乳がん検診受診率		×	
			生活習慣病予防健康診査のうち、要指導、要医療者の割合		×	
			メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者及び予備群の割合		×	
			健康の維持や体を鍛えるために運動をしている市民の割合		○	市民活動調査
			定期的に健康診断を受けている市民の割合		×	市民活動調査
			心身ともに元気で暮らせるよう、地域の人々とともに健康づくり活動をしている市民の割合		×	市民活動調査
		10 適切な医療を受けることができるまちになる				
			かかりつけ医所持率		○	
			かかりつけ歯科医所持率		○	
			救急救命士の有資格者数(館林地区消防組合)		○	
			普通救命講習受講者数		×	
			周産期死亡率		○	
		子育てと学び	Ⅳ	子どもたちが健やかに成長できるまち		
11 子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる						
	乳幼児健康診査受診率				○	
	予防接種の接種率(麻しん風しん)				○	
	妊婦健康診査受診率				○	
	子育て中の親を応援する活動を行っている市民の割合				×	市民活動調査
	子どもの心身の健全な成長を応援する活動を行っている市民の割合				×	市民活動調査
12 心身ともに健康で確かな学力を身につけた子どもが育つまちになる						
	標準学力テストで全国平均を上回る小学校数(国語・算数2教科)6年生				○	
	標準学力テストで全国平均を上回る中学校数(国語、社会、数学、理科、英語 5教科)2年生				○	
	新体力テストで全国平均を上回る小学校数 5年生				○	
	新体力テストで全国平均を上回る中学校数 2年生		○			

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (総括:参考)	備考	
子育てと学び	V	学ぶよるこびや豊かな心を育むまち				
		13 生涯にわたって学び続けることができるまちになる				
			・ 生涯学習ボランティア登録者(団体)数		○	
			・ 生涯学習関係団体・サークルの登録数		×	
			・ 自分を高めるために何かを勉強したり、研究している市民の割合		○	市民活動調査
		14 芸術や文化、歴史や伝統を知り親しむことで、郷土に愛着と誇りが持てるまちになる				
			・ 文化施設における年間利用者数		×	
			・ 芸術文化活動を行っている市民の割合		×	市民活動調査
			・ 芸術や文化などに学ぶ意欲を持つ人々のために貢献する活動を行っている市民の割合		×	市民活動調査
		15 楽しんでスポーツができる環境があり、スポーツが盛んなまちになる				
			・ 週1回以上のスポーツ実施率		○	
			・ 公園競技施設の利用者数		×	
			・ スポーツに取り組む市民のために貢献する活動を行っている市民の割合		×	市民活動調査
		都市と産業	VI	便利で快適な住みやすいまち		
16 地域性に応じた土地利用ができているまちになる						
	・ 地区計画の区域数				○	
17 まちなかににぎわいがあるまちになる						
	・ 館林東西駅前広場連絡通路の通行量				○	
	・ 市街化区域内の人口密度				×	
	・ 中心市街地内の事業所数				×	
18 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる						
	・ 土地区画整理事業進捗率(西部第一南地区)				○	
	・ 土地区画整理事業進捗率(西部第一中地区)				○	
	・ 土地区画整理事業進捗率(西部第二地区)				○	
	・ 走行速度調査(国道122号)				—	
	・ 走行速度調査(国道354号)				—	
	・ 走行速度調査(主要地方道佐野行田線)				—	
	・ 都市計画道路の整備率				○	
	・ 市道の整備率				○	
	・ 駅(市内)の年間乗降人員				×	
	・ 路線バスの年間利用者数		×			

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (総括:参考)	備考	
都市と産業	VI	19 緑の多い魅力のあるまちになる				
		・	市民一人当たりの都市公園面積	○		
	出会いと交流のある元気で活力のあるまち					
	20 新しい産業が起きるまちになる					
	・	従業員一人当たりの付加価値額		○		
	・	創業塾受講後の市内起業件数		○		
	・	企業立地件数		×		
	21 事業者の活発な活動により、商工業が盛んなまちになる					
	・	小売業・卸売業の商店数		×		
	・	小売業・卸売業の年間商品販売額		○		
	・	従業員数(従業員4人以上の製造業を営む事業所時務める従業員数)		×		
	・	事業所数(従業員4人以上の製造業を営む事業所数)		×		
	・	製造品出荷額等		○		
	22 安定した労働環境が整っているまちになる					
	VII	・	有効求人倍率(ハローワーク館林管内)		○	
		・	新規就職者数(ハローワーク館林管内)		×	
	23 農産物を安定して提供できるまちになる					
	・	認定農業者数		○		
	・	農業法人数		○		
	・	農用地利用集積面積		○		
	・	荒廃農地の面積		×		
	24 多くの人が訪れたい個性と魅力のあるまちになる					
	・	観光客入込数		×		
	・	観光ボランティアガイドの団体数		×		
・	観光ボランティアガイドの登録者数		×			
・	地域の行事などに参加している市民の割合		×	市民活動調査		
・	国内外から来訪した方たちと交流をすすめる活動をしている市民の割合		×	市民活動調査		

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

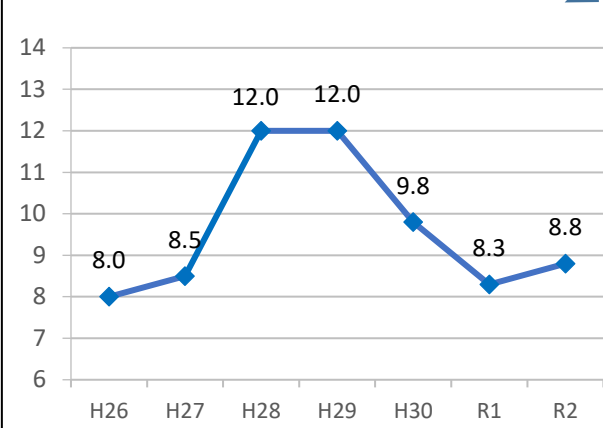
部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (総括:参考)	備考	
計画の推進	VIII	まちづくりのしくみが整い発展できるまち				
		25 まちづくりを市民と行政が共創しておこなうまちになる				
			・ 館林市内に主たる事務所があるNPO法人数	×		
			・ 「ちょいボラ」登録者数	○		
			・ 共に魅力的なまちを創るために活動している市民の割合	×		市民活動調査
		26 人権尊重の意識が生活の中に定着した住みよいまちになる				
			・ 在住外国人を支援する市民の数(個人等)	×		
			・ 在住外国人を支援する市民の数(法人)	×		
			・ 男性優位と思う市民の割合(男女の地位の平等感)	×		
			・ 人権が尊重される平和な社会をつくるための活動をしている市民の割合	×		市民活動調査
		27 高品質で生産性の高い行政活動が展開されているまちになる				
			・ 第六次行政改革大綱の進捗状況	○		
			・ 実質公債費比率 (早期健全化基準 25%)	×		
			・ 将来負担比率 (早期健全化基準 350%)	×		
		28 開かれた行政となり、透明性の高いまちになる				
			・ まちづくりに関する意見	×		
			・ インターネットを活用して情報検索や情報発信している市民の割合	○		市民活動調査
			・ 館林市のホームページを閲覧している市民の割合	○		市民活動調査

第五次総合計画アウトカム別指標リスト 結果

基本目的Ⅰ「より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち」

◆施策目的01「良好な環境のなかで、快適に暮らすことができるまちになる」

BOD数値(城沼中央の水質)
【mg/l・市調査結果】

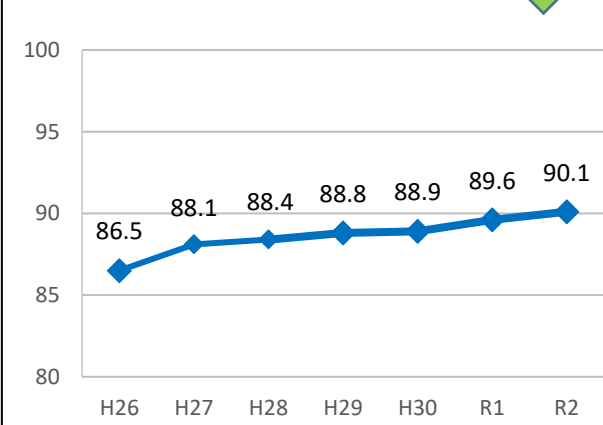


【担当】
地球環境課

【成果】
令和2年度は昨年度より0.5ポイント悪化したものの、平成28年度からは改善されており、相対的には改善傾向にある。

【課題・方向性】
改善傾向にはあるが基準値未達のため更なる水質浄化が必要。令和2年度より拡充したくみ取りや単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換補助金をPRすることに加え、今後河川を直接浄化させるナノバブル導入などを調査・検討し、水質向上を図る。

下水道水洗率
【%・課データ】

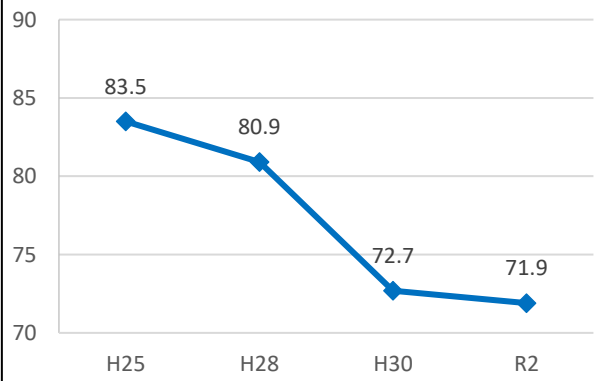


【担当】
下水道課

【成果】
計画的な污水管整備と下水道利用促進により、計画期間(平成28年度～令和2年度)において、水洗化率が上昇した。

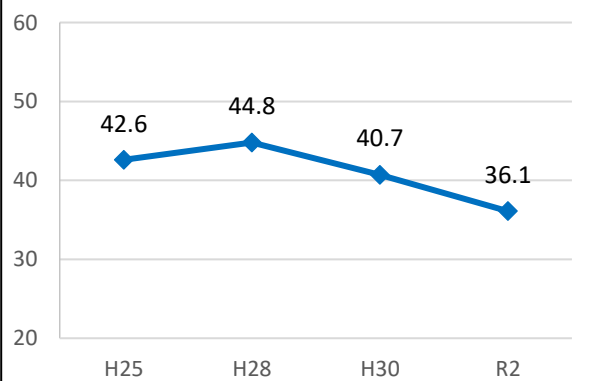
【課題・方向性】
第6次総合計画においても指標となっているため、今後も、污水管整備を進め下水道利用促進を実施していく。

CO2排出の抑制を心がけている市民の割合
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

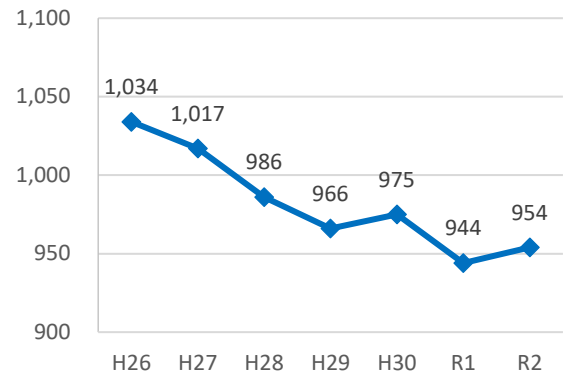
良好な環境をつくるための活動をしている市民の割合
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

◆施策目的02「ごみを減らし、資源を生かすまちになる」

市民一人あたりごみの排出量
【g/日・課データ】

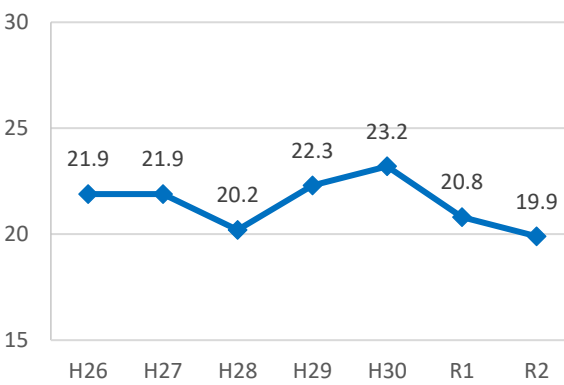


【担当】
地球環境課

【成果】
成果としては、計画期間内で増減が生じ、順調な推移ではなかったが、今後の目標を達成することができた。

【課題・方向性】
課題としては、依然として全国平均よりも多く、特に燃やせるごみに含まれる生ごみ、紙類の対策が必要である。
方向性としては、リデュース(発生抑制)、リユース(再使用)の取組を強化し、ごみ総排出量の削減を目指す。

資源化率【%・課データ】

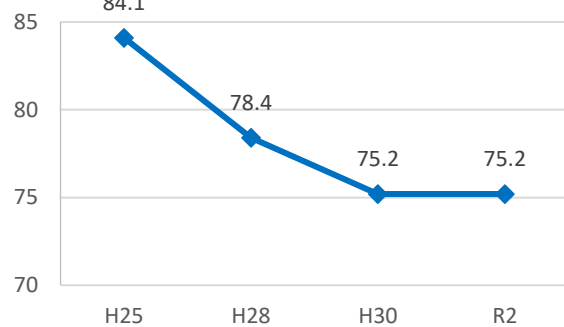


【担当】
地球環境課

【成果】
成果としては、今後の目標を達成することができなかったが、平成29年度から令和元年度の県内市部において、最も高い実績であった。(令和2年度の全国調査結果は現時点では公表されていない。)

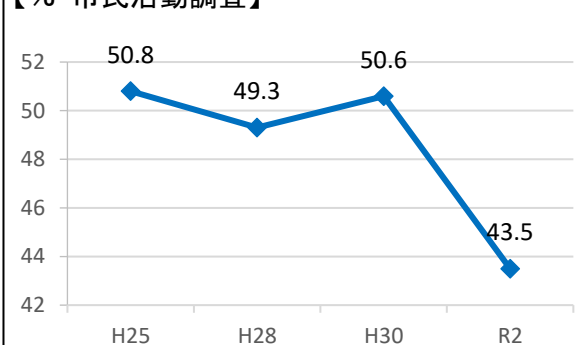
【課題・方向性】
課題としては、紙類やプラスチックなどの資源物の未分別が挙げられる。
方向性としては、分別の徹底を引き続き推進し、資源化率の向上を目指す。

ごみ減量のためにさまざまな工夫をしている市民の割合
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

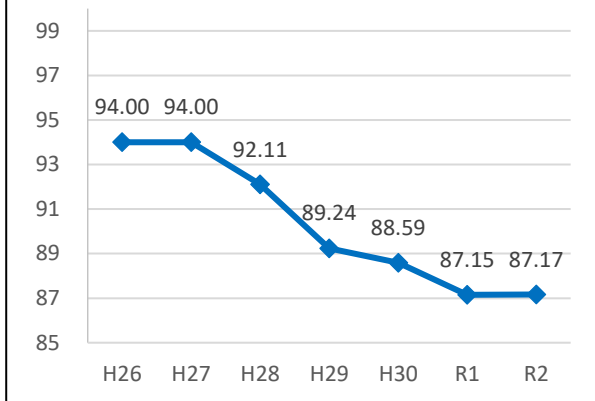
地域として、ごみの発生抑制、再利用、再資源化に取り組んでいる市民の割合
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

◆施策目的03「安全でおいしい水が安定的に供給されているまちになる」

有効率(有効水量/総配水量)
【%・企業団データ】

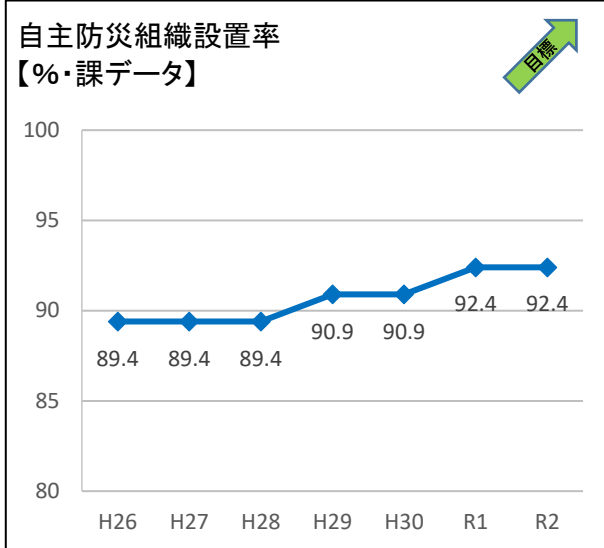


【担当】
群馬東部水道企業団

【成果】
成果としては、老朽管の布設替や新設等、5年間で合計24,191.1m程の配水管の工事を行い、有効率を高い数値に維持できるように務めた。特に令和元年度については、前3年平均の1.73倍程、令和2年度は0.93倍程の工事を行った。

【課題・方向性】
水道本管の老朽化で漏水量が増加すると、有効率が減少するため、今後も計画的に老朽管の布設替を進め、有効率を上げるように努めていく。

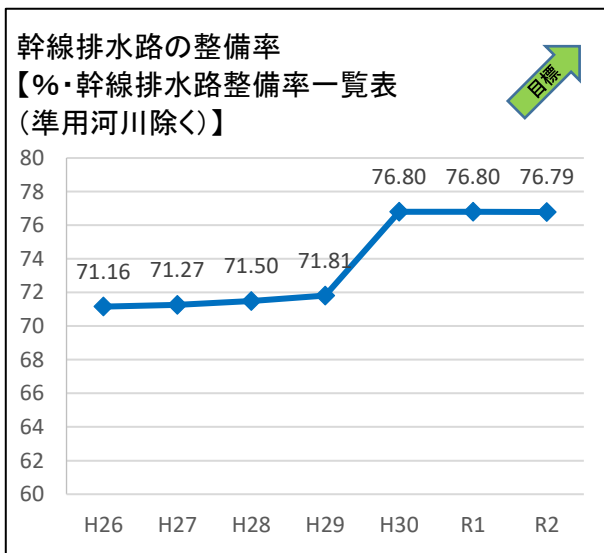
◆施策目的04「災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる」



【担当】
安全安心課

【成果】
行政区による自主防災組織設置の動機づけをし、設置率の向上に努めた。

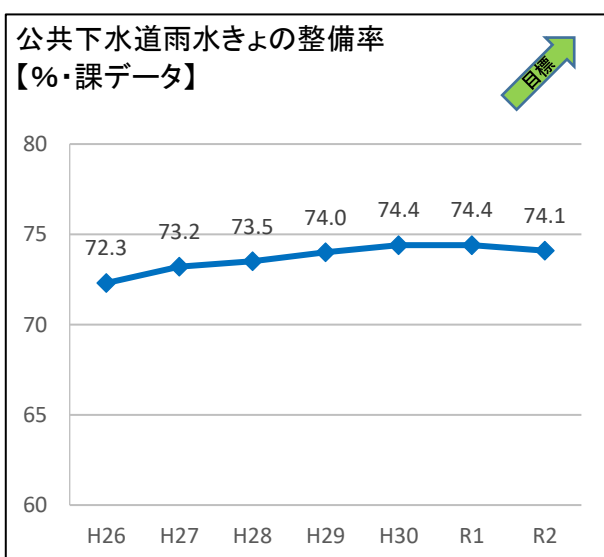
【課題・方向性】
地区防災計画の策定支援により、住民主体の防災を考える契機となり、新たな自主防災組織が設立される動機づけになった。今後も支援に努めていきたい。



【担当】
道路河川課

【成果】
延長約55kmの水路において、徐々にではあるが、着実に整備率を伸ばすことができた。

【課題・方向性】
従来どおり整備率の向上を目指すことはもちろん、周辺の土地利用状況の変化等を機敏にとらえ効果的かつ経済的な整備となる様、更に計画を練り上げる。

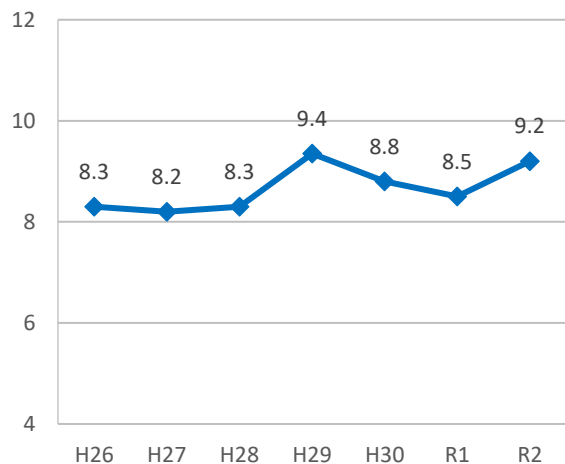


【担当】
下水道課

【成果】
平成28～30年度は計画通り整備したが、令和元年、2年度は関係者との事業調整のため、整備実績はなかった。(整備率の減少は固定資産台帳整備による延長減少のため)

【課題・方向性】
第6次総合計画においても指標となっているため、今後も、関係者と事業調整を図りながら計画的な雨水きよ整備を進めていく。

消防車の平均到着時間
【分・消防組合指令室データ】

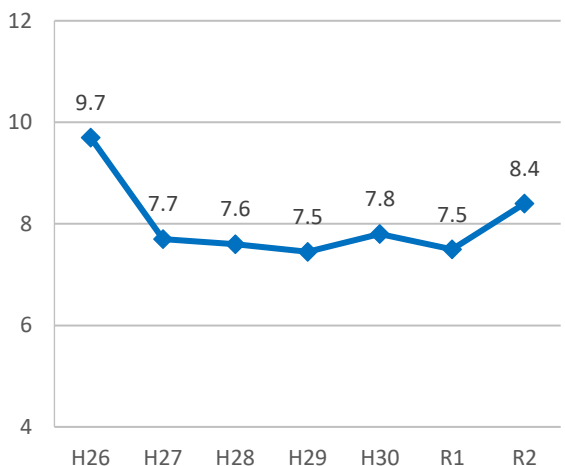


【担当】
館林地区消防組合

【成果】
平成28年度～令和2年度平均値が8.8分となり、基準値8.3分より延伸傾向にある。なお、庁舎が移転し、出動地域等に変更が生じたため、令和元年度までの数値とは異なる結果となった。

【課題・方向性】
令和2年4月新消防庁舎竣工と同時に、最新鋭の高機能指令システムを導入、自動出動指定装置、地図検索装置、車両動態位置管理などの連動により、迅速な119番受付及び直近車両優先出動が可能となり、現場到着時間の短縮や現場活動が迅速かつ的確に行えるよう取り組んでいく。

救急車の平均到着時間
【分・救急統計データ】

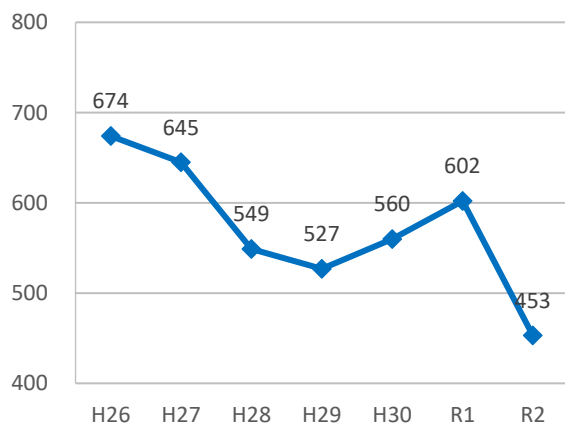


【担当】
館林地区消防組合

【成果】
新型コロナウイルスの影響もあり、管轄外(県外を含む)の医療機関への搬送が多くなっており、救急車が管轄内に不在となることが多くなってきている。その間、管轄区域ではない現場へ他署から救急出動するため平均到着時間は若干、長くなっているが、直近の救急隊を出動させることにより大幅な到着時間の遅れは生じていない。令和2年度は、消防本部、館林消防署の移転による出動区域見直しのため、平均到着時間の延伸があった。

【課題・方向性】
管内で救急医療を完結できるよう、搬送先医療機関、地域MC協議会、関係機関と連携、調整をしていく。

刑法犯認知件数
【件・市町村別刑法犯認知件数】

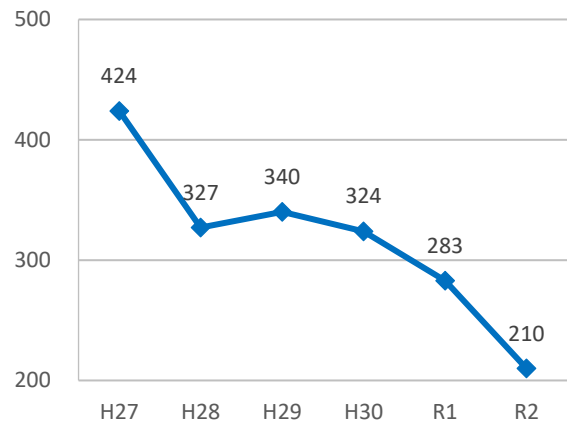


【担当】
安全安心課

【成果】
行政区による自主防犯パトロール等の防犯活動を支援するとともに、関係機関と連携を図り、犯罪や事故の未然防止に努めた。

【課題・方向性】
引き続き関係機関と連携し、様々な場面での啓発や情報提供に努め、犯罪の減少を図っていく。

交通事故発生件数
【件・館林警察署】

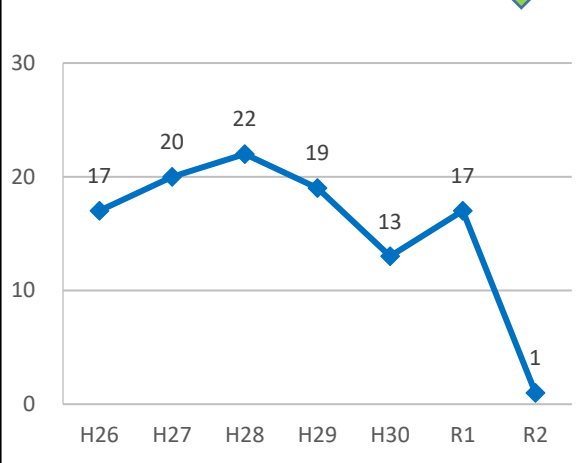


【担当】
安全安心課

【成果】
交通事故防止のため、関係機関と連携し啓発活動を実施するとともに、地域要望等に基づき、交通安全施設の整備・維持に努めた。

【課題・方向性】
交通事故件数は年々減少傾向にあるものの、引き続き関係機関と連携し啓発に取り組むとともに、交通安全施設整備の推進を図る。

消費生活センター出前講座回数
【件・消費生活センター事業概要】

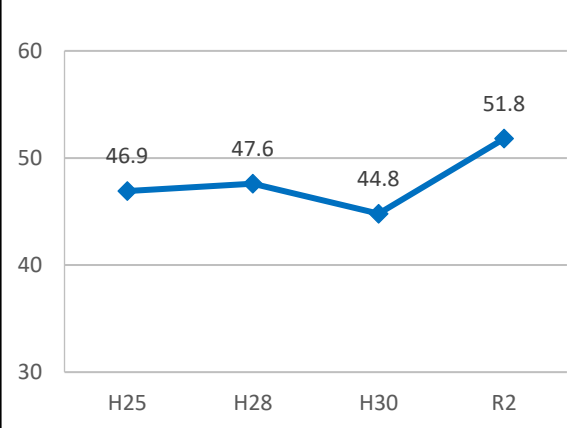


【担当】
市民協働課

【成果】
平成28年度～令和2年度で72回、年間平均15回出前講座を実施し、基準値とほぼ同じ値となった。

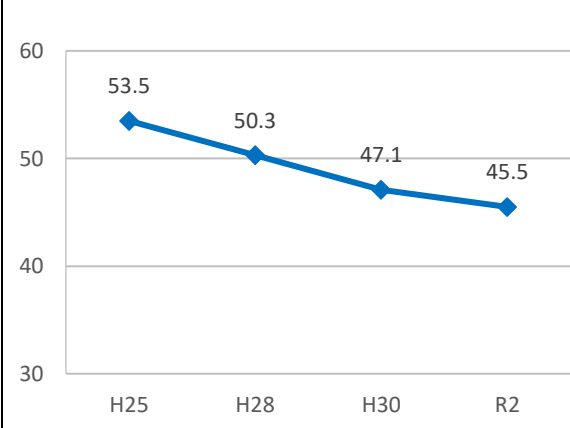
【課題・方向性】
消費者トラブルを防止するため、出前講座の周知に努めるとともに、要請に応じ講座を実施する。

災害に備えさまざまな準備をしている市民の割合
【%・市民意識調査】



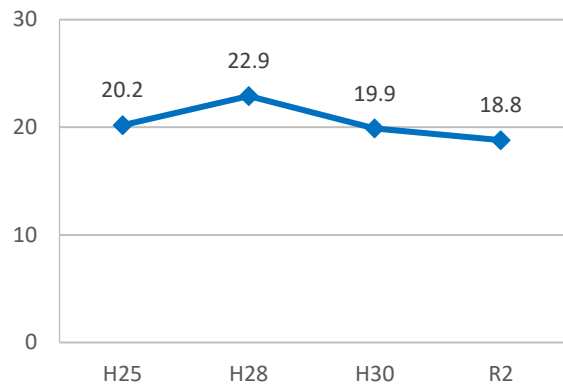
【市民活動調査結果】

ご近所の方たちと声かけをしている市民の割合
【%・市民意識調査】



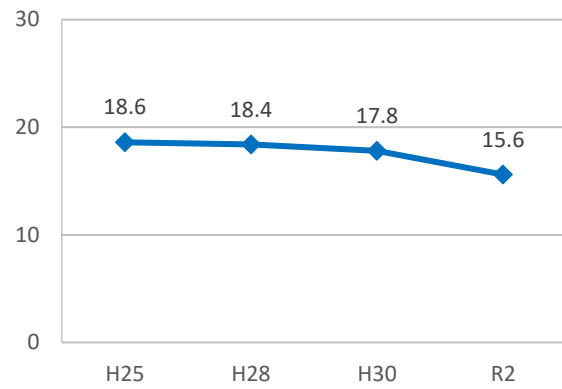
【市民活動調査結果】

自主防災組織などに
参加している市民の割合
【%・市民意識調査】



【市民活動調査結果】

地域ぐるみで自主防犯活動
などを行っている市民の割合
【%・市民意識調査】



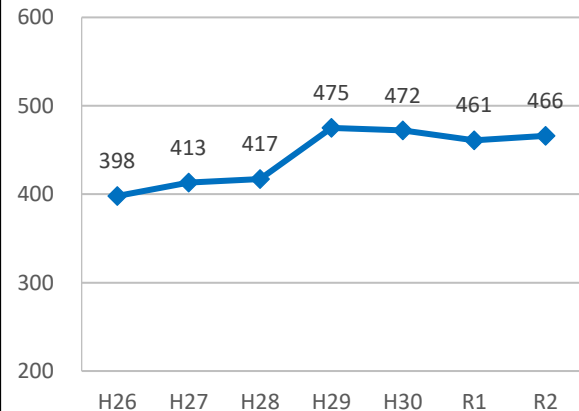
【市民活動調査結果】

基本目的Ⅱ「思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち」

◆施策目的05「地域で支えあい、誰もが自立できるまちになる」

福祉ボランティア登録者数

【人・社会福祉協議会】



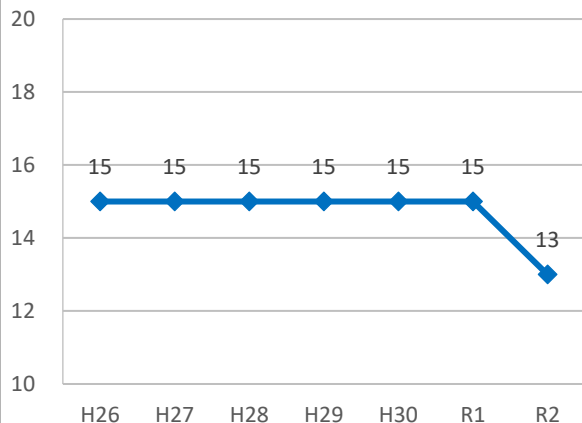
【担当】
社会福祉課

【成果】
ボランティア登録者数については、年度によって増減はあったが、基準値と比較して増加しており、目標値を達成することができた。

【課題・方向性】
ボランティア登録者の高齢化が顕著であり、新たな担い手の育成に向けて支援していく必要がある。

福祉NPO法人数

【法人・社会福祉協議会】



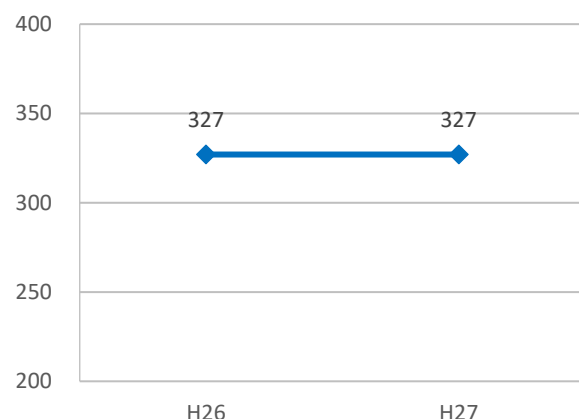
【担当】
社会福祉課

【成果】
活動法人の休止により法人数が減少したため、達成できなかった。

【課題・方向性】
今後も継続して福祉NPO法人への支援を実施していく。

小地域ネットワーク設置数

【人・社会福祉協議会】

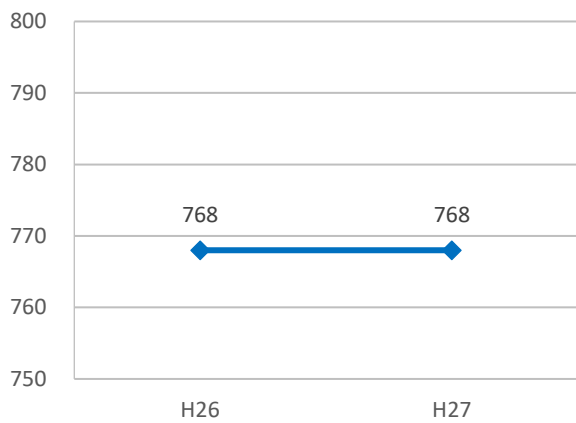


【担当】
社会福祉課

【成果】
計画途中に地域共生社会との事業調整により、活動形態に変更が生じたため、目標値に対する実績データが表示できなかった。

【課題・方向性】
地域共生社会の構築に向け、地域での見守り活動や関係団体との連携により地域で支え合える仕組みを充実させていく必要がある。

小地域ネットワーク協力者数
【人・社会福祉協議会】

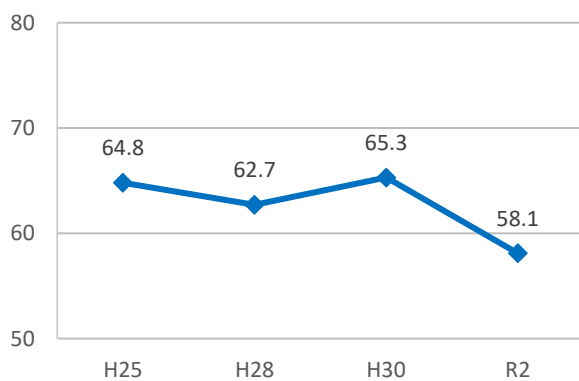


【担当】
社会福祉課

【成果】
計画途中に地域共生社会との事業調整により、活動形態に変更が生じたため、目標値に対する実績データが表示できなかった。

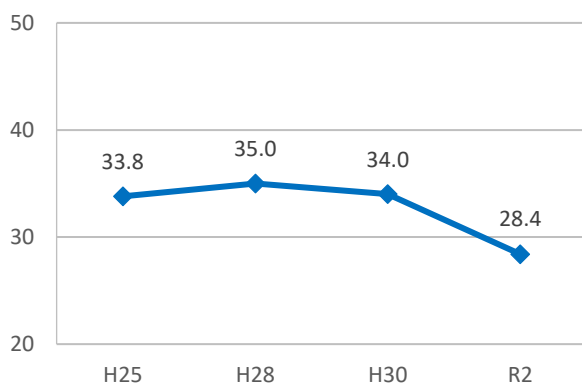
【課題・方向性】
地域共生社会の構築に向け、地域での見守り活動や関係団体との連携により地域で支え合える仕組みを充実させていく必要がある。

地域のなかで相談したり、助け合える友人・知人がいる市民の割合
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

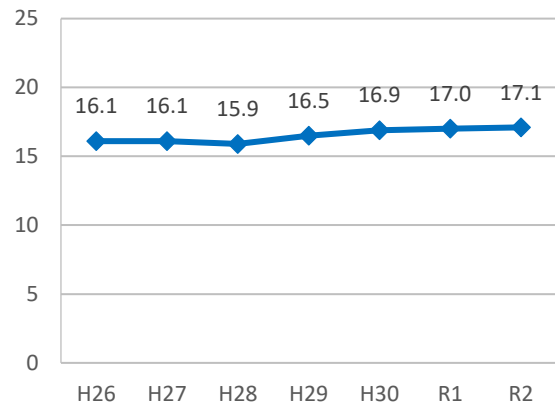
地域の困った問題を、近所で協力して取り組んでいる市民の割合
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

◆施策目的06「高齢者が生涯はつらつと生活できるまちになる」

第1号被保険者に占める要介護認定及び要支援認定者の割合
【%・住民基本台帳(65歳以上人口)】

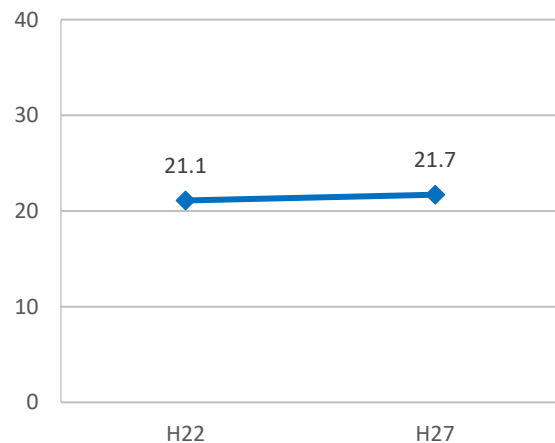


【担当】
介護保険課

【成果】
第7期介護保険計画の自然体推計による令和2年の認定率は、18.7%であったが、重度化防止等に取り組んだ結果、推計値よりも低い認定率となった。

【課題・方向性】
2025年には高齢化率が30%を超え、さらに団塊ジュニアが65歳を迎える2040年には37%となる予測であるため、高齢者の自立支援と重度化防止の取り組みをさらに強化していく。

高齢者の就業割合
【%・国勢調査】

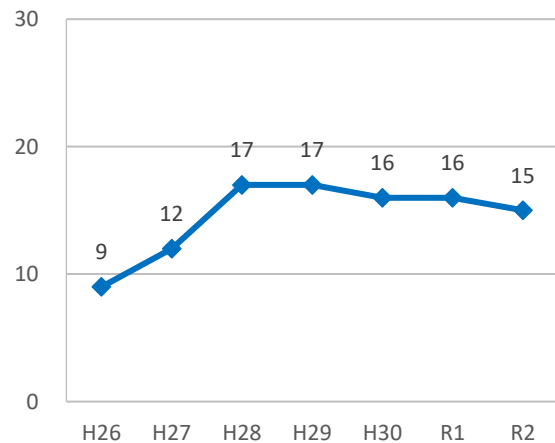


【担当】
高齢者支援課

【成果】
館林市シルバー人材センターに財政援助を行い、高齢者の生きがいとしての就労を促進する取組を支援した。

【課題・方向性】
事業者側の高齢者への理解促進や、高齢者側の働く意欲を高める取組等について、労働政策部局との連携を強化していく。

生きいきサークル活動団体数
【団体・課データ】

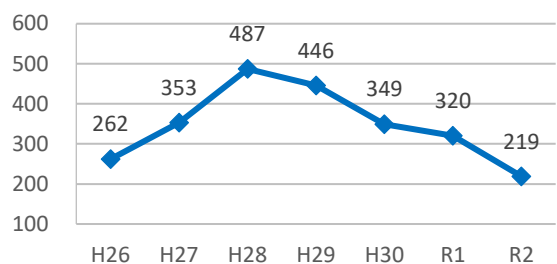


【担当】
高齢者支援課

【成果】
生きいきサークル数は微減傾向であったが、参加者の自立支援と参加の促進を支援した。

【課題・方向性】
令和3年から多くの生きいきサークルが「通いの場」となることから、引き続き介護予防に取り組めるよう支援を継続していく。

生きいきサークル活動実人数
【人・課データ】

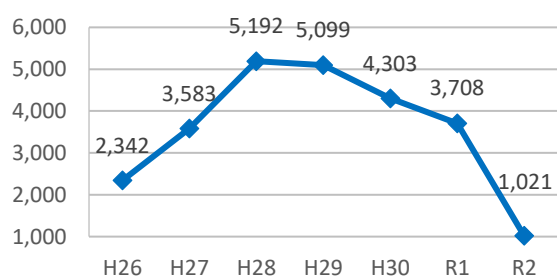


【担当】
高齢者支援課

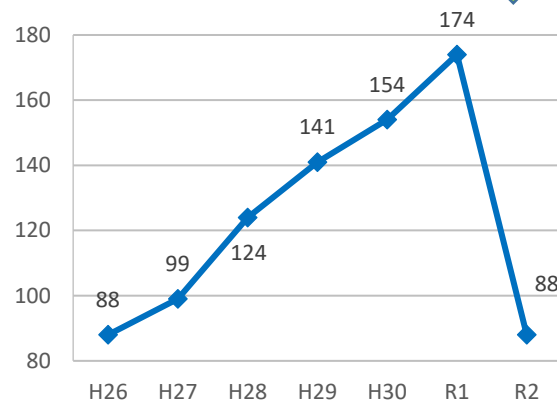
【成果】
参加者の高齢化に伴い、生きいきサークル参加者が減少傾向にあった。そのため、市の介護予防教室の卒業生の参加促しや、いつでもどこでも行える「生きいき百歳体操」の普及を図った。

【課題・方向性】
引き続き、運動指導や体力測定等を行い、参加者の参加促進や自立を支援していく。

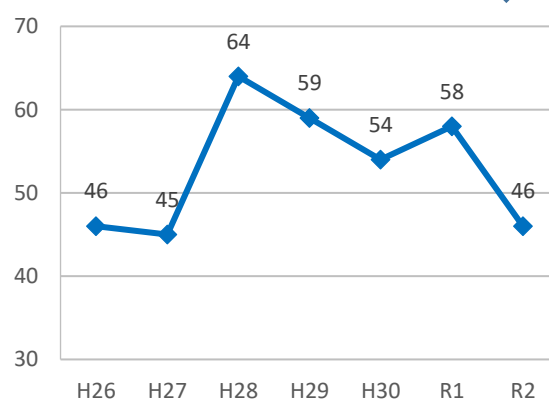
生きいきサークル活動延人数
【人・課データ】



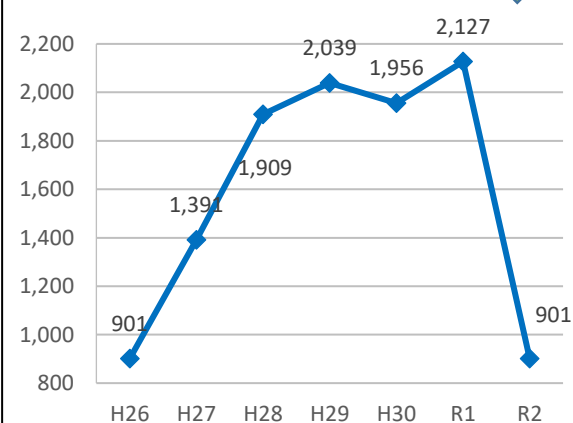
介護支援ボランティア活動人数
(登録人員)【人・課データ】



介護支援ボランティア活動人数
(活動実人数)【人・課データ】



介護支援ボランティア活動人数
(活動延人数)【人・課データ】

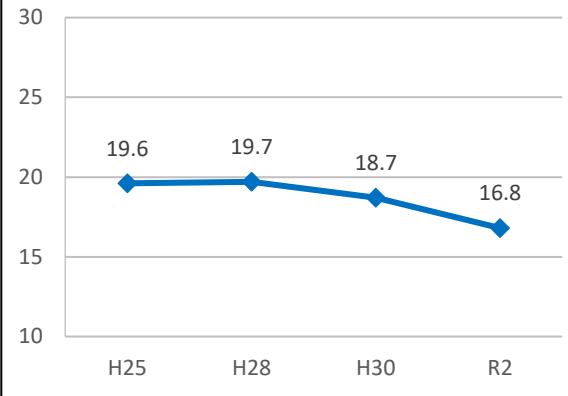


【担当】
高齢者支援課

【成果】
毎年開催される介護予防サポーター養成研修の受講者を介護支援ボランティアへの登録を促した結果、ボランティア登録人員は増加傾向であった。

【課題・方向性】
活動実人数が横ばいであるため、活動促進の一環として活動場所の拡充を図っていく。

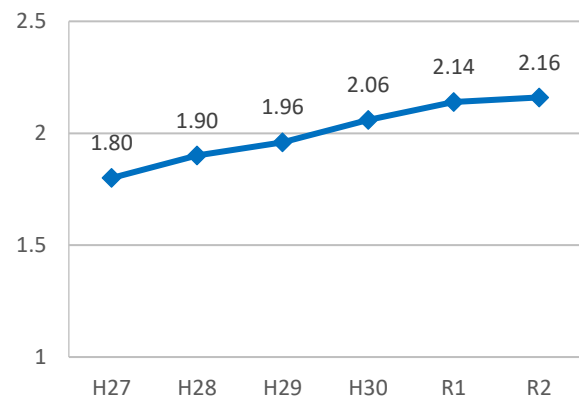
高齢者などが、住みなれたまちで、
いきいきと生活するために地域で
支えあう活動をしている市民の割合
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

◆施策目的07「障がい者が自立した生活をおくることができるまちになる」

民間企業における障がい者の実雇用率【%・群馬労働局報道発表資料】

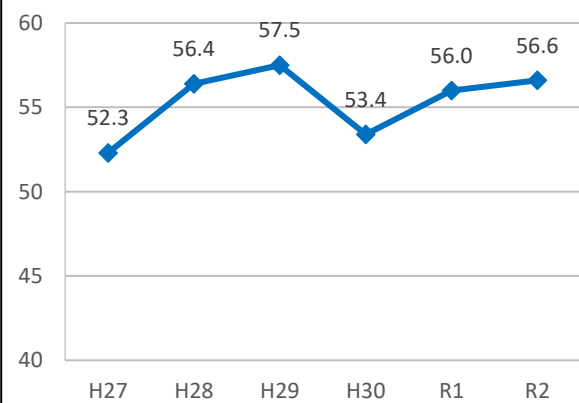


【担当】
社会福祉課

【成果】
実雇用率は2.16%（前年2.14%から0.02ポイント上昇）となり、8年連続で過去最高を更新・3年連続で全国平均（2.15%）を上回った。全国順位は37位。

【課題・方向性】
令和3年3月1日から民間企業の法定雇用率は2.2%から2.3%に引き上げになる。

法定雇用率達成企業の割合【%・群馬労働局発表報道資料】

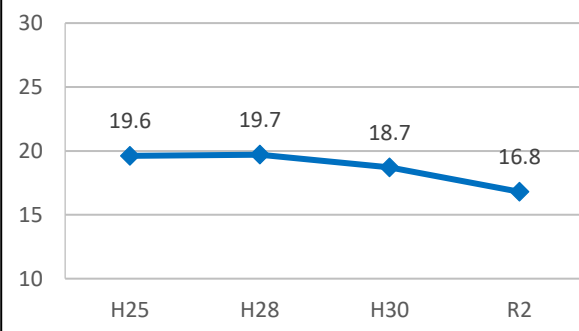


【担当】
社会福祉課

【成果】
従業員45.5人以上の企業には法定雇用率（2.2%）が義務づけられており、県内の対象企業は1,567社。法定雇用率達成企業の割合は、56.6%と前年（56.0%）から0.6ポイント上昇し、全国平均（48.6%）を大きく上回り、全国順位は前年の24位から23位に上がった。

【課題・方向性】
対象となる事業主の範囲が、従業員45.5人以上から43.5人以上に変わり、毎年6月1日時点の障がい者雇用状況をハローワークに報告し、「障がい者雇用推進者」を選任するよう努めなければならない。

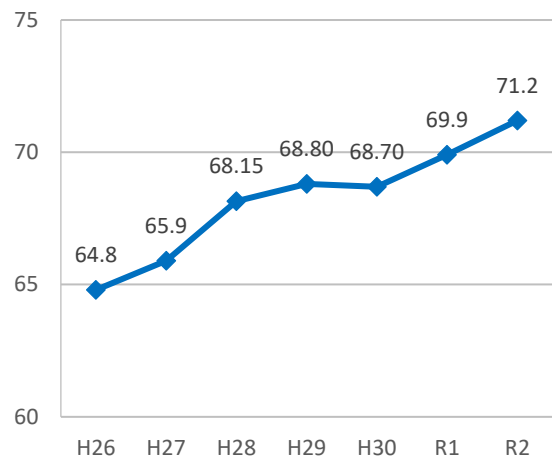
障がい者などが、住みなれたまちで、いきいきと生活するために地域で支えあう活動をしている市民の割合【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

◆施策目的08「互いに助けあい、安心して生活できるまちになる」

国民年金保険料納付率
【%・太田年金事務所】

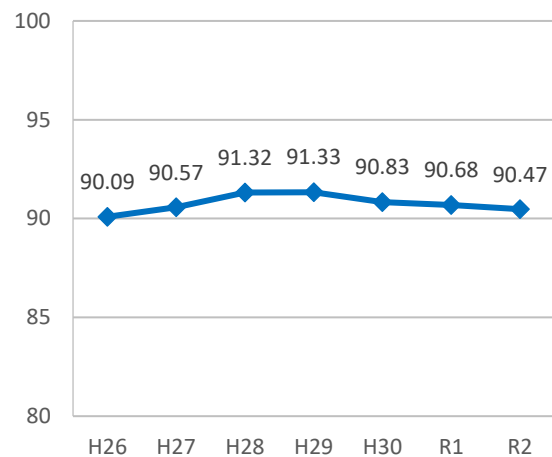


【担当】
保険年金課

【成果】
わずかであるが年々上昇しており、目標達成となった。

【課題・方向性】
国民年保険料の収納は日本年金機構の業務であるため、引き続き納付促進を支援していく。

国民健康保険税収納率
【%・国民健康保険特別会計決算】

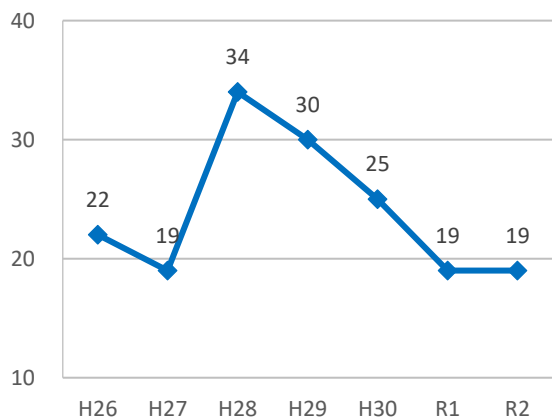


【担当】
保険年金課

【成果】
収納率は平成28年度から年々微減しているが、基準年度と比較しては伸びており、目標を達成している。

【課題・方向性】
新規に発生した滞納案件への早期着手、早期の滞納整理の徹底及び適切な納税緩和措置の適用を今後も実施していく。

生活保護受給世帯から
自立した世帯数
【世帯・被保護者調査】

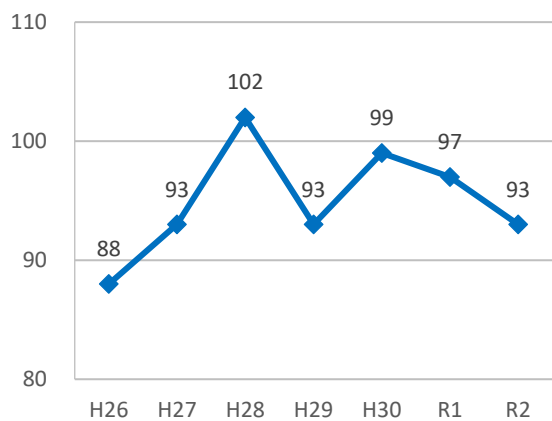


【担当】
社会福祉課

【成果】
平成26年度の生活保護廃止理由で就労収入増は14世帯であった。同理由の実績は令和元年度8世帯、令和2年度11世帯であり、同水準で推移している。他法利用等による自立を含めた件数においても同様の数値を維持できた。

【課題・方向性】
被保護者の高齢化等により稼働年齢者が激減しており、就労による自立が困難な状況。高齢者雇用や障がい者雇用の開拓を行い、収入増や社会参加を促し被保護者の生活向上を図る。

児童扶養手当受給者のうち
自立した受給者数
【人・福祉行政報告例】



【担当】
こども福祉課

【成果】
少子化等により、人数にはばらつきがあるものの、自立と生活の安定を図るため、就業支援及び子育て支援体制を強化し継続的に行った。

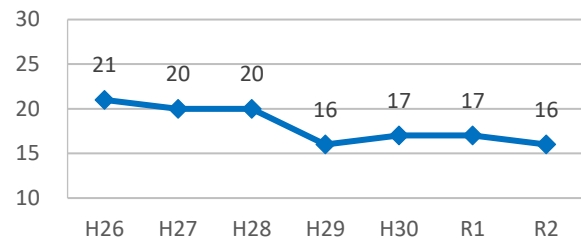
【課題・方向性】
第六次総合計画においては、同一の指標ではなく、能力開発及び資格取得のための自立支援事業を活用している人数に指標を変更した。

基本目的Ⅲ「心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち」

◆施策目的09「地域全体で健康づくりに取り組むまちになる」

健康づくりグループ活動団体数

【団体・課データ】



【担当】

健康推進課

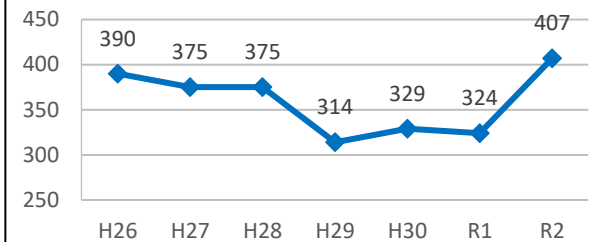
【成果】H25年度から、年1回、自主グループ活動の紹介を回覧で市民に周知することで新規加入者の推進を行っている。R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で一時活動を休止したグループがみられ、1グループが解散となった。活動人数は増加傾向にあるが、新たな自主グループの育成が課題。

【課題・方向性】

回覧による市民への周知で活動人数は増加傾向にあるが、今後は自主グループの育成と活動中のグループが継続して活動できるよう支援の充実を図る。

健康づくりグループ活動人数

【人・課データ】



【担当】

健康推進課

【成果】

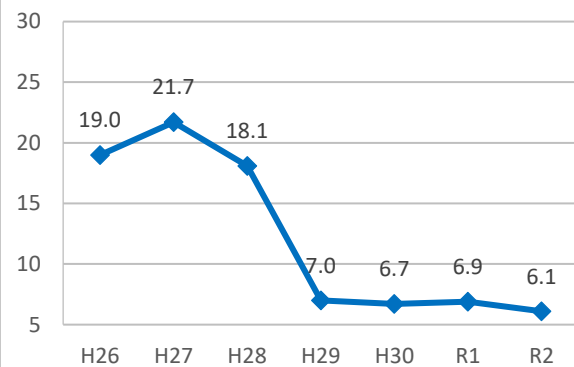
H29年度実績より、国の方針に従い、人口に対する受診率に変更。未受診者への受診勧奨を強化し、毎年僅かに受診率が上がっていたが、R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で受診率が低下した。

【課題・方向性】

大腸がんは、女性のがん死亡数、死亡率（全国）ともH15年以降第1位が続いており、検診による早期発見が重要。今後も受診機会の拡充や受診勧奨を強化し、受診率の向上と大腸がん死亡率の低下につなげる。

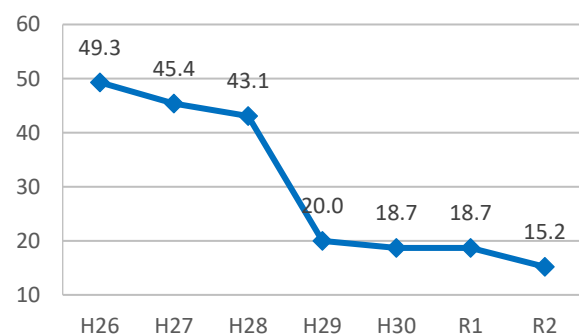
大腸がん検診受診率

【%・地域保健・健康増進事業報告】



子宮頸がん検診受診率

【%・地域保健・健康増進事業報告】



【担当】

健康推進課

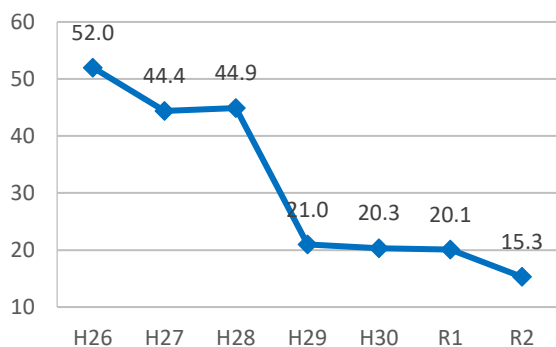
【成果】

H29年度実績より、国の方針に従い、人口に対する受診率に変更。初発年齢への無料クーポン券の配布や未受診者への再受診勧奨を行っているが、受診率は横ばいである。今後更に受診勧奨を強化する。

【課題・方向性】

今後受診勧奨を強化し、受診率の向上を目指したい。

乳がん検診受診率
【%・地域保健・健康増進事業報告】

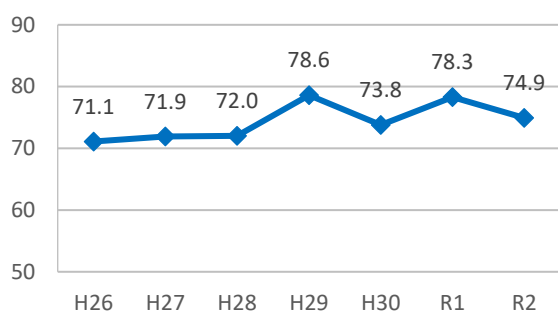


【担当】
健康推進課

【成果】
H29年度実績より、国の方針に従い、人口に対する受診率に変更。初発年齢への無料クーポン券の配布や未受診者への再受診勧奨を行っているが、受診率は減少した。

【課題・方向性】
今後受診勧奨を強化し、受診率の向上を目指したい。

生活習慣病予防健康診査のうち、
要指導、要医療者の割合
【%・課データ】

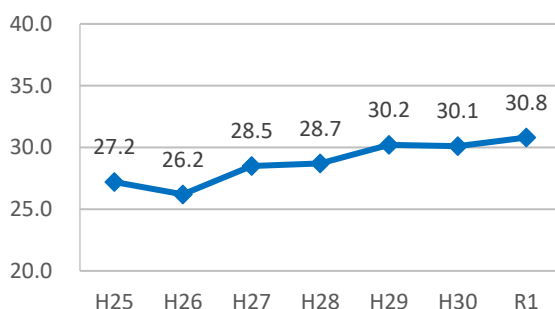


【担当】
健康推進課

【成果】
血圧や脂質異常による要指導者の割合が年々増加している。若年期からの食事や運動等の生活習慣の改善のための保健指導を強化する

【課題・方向性】
生活習慣病予防健診の受診率を高めることは40歳からの特定健診の受診率を向上させることにつながるため、今後も受診率向上に努め、若いうちから生活習慣病予防に関心を持ってもらえるよう支援したい。

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者及び予備群の割合
【%・国保特定健診法定報告】

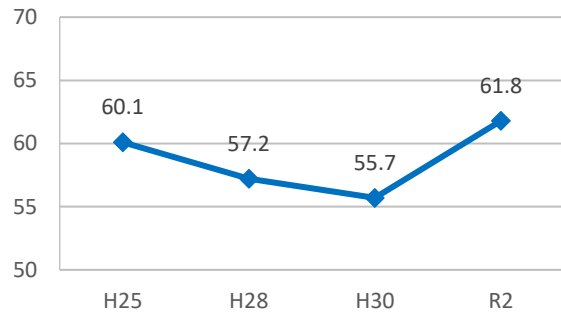


【担当】
健康推進課

【成果】
特定健診の受診率は向上したものの、メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の割合は増加した。

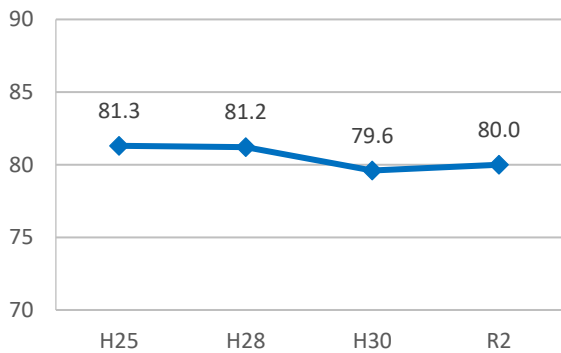
【課題・方向性】
健診受診後の事後指導を充実・強化し、生活習慣の改善に努めたい。

健康の維持や体を鍛えるために
運動をしている市民の割合
【%・市民活動調査】



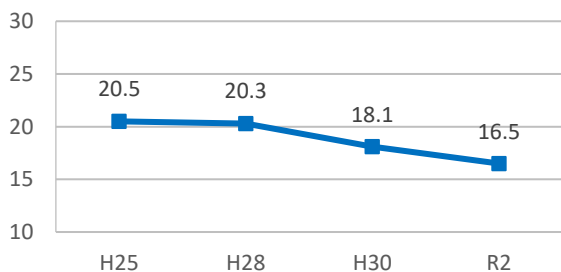
【市民活動調査結果】

定期的に健康診断を受けている
市民の割合【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

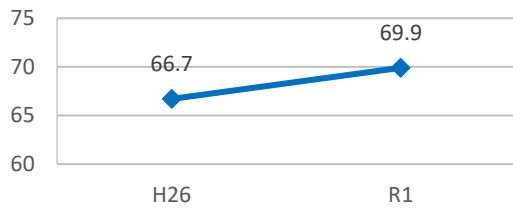
心身ともに元気で暮らせるよう、
地域の人々とともに健康づくり
活動をしている市民の割合
【%・市民活動調査】



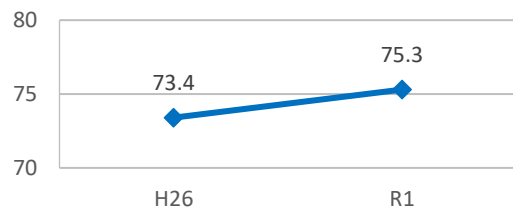
【市民活動調査結果】

◆施策目的10「適切な医療を受けることができるまちになる」

かかりつけ医所持率
【%・健康づくりに関するアンケート結果】



かかりつけ歯科医所持率
【%・健康づくりに関するアンケート結果】

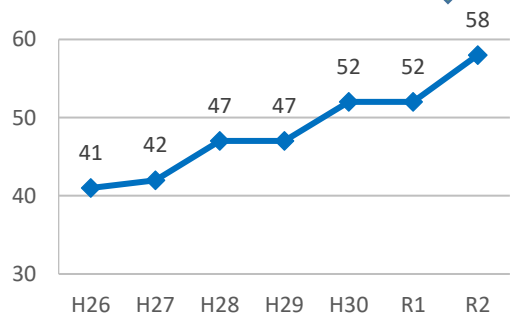


【担当】
健康推進課

【成果】
H26年10月から、市内の医療機関（医科・歯科）を掲載した「館林市お医者さんマップ」を転入時（市民課窓口）と母子保健手帳発行時に配付し、かかりつけ医を持っていただけるよう啓発を行った。結果、H26年度から5年間で、かかりつけ医所持率は3.2%、かかりつけ歯科医所持率は1.9%増加した。

【課題・方向性】
今後もお医者さんマップの配付を継続するとともに、かかりつけ医・かかりつけ歯科医の重要性を知っていただけるよう啓発し、所持率の増加を図りたい。

救急救命士の有資格者数
【人・館林地区消防組合】

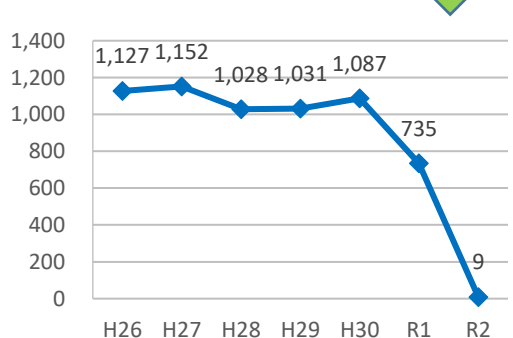


【担当】
館林地区消防組合

【成果】
年々増加傾向にあり、救急救命士の育成が充分達成できている。

【課題・方向性】
更に救急救命士有資格者を増やし、高度化する救急医療を安定して市民へ提供できることを目指している。

普通救命講習受講者数
【人・館林地区消防組合】

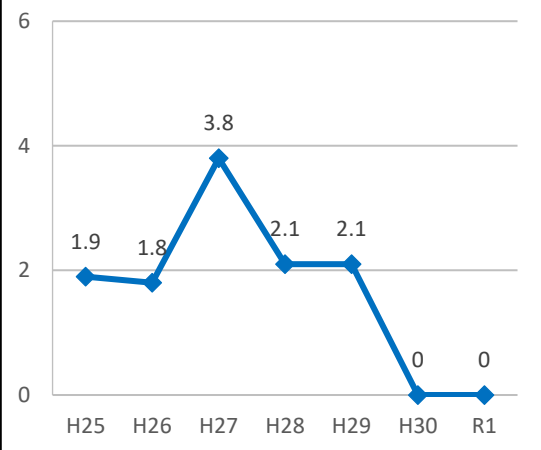


【担当】
館林地区消防組合

【成果】
講習会実施数及び受講者数は、平成30年度までは横ばいで推移しているが、令和元年度から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、派遣型の講習会を中止している状況であり受講者数は減少している。

【課題・方向性】
派遣型の講習会は中止を継続しているが、令和3年度から消防署で実施する講習会を再開している。今後も開催数を増やし、多くの市民に心肺蘇生法を学ぶ機会を提供し、普及啓発活動をすることで救命率の向上を目指す。

周産期死亡率
【%・健康福祉統計年報(県)】



【担当】
健康推進課

【成果】
子育て世代包括支援センター「かるがも相談室」では、相談しやすい印象を持つことができ、今後の信頼関係が構築しやすいよう、妊娠届出時にはアンケートを用いた丁寧な聞き取りを行った。また、妊婦健康診査の受診結果についても、医療機関と連携し、情報共有を図り、治療経過を把握したうえでの妊婦訪問やママパパ学級等の支援を行い、より細やかな心理的配慮のある保健指導や相談を実施した。周産期死亡率は、年々低下しており、母子の健康増進、安全なお産につなげることができた。

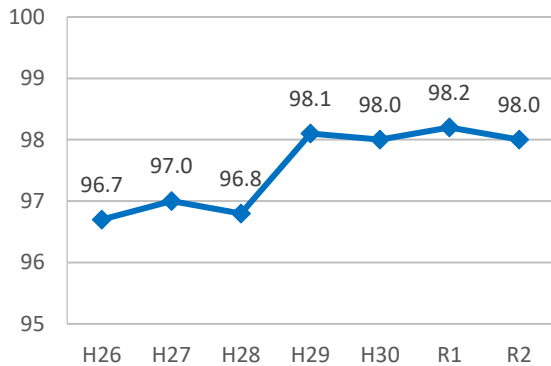
【課題・方向性】

妊娠届出時には、アンケートを活用し丁寧な聞き取りを実施し、家庭訪問、電話相談、ママパパ学級、産前産後サポート等の事業を展開するとともに、妊婦健康診査の受診結果に基づいた保健指導や健康管理を細やかにを行い、母体の健康管理に努めていく必要がある。また、医療機関等の関係機関と連携を図り、より一層サポート体制を強化し、母子の健康増進、安全なお産に向けた支援を継続していきたい。

基本目的IV「子どもたちが健やかに成長できるまち」

◆施策目的11「子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる」

乳幼児健康診査受診率
【%・市民生活と福祉】



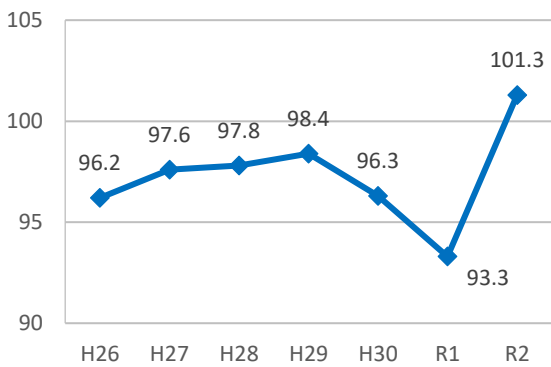
【担当】
健康推進課

【成果】
母子保健推進員や職員による個別受診勧奨及び子育て支援モバイルサービス配信等により受診率は高い水準で推移している。新型コロナウイルス感染症まん延による受診拒否に対しては、個別訪問を実施し状況把握を行った。また、連絡が取りづらい親子に関しては就園先や関係機関との連携により親への働きかけを実施することで未把握者を0名にすることができた。

【課題・方向性】

母子保健推進員や職員による個別受診勧奨、未受診者への電話連絡や家庭訪問等による受診再勧奨を実施し受診率維持に努める。今後も積極的な家庭訪問を行うなど受診勧奨を継続する。さらに、就園先や関係機関との連携により親への働きかけを強化し、未把握者0名を目指す。

予防接種の接種率
【%・予防接種の年度実績】



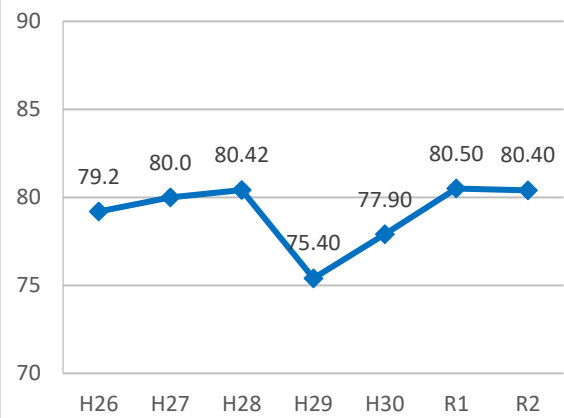
【担当】
健康推進課

【成果】
感染症予防やまん延防止のため、定期予防接種事業の実施や任意予防接種費用助成事業(H28ロタウイルス、R2おたふくかぜ、インフルエンザ)等の事業拡充が図られた。個別接種勧奨通知や乳幼児健診時の接種勧奨、対象年齢後半で未接種者への電話指導、就園児及び小学校への接種勧奨チラシの配布、子育て支援モバイルサービスでのメール配信等を実施し、接種率の向上を図ることができた。

【課題・方向性】

今後も、現状の予防接種率を維持できるよう、市民への感染症予防対策について各種媒体を用いて情報提供を積極的に行うとともに接種勧奨を継続実施する。新興・再興感染症などの予防やまん延防止の対策として、新しい生活様式の取り組みが求められていることから、安全かつ適正な予防接種が実施できるよう、関係機関と連携を図りながら推進していく。

妊婦健康診査受診率
【%・群馬県母子保健事業報告】



【担当】
健康推進課

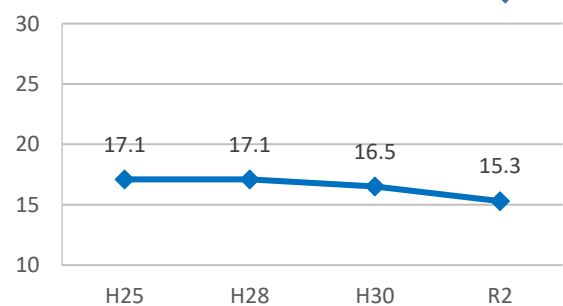
【成果】

妊娠届出時に、個々のセルフプラン及び支援プランを用いた受診勧奨実施。その後も、受診結果に応じた妊娠中の健康状態の把握を行い、家庭訪問や電話指導等適切な支援に繋げた。また、子育て支援モバイルサービスを登録を推進し、妊娠週数に応じた受診勧奨メールを定期的に行い、未受診防止を図った。その他、訪問や電話・窓口相談、ママパパ学級等の事業ごとに、一人一人に寄り添った支援と必要な保健指導を行ったことで、妊婦健康診査受診率が微増している。ただし、養育医療申請者が増加し切迫早産となる妊婦も多く、妊婦健康診査受診率は昨年より0.1%下がった。

【課題・方向性】

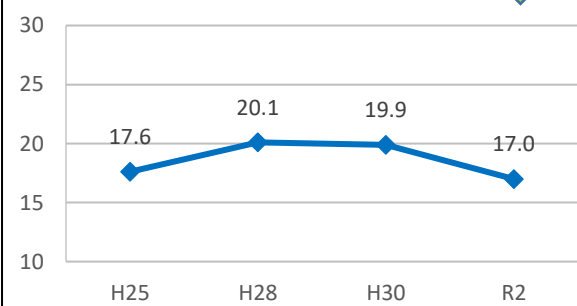
今後は、早期の妊娠届出の必要性や妊婦健康診査受診の重要性について、より一層周知を徹底し、さらに妊娠届出時に作成したセルフプランをより生かした個々へのアプローチを行い、妊娠初期から母子の健康管理及び早期支援をすることで、妊娠健康診査受診率の向上を目指す。

子育て中の親を応援する活動を行っている市民の割合
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

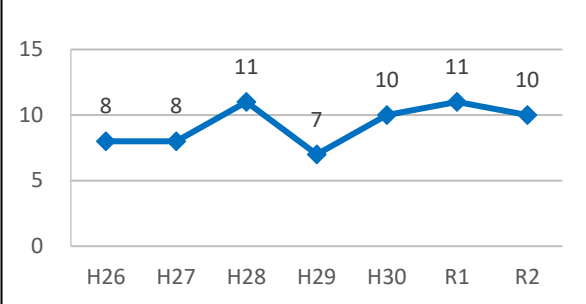
子どもの心身の健全な成長を応援する活動を行っている市民の割合
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

◆施策目的12「心身ともに健康で確かな学力を身につけた子どもが育つまちになる」

標準学力テストで全国平均を上回る
小学校数(国語・算数2教科)6年生
【校・課データ】

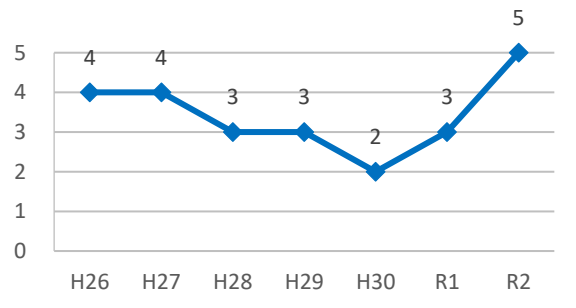


【担当】
学校教育課

【成果】
令和2年度は、全11校中10校(前年比-1)が全国平均を上回り、基準値を達成することができた。
5か年をとおしてみると、全国平均を上回った学校は9.8校であり、基準値を達成することができた。

【課題・方向性】
全体としては、基礎・基本の確実な定着が図られていると考えられる。今後の方向性としては、文科省から示された「令和の日本型学校教育の構築を目指して」を踏まえ、学力向上への取組を継続していく必要がある。

標準学力テストで全国平均を上回る
中学校数(国語、社会、数学、理科、
英語 5教科)2年生【校・課データ】

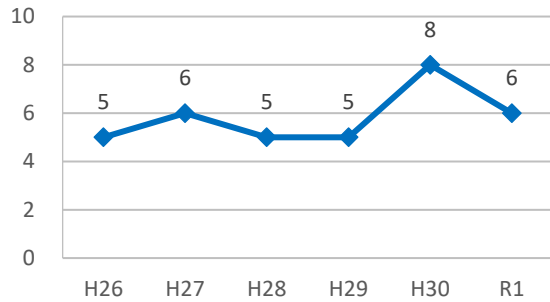


【担当】
学校教育課

【成果】
令和2年度は、全5校が全国平均を上回り、基準値を達成することができた。
5か年をとおしてみると、全国平均を上回った学校は3.2校であり、基準値に達成できなかった。

【課題・方向性】
基礎・基本の確実な定着を図ることが課題である。今後の方向性としては、小学校と同様に、文科省から示された「令和の日本型学校教育の構築を目指して」を踏まえ、学力向上への取組を継続していく必要がある。

新体カテストで全国平均を上回る
小学校数 5年生【校・新体カテスト
結果】

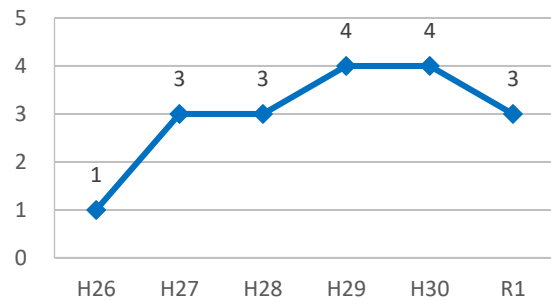


【担当】
学校教育課

【成果】
新体カテスト結果5カ年平均をみると、全
11校中平均6.0校が全国平均を上回り、
基準値を達成することができた。

【課題・方向性】
年度はじめの市体力向上推進委員会において、各校の体力向上に向けた取組の情報交
換を行い、市全体で体力向上に取り組んでいく。また、授業において、身体活動量の確保と
ともに、各運動領域の特性や魅力に応じて、仲間と積極的に関わりながら自己の課題を合
理的に解決できる活動の設定について指導していく。

新体カテストで全国平均を上回る
中学校数 2年生【校・新体カテスト
結果】



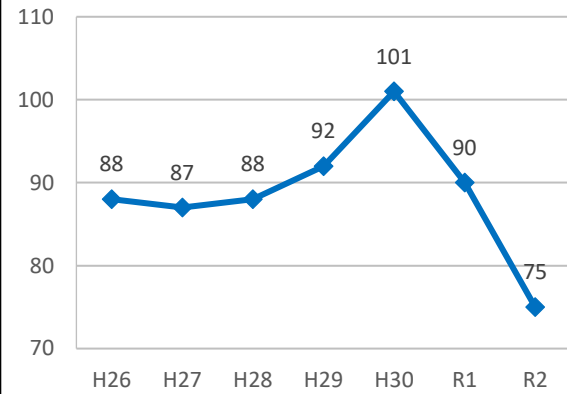
【担当】
学校教育課

【成果】
新体カテスト結果5カ年平均をみると、全
5校中平均62.8校が全国平均を上回り、
基準値を達成することができた。

基本目的V「学ぶよろこびや豊かな心を育むまち」

◆施策目的13「生涯にわたって学び続けることができるまちになる」

生涯学習ボランティア登録者(団体)
数【人(団体)・たてばやしのみなびい
情報】

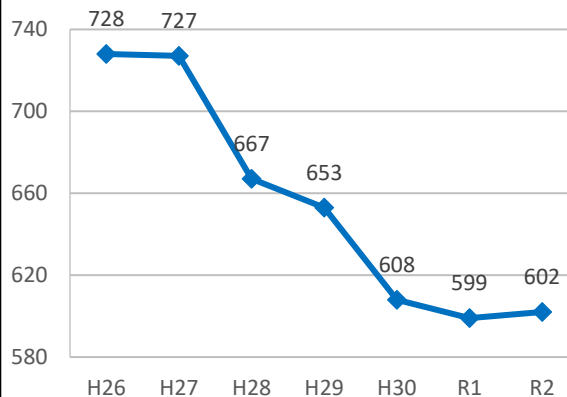


【担当】
生涯学習課

【成果】
様々な学習機会を提供できるボランティア講師は、リピート利用者も多く、市民の学びの場だけではなく、講師の学びの成果を発表する機会を創出するうえで欠かせないものであった。

【課題・方向性】
課題としては、高齢化による講師の減少が挙げられる。多様化する社会や学習ニーズに沿えるようにボランティア講師の発掘や学びの実践・還元する場の充実を図っていく。

生涯学習関係団体・サークルの登録
数【団体・たてばやしのみなびい情報】

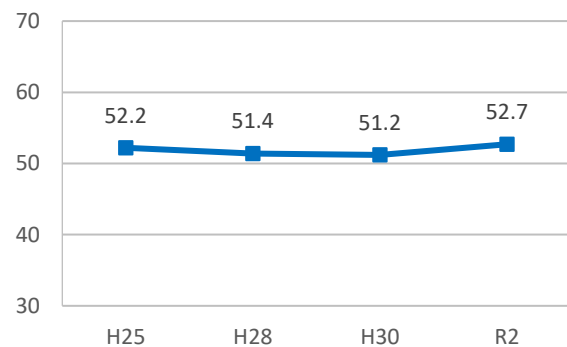


【担当】
生涯学習課

【成果】
多様化する社会の中で、様々な生涯学習関係団体の存在は、市民に生涯学習情報・機会を提供するうえで、重要な役割を担った。

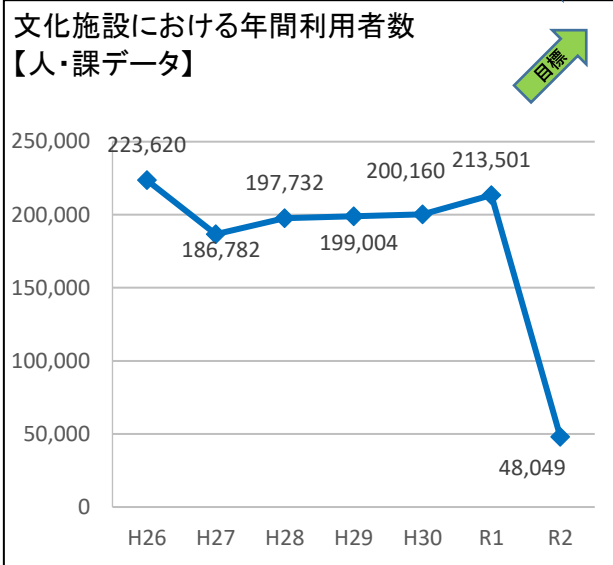
【課題・方向性】
課題としては、高齢化や人口減少も要因となり、団体の減少が挙げられる。今後は情報発信を駆使し、あらゆる組織や学習者・市民と効率的・効果的な結びつきを深め、学びの実践・還元する場の充実を図っていく。

自分を高めるために何かを勉強したり、
研究している市民の割合
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

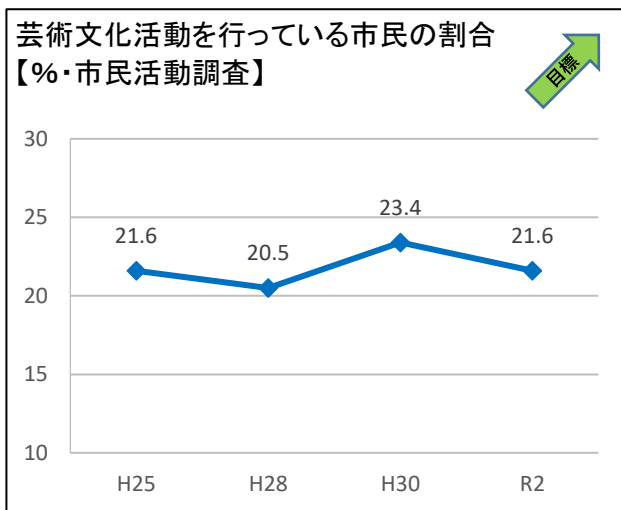
◆施策目的14「芸術や文化、歴史や伝統を知り親しむことで、郷土に愛着と誇りが持てるまちになる」



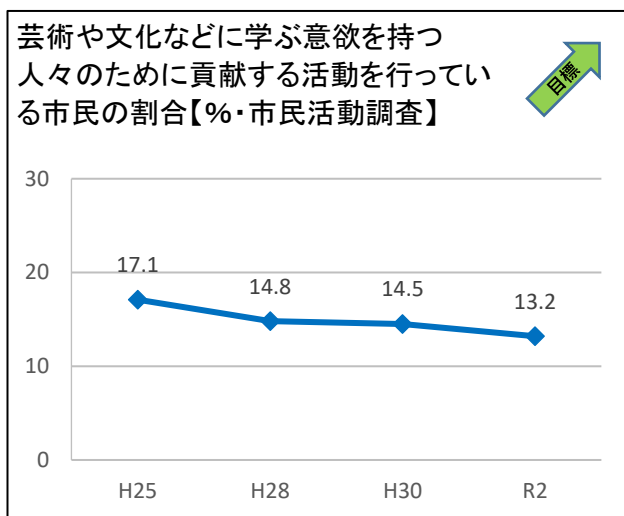
【担当】
文化振興課

【成果】
これまで、企画事業等を実施しながら、利用者の促進を図ってきた。平成27・28年度に行われた文化会館大ホール棟耐震等改修工事の影響もあったが、以降利用者数も増えてきた。しかし、令和2年度新型コロナウイルス感染拡大による休館や人数制限、各種事業等の中止などの影響もあり、目標を達成することは出来なかった。

【課題・方向性】
感染症対策のうえ、利用促進を図る。



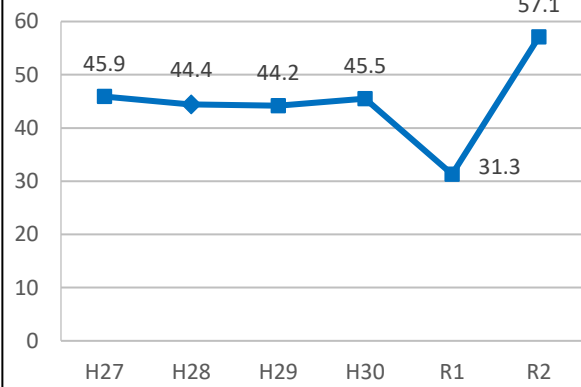
【市民活動調査結果】



【市民活動調査結果】

◆施策目的15「楽しんでスポーツができる環境があり、スポーツが盛んなまちになる」

週1回以上のスポーツ実施率
【%・スポーツに関するアンケート調査】



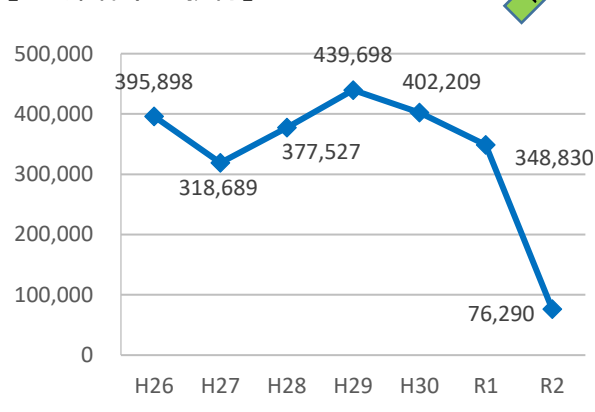
【担当】
スポーツ振興課

【成果】
スポーツ実施率は、体育協会支部による各地区へのアンケートやスポーツ事業参加者へのアンケートにより算出している。5年間の数値を見ると、4年間は基準値に近い数値または大きく超える数値となっている。これは、健康への関心の高まりのほか、各種スポーツ事業の開催や施設の維持管理等の環境整備によるものと考えられる。しかしながら、令和元年度は基準値を大きく下回る数値となっており、調査方法等を見直す必要がある。

【課題・方向性】

体力の保持増進や健康志向の高まり、地域づくりやコミュニティ形成のために、一定程度の市民はスポーツを行っているが、増加傾向となっていない現状にある。今後は、市民ニーズを反映した事業の開催、家族や団体に楽しめるレクリエーション大会等を実施するほか、利便性の高い施設整備等により、スポーツに取り組みやすい環境をつくり、実施率を向上させていく。

公園競技施設の利用者数
【人・館林市の教育】



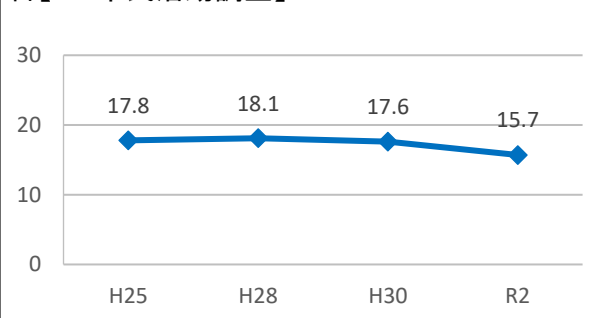
【担当】
スポーツ振興課

【成果】
各施設の老朽化が進んでいる状況のなか、工事や修繕等の維持管理及び各種スポーツ事業の開催により、基準値となっている平成26年度の利用者数を、平成29年度、平成30年度の2か年は超えることができた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響から、施設の貸し出しを中止した令和元年度、令和2年度は目標に達していない。

【課題・方向性】

公園競技施設の大半が建設から40年を超えているため、市民が安心してスポーツの出来る環境を維持するとともに、暑さ対策やバリアフリー化を進める必要がある。さらに、市民ニーズを把握しながらスポーツ教室や事業を展開し、人口減少の状況下において現状を維持する方向で進めていく。

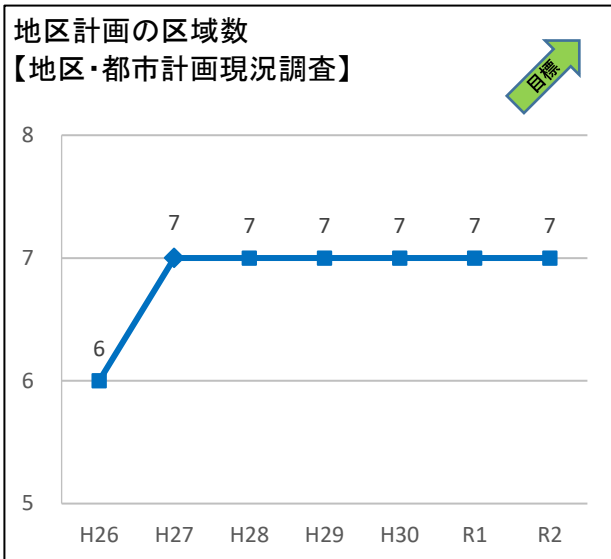
スポーツに取り組む市民のために
貢献する活動を行っている市民の割合【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

基本目的VI「便利で快適な住みやすいまち」

◆施策目的16「地域性に応じた土地利用ができていくまちになる」



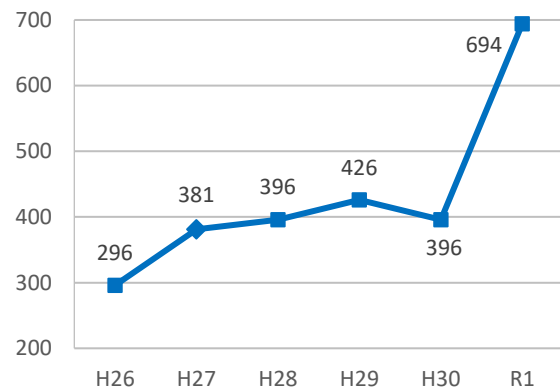
【担当】
都市計画課

【成果】
赤生田地区地区計画の都市計画決定により増加。

【課題・方向性】
引き続き新規地区の検討を行う。

◆施策目的17「まちなかににぎわいがあるまちになる」

館林東西駅前広場連絡通路の通行量【人/日・課データ】



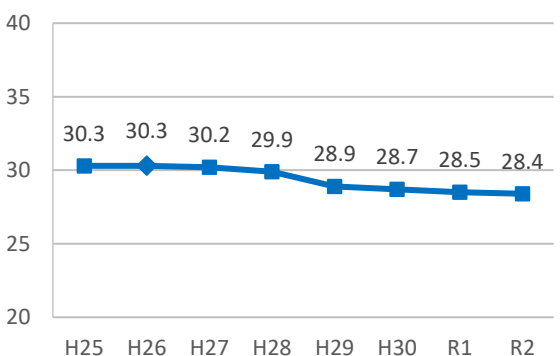
【担当】
財政課

【成果】
通行量は基準年よりも増加している。平成30年度末に館林駅西口駅前広場の整備が完了し、令和元年度には、西口に通学バスの発着場所が移動したことの影響もあり、通行量は大きく増加している。(令和元年度から連絡通路の管理については、都市計画課から財政課に移管)
※令和元年度までは、都市計画課が通行量調査を実施。令和2年度については、同調査は実施していない

【課題・方向性】

「まちの顔」である館林駅の東西を結ぶ連絡通路において、行き交う市民等が安全に施設を利用できるよう適正な維持管理を行っていく。なお、施設を都市計画課が所管していたときは、館林駅周辺の賑わいの創出に向けた指標として、通行量調査を実施していた。

市街化区域内の人口密度【人/ha・課データ】



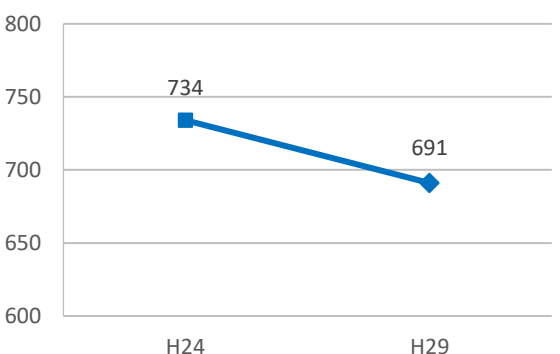
【担当】
都市計画課

【成果】
市全体として人口減少が進んでおり、市街化区域内の人口密度についても同様に低下した。

【課題・方向性】

立地適正化計画を推進することで、市街化区域内への居住の集約を進める。

中心市街地内の事業所数【事業所・経済センサス】



【担当】
商工課

【成果】
中心市街地内の事業所数については、経済センサスのデータを基に、中心市街地のエリア内の把握に努めてきたが、現状を維持することがかなり困難な状況であった。

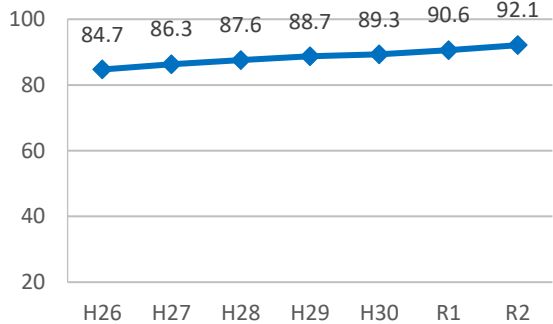
【課題・方向性】

事業者の高齢化や後継者不足により、減少の一途をたどっている。事業承継等の支援により事業所数減少の抑制を図る。

◆施策目的18「人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる」

土地区画整理事業進捗率
(西部第一南地区)

【%・進捗状況一覧表(事業費ベース)】



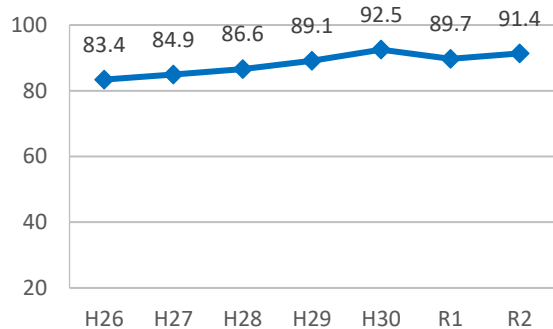
【担当】
区画整理課

【成果】
平成31年度から国庫補助を再採択(道路区画)し、新たな交付金(都市再生区画)も活用しながら、(都)西部一号線を中心に整備を推進した。令和2年度までの事業進捗率は、92.1%となっている。

【課題・方向性】
未整備区間である(都)西部一号線の建物移転と道路整備等を重点的に進める。

土地区画整理事業進捗率
(西部第一中地区)

【%・進捗状況一覧表(事業費ベース)】



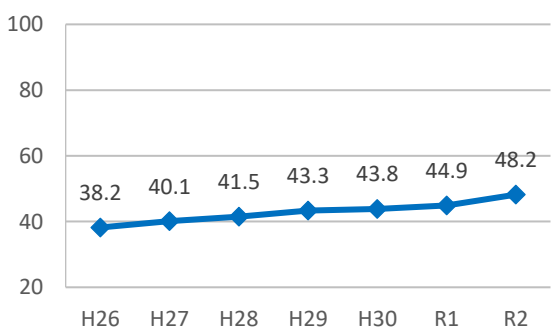
【担当】
区画整理課

【成果】
平成31年度に、西口駅前広場が完成した。この結果、館林駅の交通結節点の強化による利便性の向上や東西連絡通路機能の充実を図ることができた。令和2年度までの事業進捗率は、91.4%となっている。

【課題・方向性】
早期の事業完了に向け、未整備区域の建物移転及び道路整備等を進める。

土地区画整理事業進捗率
(西部第二地区)

【%・進捗状況一覧表(事業費ベース)】

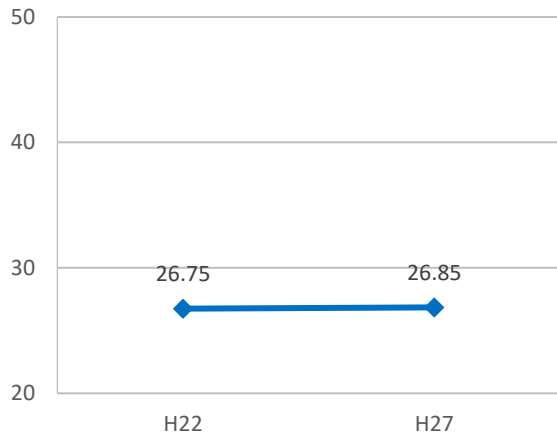


【担当】
区画整理課

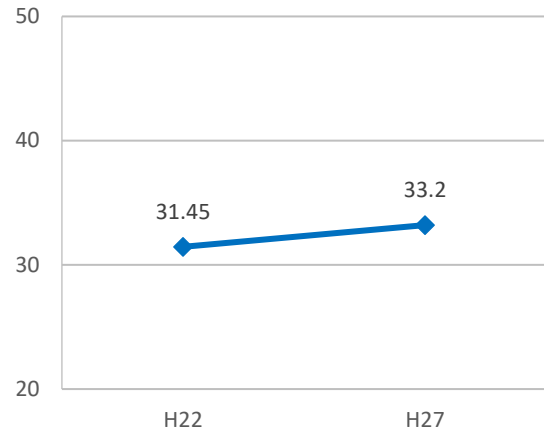
【成果】国庫補助(道路区画)や令和2年度からは、新たな交付金(都市再生区画)も活用しながら、整備を進めた。令和2年度までの事業進捗率は、48.2%となっている。

【課題・方向性】
事業進捗率が3地区の中で一番遅れているため、地権者等の理解を得ながら、更なる事業推進を図る。

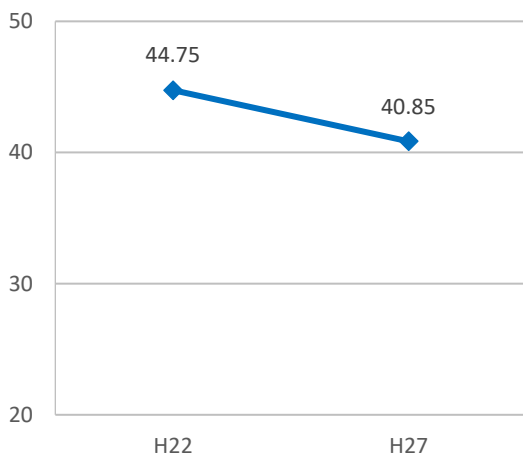
走行速度調査(国道122号)
【km/h・道路交通センサス
一般交通量調査報告】



走行速度調査(国道354号)
【km/h・道路交通センサス
一般交通量調査報告】



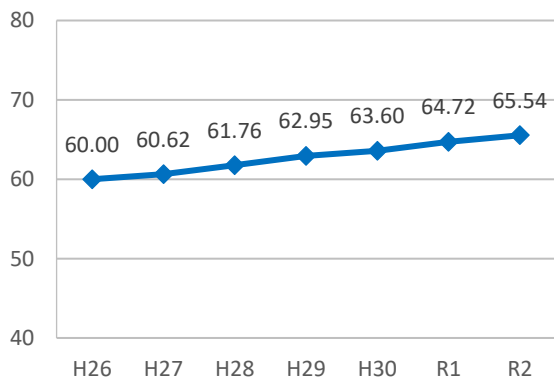
走行速度調査(主要地方道佐野行田
線)【km/h・道路交通センサス一般交
通量調査報告】



【担当】
都市計画課

※出典元の統計調査等の集計年次では
ないため、平成28年度以降のデータ無し

都市計画道路の整備率
【%・都市計画現況調査】

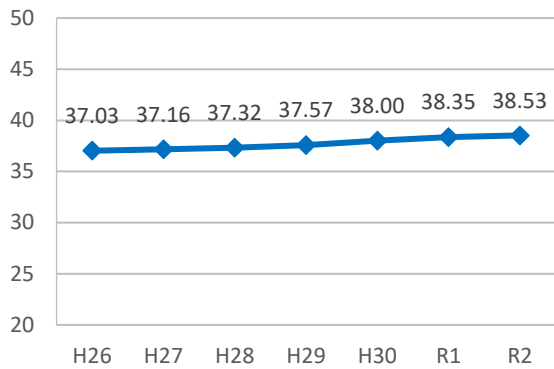


【担当】
都市計画課

【成果】
都市計画道路の整備を進めたほか、都
市計画道路の計画の見直しを行い、一部
路線の計画を廃止したことで、整備率が
増加。

【課題・方向性】
引き続き都市計画道路の整備及び見直
しを進める。

市道の整備率
【%・館林市道路台帳(改良率)】

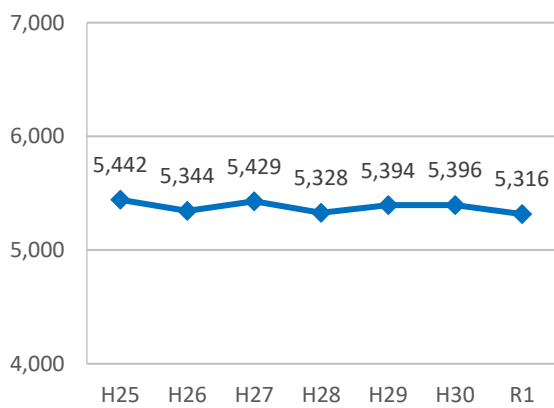


【担当】
道路河川課

【成果】
900km弱もの延長を有する市道にあって、道路改良率においては、徐々にではあるが、着実に上昇させることができた。

【課題・方向性】
効果的な整備となるよう、各路線の優先順位を考慮したうえで更に着実に整備を推進する。

駅(市内)の年間乗降人員
【千人・統計書】

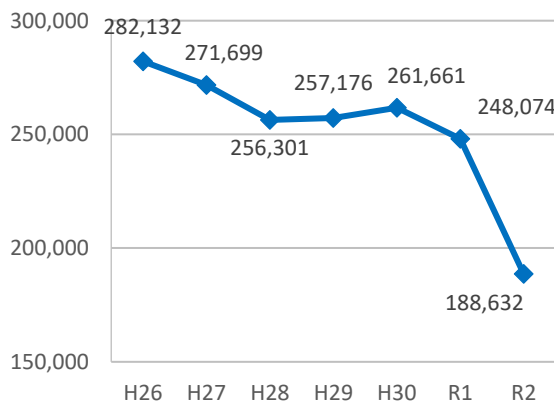


【担当】
企画課

【成果】
成果としては、東武鉄道沿線市町で構成する東武鉄道整備促進期成同盟会により、地下鉄の乗り入れなどの要望活動を継続して行った。一方で、指標は約2%の減少とおおむね横ばいで推移している。

【課題・方向性】
課題としては、下落幅は小さいものの、乗降人数が減少していることが挙げられる。
方向性としては、関係市町と連携を深めながら、都心への直通運行などの要望活動を引き続き行い、人や物が安全で快適に移動できるまちを目指す。

路線バスの年間利用者数
【人・課データ】

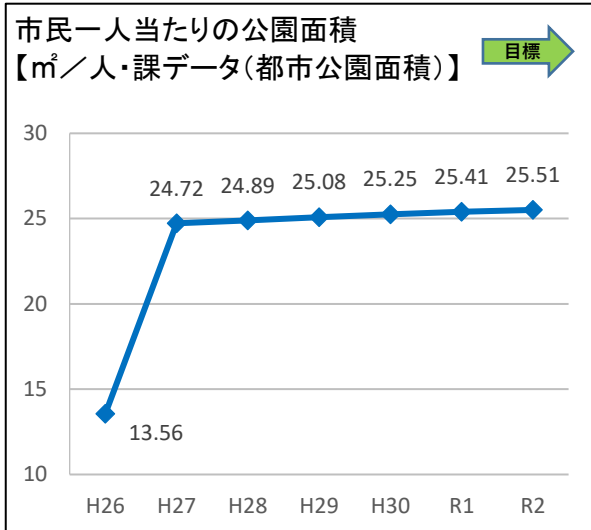


【担当】
安全安心課

【成果】
運行経路及びダイヤの見直しにより、利用者数は一時、微増傾向となったが、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は大幅な減となってしまった。

【課題・方向性】
令和3年3月に策定した館林都市圏地域公共交通計画を推進することにより、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組み、利用者数の増加を目指す。

◆施策目的19「緑の多い魅力のあるまちになる」



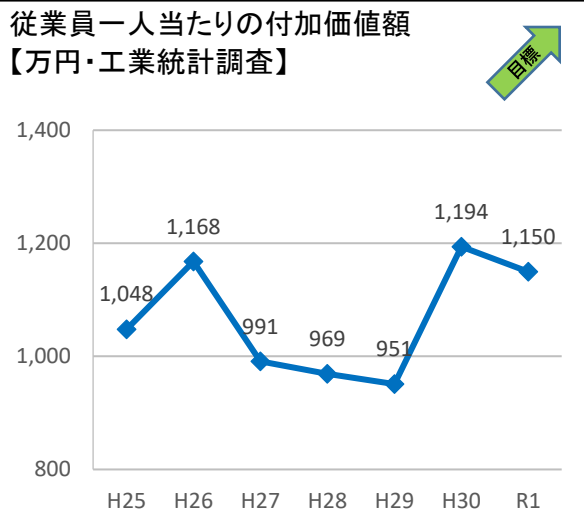
【担当】
緑のまち推進課

【成果】
都市公園は1箇所増、都市公園面積は2,745㎡増、市民一人当たりの都市公園面積は0.62㎡の増であり、一人当たりの面積は引き続き県内平均及び全国平均を上回っている。

【課題・方向性】
都市計画決定されている未整備の公園の整備と、既存の公園再編について、公園の現状や市民ニーズに応じた、魅力ある公園整備と機能の更新を行っていくことが課題である。

基本目的Ⅶ「出会いと交流のある元気で活力のあるまち」

◆施策目的20「新しい産業が起きるまちになる」



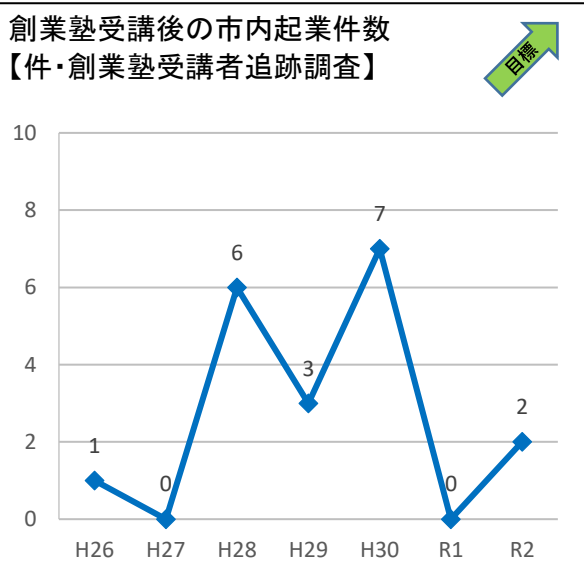
【担当】
商工課

【成果】

本市の中心となる食料品産業が景気動向の影響を受けずに推移していることもあり、期間中の数値変動については、一定のレベルを保持していたと考えられる。

【課題・方向性】

市内企業の製品・技術開発に対する支援等により、新たな付加価値の向上を図る。

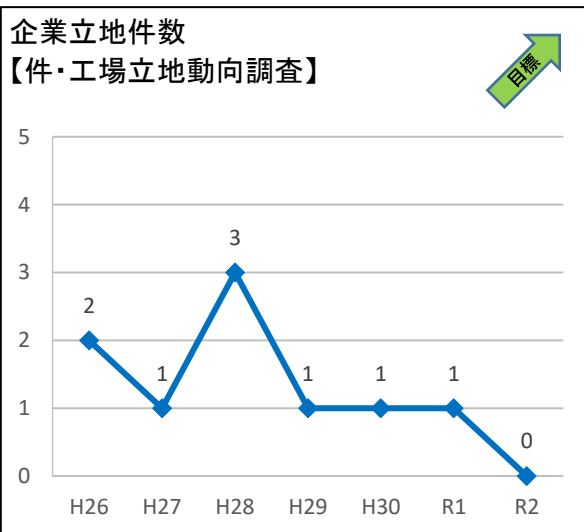


【担当】
商工課

【成果】成果としては、5年で19件の創業者を支援することができた。令和元年度は、創業塾開催後に新型コロナウイルス感染症の影響もあり、創業を見送った受講者がいたことから実績がなかったが、全体として基準値を大幅に上回る結果となった。

【課題・方向性】

課題としては、市からの創業支援終了後にすぐに廃業とらないように創業補助金の支給前に創業計画の指摘などを的確に行うことである。方向性としては、今後も、引続き創業者の支援を行い創業の件数を増加に繋げていく。



【担当】
商工課

【成果】

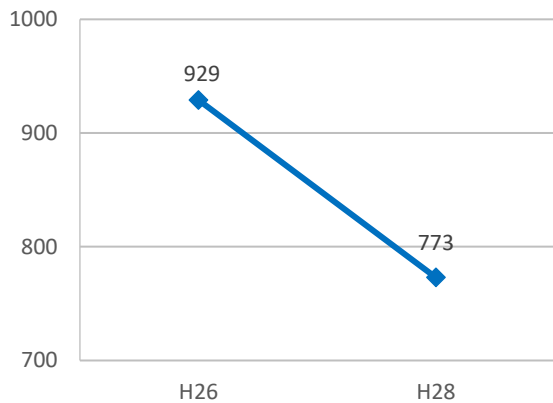
上記期間内における企業立地に関しては、企業が立地するにも空き用地が無い状況であったことから、民間企業同士での契約に基づく立地があったという実態である。

【課題・方向性】

新たに本市への立地及び既存企業で拡張を望む企業のニーズ把握に努め、本市立地の優位性をPRし、新規団地の動向も踏まえ、各種支援を通じ優遇措置の検討を進める。

◆施策目的21「事業者の活発な活動により、商工業が盛んなまちになる」

小売業・卸売業の商店数
【店・経済センサス】

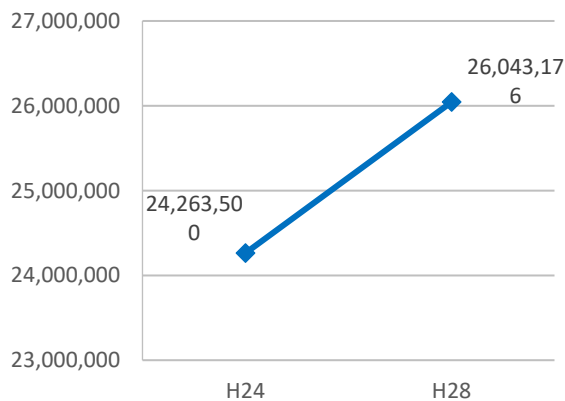


【担当】
商工課

【成果】
経済センサスの調査実施時期に関連し、令和2年度のデータは無いが、事業者の高齢化や後継者不足、景気動向の影響により、減少傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響も含め、今後の事業所数の減少も懸念される。

【課題・方向性】
事業者の高齢化や後継者不足により、減少の一途をたどっている。創業、事業承継等の支援により事業所数減少の抑制を図る。

小売業・卸売業の年間商品販売額
【万円・経済センサス】

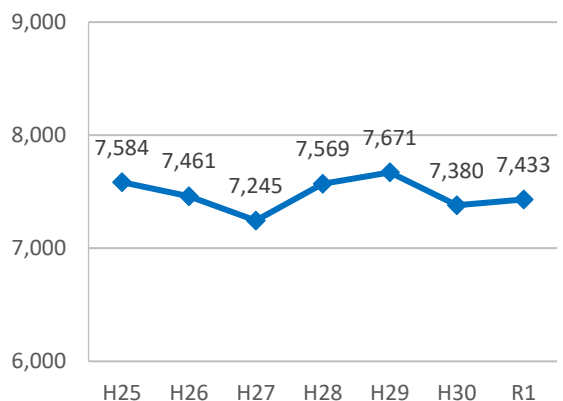


【担当】
商工課

【成果】
経済センサスの調査実施時期に関連し、令和2年度のデータは無いが、事業者数の減少に拍車をかける新型コロナウイルス感染症の影響によって、年間商品販売額の減少も懸念される。

【課題・方向性】
市内小売業・卸売業の事業所の減少を抑制すると共に、付加価値のある商品やサービスを提供するといったブランド力を向上し、単価を上昇させる支援を行う。

従業者数(従業者4人以上の製造業)
【人・工業統計調査】

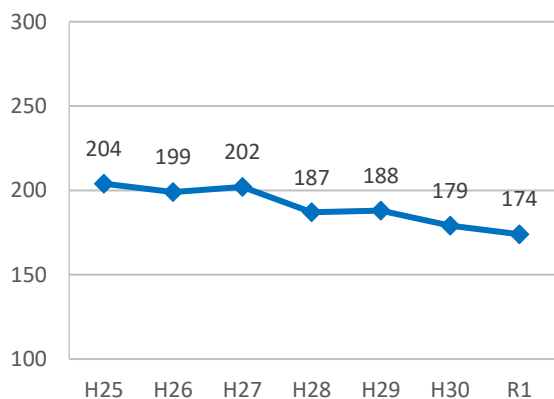


【担当】
商工課

【成果】
市内事業所においても少子高齢化、オートメーション化等による従業員数減少の影響を避けることは難しく、新たな就労所者の確保に各事業所が苦慮している。

【課題・方向性】
少子高齢化社会の影響及び景気動向に左右されるものであり、その時代のニーズに合う支援策を検討し、措置を図っていく。

事業所数(従業員4人以上の製造業)
【事業所・工業統計調査】



【担当】
商工課

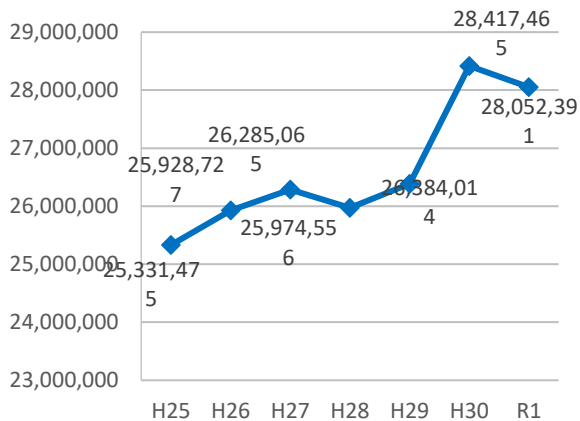
【成果】

事業者の高齢化や後継者不足、景気動向の影響により、微減ではあるが、減少の一途をたどっている。終盤の新型コロナウイルスの影響も含め、今後の事業所数の減少も懸念される。

【課題・方向性】

事業者の高齢化や後継者不足により、減少の一途をたどっている。事業承継等の支援により事業所数減少の抑制を図る。

製造品出荷額等
(従業者4人以上の製造業)
【万円・工業統計調査】



【担当】
商工課

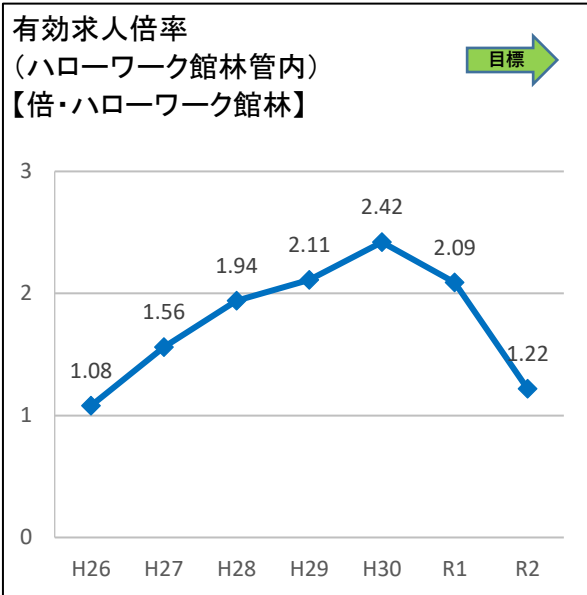
【成果】

本市の特色でもある食料品産業が景気動向に大きく影響を受けない業種でもあることから、数値に関しては一定の数値を保っていたと考えられるものの、業種によっては最終年度の新型コロナウイルスの影響を大きく受けている。

【課題・方向性】

市内製造業においては、食料品・化学・プラスチック等の出荷が増加しており、市域に大手食料品工場が集約している強みを活かし、更なる企業の誘致を推進していく。

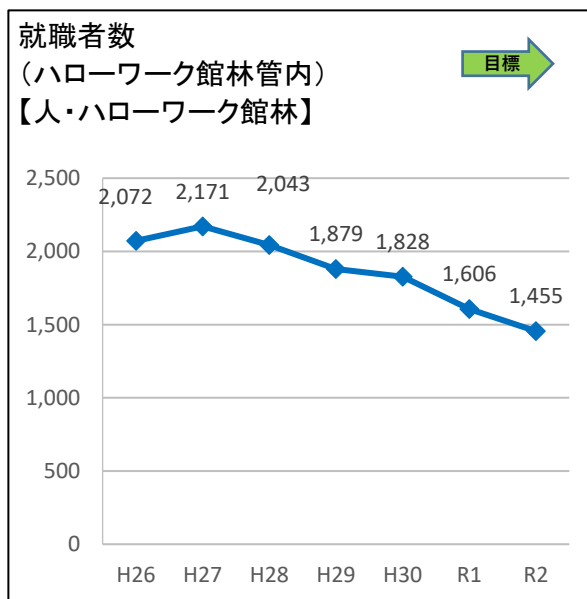
◆施策目的22「安定した労働環境が整っているまちになる」



【担当】
産業政策課(R3～商工課)

【成果】
市内事業者対象に実情に合わせた奨励金をつかったことで、潜在的な労働力の雇用を促進させた。また、新型コロナウイルス感染症の影響で事業所の求人が減少し、実績が基準値に近づいた。

【課題・方向性】
新型コロナウイルスの影響もあり求人数は減少したものの、市内事業所は依然人手不足な状況であるため、求職者に対して広く市内事業所の情報提供に努める。



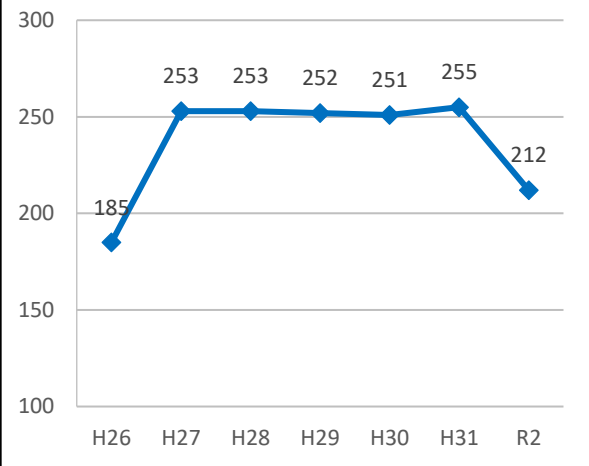
【担当】
産業政策課(R3～商工課)

【成果】
関係機関と連携してガイダンスや就職面接会を開催してきた。面接会では採用につながる機会が多く、新規就職者数の増加に貢献できた。令和元年度からは新型コロナウイルス感染症の影響により新規就職者数は減少傾向にある。

【課題・方向性】
労働力人口が減少傾向にあるため、働く意欲のあるかたが希望の就職先を見つけられるように、企業ガイダンスや就職面接会などを行う。

◆施策目的23「農産物を安定して提供できるまちになる」

認定農業者数
【経営体・課データ】

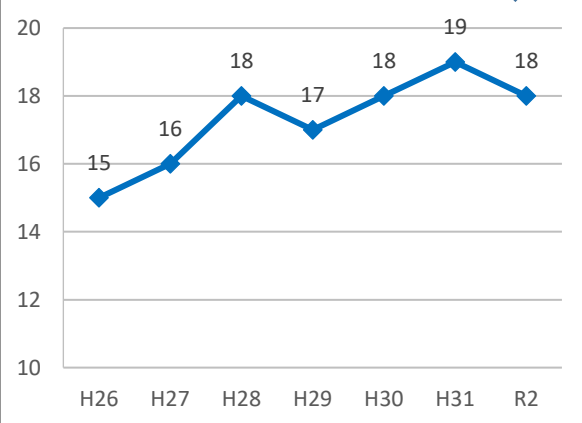


【担当】
農業振興課

【成果】
成果としては、平成27年度に国による制度要件の変更(収入補てん制度の加入条件緩和)が実施され、加入要件を満たすために認定農業者数が一定数増えた。しかし、平成31年に新たな収入補てん制度である「収入保険制度」が創設され、認定未加入者でも加入できるようになったことから加入者及び更新者が減少した。

【課題・方向性】
課題としては、国の政策により認定農業者であることのメリットが左右されてしまうため、加入者数や更新者数(5年ごと)に大きな影響がある。方向性としては、引き続き国、県と連携し、農業者へ向けて制度について広く周知し、加入促進を図っていく。

農業法人数
【経営体・課データ】

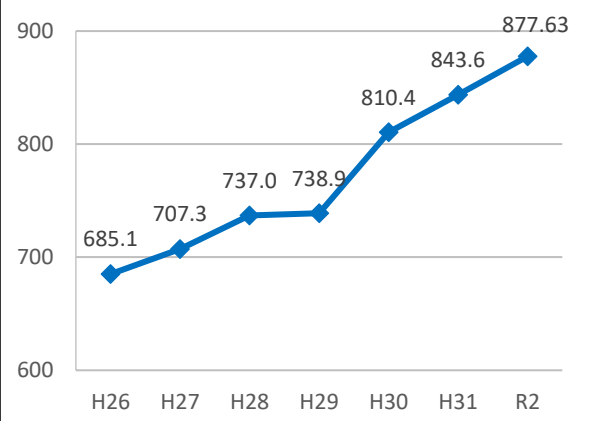


【担当】
農業振興課

【成果】
成果としては、期間内に新規参入の法人が3法人あり、法人数全体として増加した。

【課題・方向性】
課題としては、法人の構成員が高齢化しており、若い世代など後継者への引継ぎがされていないことがあげられる。方向性としては、国、県、JAなどの関係機関と連携し、構成員等の後継者への引継ぎが図れるように支援していく。

農用地利用集積面積
【ha・農業委員会データ】

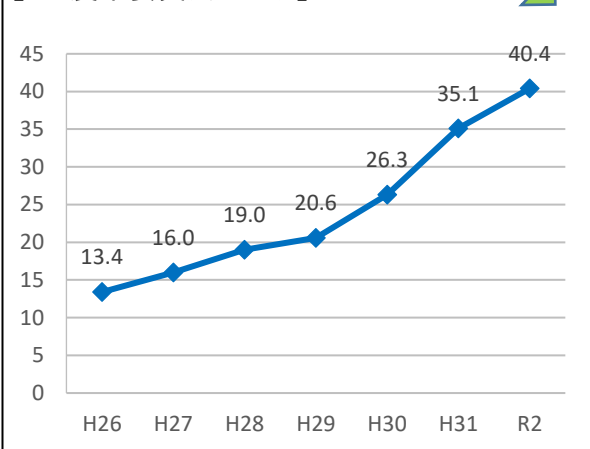


【担当】
農業委員会

【成果】成果としては、農地所有者の高齢化が進む中で、耕作できなくなった高齢者所有農地(自作地)が地域の担い手へ貸付されたため、期間中には年間平均30ha超の増加傾向にあるなど、令和2年度は目標値を達成できた。

【課題・方向性】
課題としては、農業従事者の高齢化や後継者不足、新規就農者の減少などにより、耕作放棄地の増加が予想される。方向性としては、農地中間管理機構を活用した農地の集積・集約化を図っていく。

荒廃農地の面積
【ha・農業委員会データ】



【担当】
農業委員会

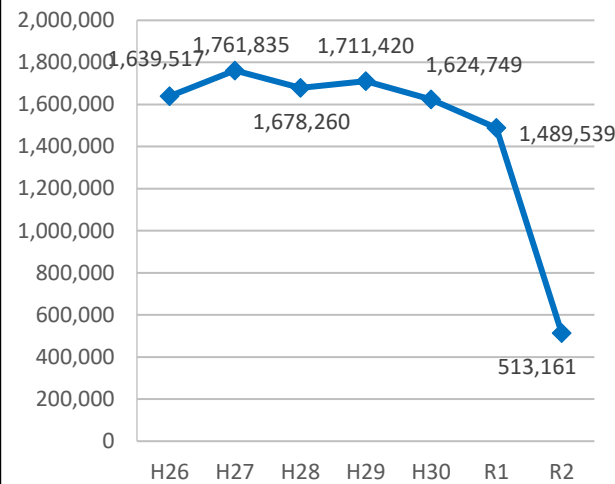
【成果】成果としては、農業委員及び推進委員による農地パトロールを実施したが、農業従事者の高齢化や後継者不足、新規就農者の減少などにより、指標に係る今後の目標を達成することができなかった。

【課題・方向性】
課題としては、農業従事者の高齢化や後継者不足、新規就農者の減少などにより、耕作放棄地の増加が予想される。方向性としては、農地パトロールを実施するとともに、担い手の育成及び作業効率向上のための農地の集積・集約化を図っていく。

◆施策目的24「多くの人が訪れたいくなる個性と魅力のあるまちになる」

観光客入込数

【人・観光入込客数調査結果】



【担当】

つつじのまち観光課

【成果】

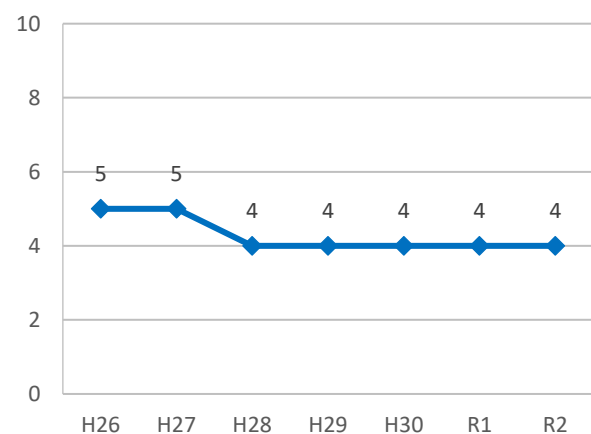
既存事業に捉われない新たな観光として、「里沼」やアニメ「宇宙よりも遠い場所」を活用した観光事業を展開しているが、新型コロナウイルスの影響により、入込数は大幅に減少し目標を達成できなかった。

【課題・方向性】

花イベントの充実と新たな観光資源を生かしながら、コロナ収束後を見据え、「近距離」「安全安心」「デジタル化」をテーマに、主に若い世代をターゲットにした観光施策を展開し、稼ぐまちづくりを推進する。

観光ボランティアガイドの団体数

【団体・ボランティア団体総会資料】



【担当】

つつじのまち観光課

【成果】

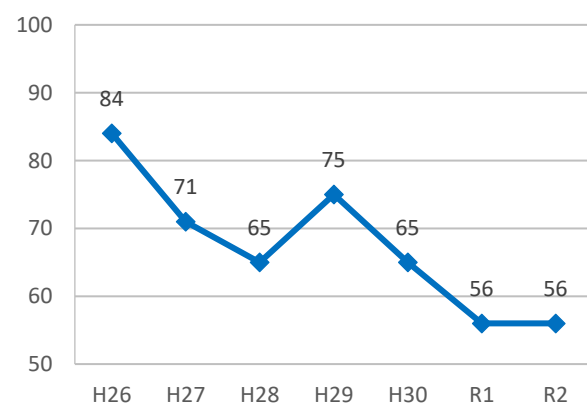
日本遺産「里沼」認定に伴い、市内観光資源が増加したが、新型コロナウイルスの影響により、活動休止状態が長期的になり、ボランティア団体を増加することが出来ず、現状維持となり、目標を達成できなかった。

【課題・方向性】

既存のボランティア団体に加えて、日本遺産「里沼」も有効活用しつつ、市内観光資源のガイド団体の増加を図る。

観光ボランティアガイドの登録者数

【人・ボランティア団体総会資料】



【担当】

つつじのまち観光課

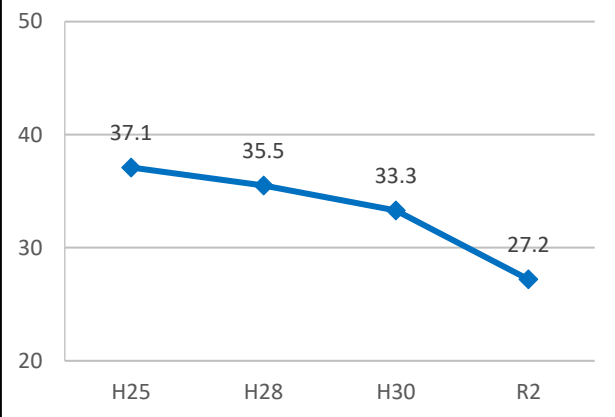
【成果】

新型コロナウイルスの影響により、活動が休止状態が長期的になった影響もあり、登録者数が減少してしまい、目標を達成できなかった。

【課題・方向性】

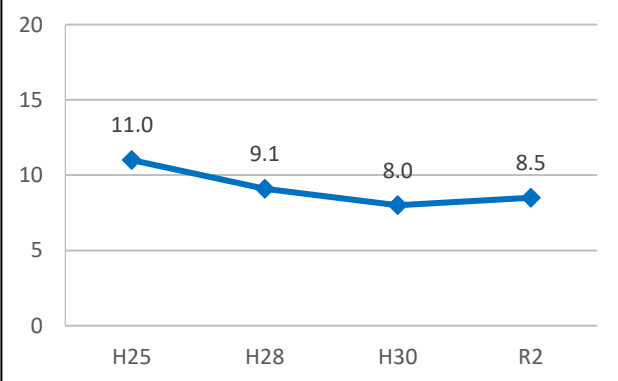
「withコロナ」を検討し、感染症対策を講じたうえで活動し、行政としても利用促進に向けてPRしていく。

地域の行事などに参加している市民の割合【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

国内外から来訪した方たちと交流をすすめる活動をしている市民の割合【%・市民活動調査】

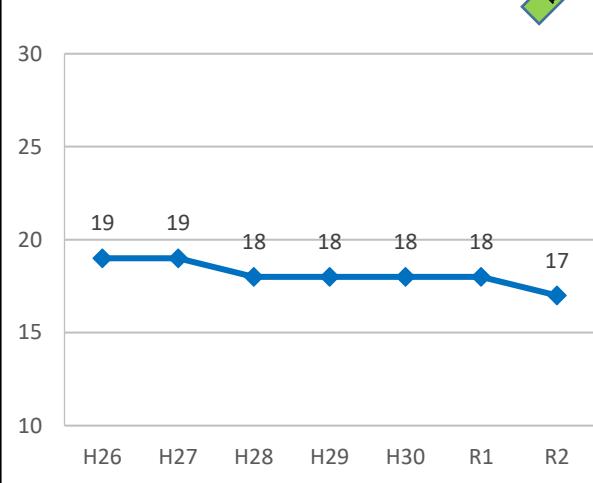


【市民活動調査結果】

基本目的Ⅷ「まちづくりのしくみが整い発展できるまち」

◆施策目的25「まちづくりを市民と行政が共創して行うまちになる」

館林市内に主たる事務所がある
NPO法人数【法人数・課データ】

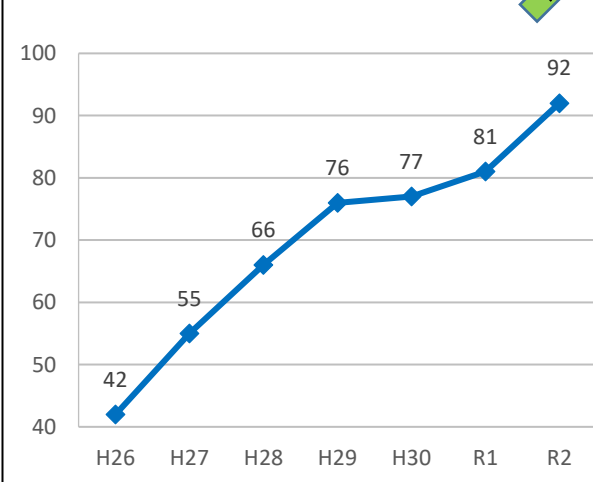


【担当】
市民協働課

【成果】
事務処理研修会を実施したり窓口、電話での相談や書類作成の支援を行ったりしていたが、後継者不足などの理由で解散する法人があった。結果、市内NPO法人数はR2年度17法人となり、基準値より2法人減少した。

【課題・方向性】
市民が様々な形態で市民活動に取り組む中、NPO法人の枠にとらわれることなく、それぞれに合った形で市民活動が活性化するように引き続き支援する。

「ちよいボラ」登録者数
【人・課データ】

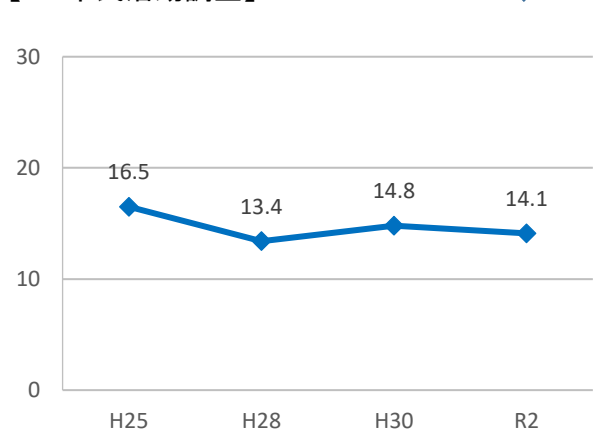


【担当】
市民協働課

【成果】
ホームページへの掲載や、窓口でのチラシ配布等周知活動を続けた結果、ちよいボラ登録者数は、R2年度92人となり、基準値より50人増加した。

【課題・方向性】
市民協働の重要性を啓発するとともに、ボランティア情報の提供をさらに充実させ登録者数の増加につなげ、市民活動の活性化を図る。

共に魅力的なまちを創るために
活動している市民の割合
【%・市民活動調査】

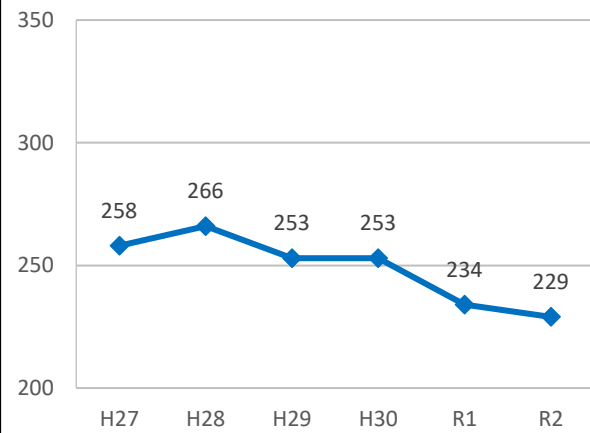


【市民活動調査結果】

◆施策目的26「人権尊重の意識が生活の中に定着した住みよいまちになる」

在住外国人を支援する市民の数
(個人等)

【人・館林市国際交流協会資料】



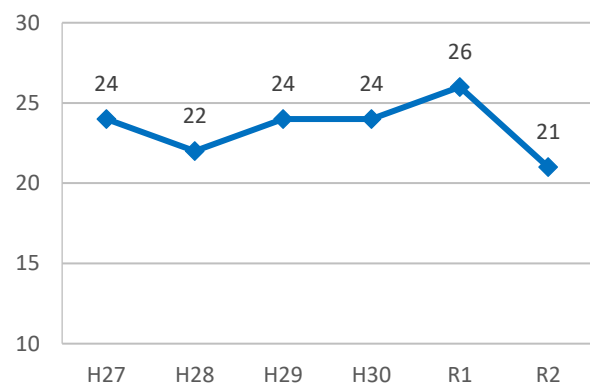
【担当】
市民協働課

【成果】
会員ボランティアが行う日本語教室、外国人との交流・支援活動は年々充実しているものの、個人会員数は、R2年度229人(各年度の総会資料数値)でR元年度以降は減少して、基準値より29人減少してしまった。

【課題・方向性】
協会員が協会の趣旨に賛同してくれる新規会員の募集を呼び掛けている。今後も会員数が増えるよう取り組みながら身近で細やかな外国人への支援活動を続けていく。

在住外国人を支援する市民の数
(法人)

【団体・館林市国際交流協会資料】

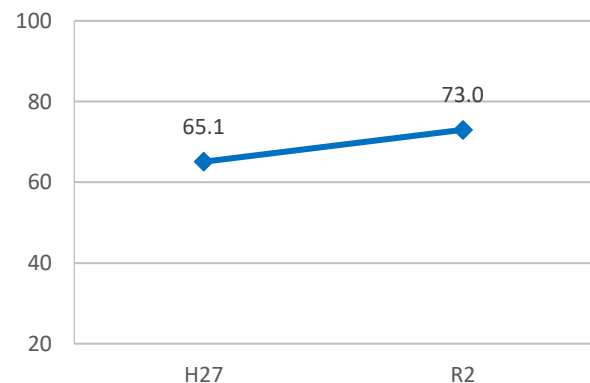


【担当】
市民協働課

【成果】
市内の外国人雇用主や企業に協会活動への理解と協力をお願いしているところだが、法人会員数は、R2年度21団体(各年度の総会資料数値)となり、基準値より3団体減少してしまった。

【課題・方向性】
協会の趣旨に賛同し協力していただける法人が増えるよう周知をしながら、日本人も外国人も安心して暮らせる多文化共生の地域づくりを目指し外国人支援を継続する。

男性優位と思う市民の割合(男女の地位の平等感)【%・男女共同参画社会に関する市民意識調査】



【担当】
市民協働課

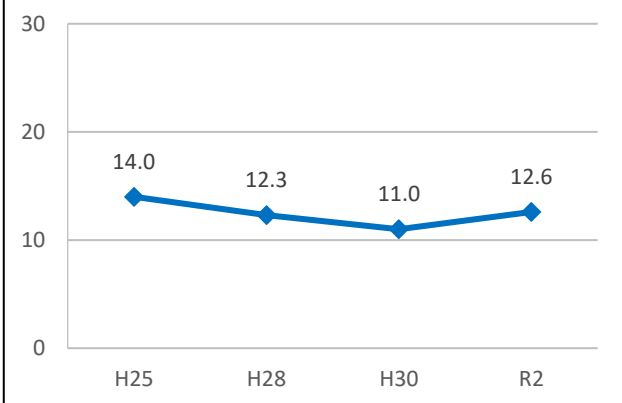
【成果】
男女共同参画意識醸成のため講座や講演会を毎年実施しているが、調査結果は、社会全体において男性が優位と思う人の割合 73%(R2年度市民意識調査)で基準値65.1%から7.9%増加してしまった。

【課題・方向性】
男女共同参画に関する法令や制度の整備は進んでいるものの、依然として固定的な役割分担意識が残っている。今後も基本計画に基づき意識改革のための啓発を引き続き行っていく。

人権が尊重される平和な社会をつくる
ための活動をしている市民の割合
【%・市民活動調査】

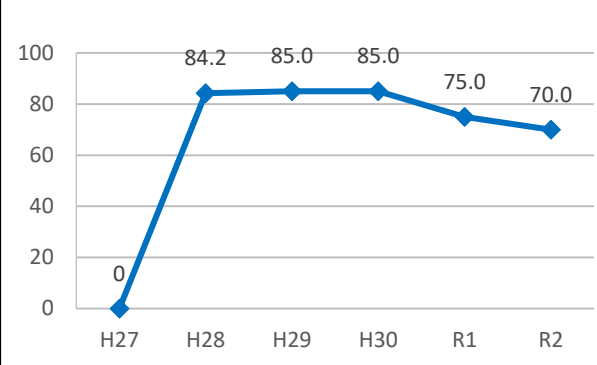


【市民活動調査結果】



◆施策目的27「高品質で生産性の高い行政活動が展開されているまちになる」

第六次行政改革大綱の進捗状況
【%・第六次行政改革大綱実施計画書】



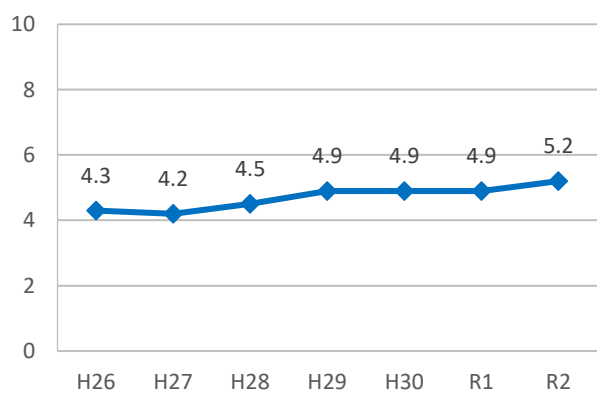
【担当】
企画課

【成果】
成果としては、六次大綱の推進期間（平成27年度～令和元年度）において、全20計画が策定され、最終的に14の計画が実施・達成、5の計画が未達成、1の計画が中止となった。なお、個人住民税の特別徴収一斉指定や下水道事業の企業会計導入など、実施・達成された計画は全体の70%になり、指標に係る今後の目標を達成することができた。

【課題・方向性】

課題としては、公民連携や財源確保、ICT化の推進といった新たな項目や、六次大綱における5つの未達成計画が挙げられる。方向性としては、新たな項目や未達成計画などについて、令和2年度からスタートした第七次行政改革大綱や個別計画により、行政改革を引き続き推進し、七次大綱の取組状況割合の向上を目指す。

実質公債費比率
(早期健全化基準25%)
【%・課データ】



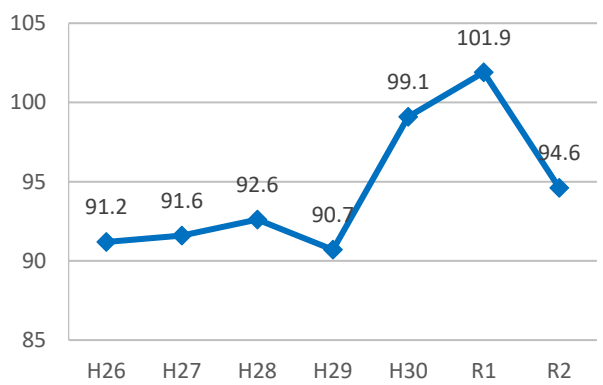
【担当】
財政課

【成果】
一部事務組合の施設整備に伴う組合負担金の増加などにより、基準値と比較すると上昇している。

【課題・方向性】

国の健全化基準値以内の財政運営を堅持するため、地方債の発行においては、地方交付税措置該当事業を選択するなど、起債充当事業の厳選に留意する。

将来負担比率
(早期健全化基準350%)
【%・課データ】



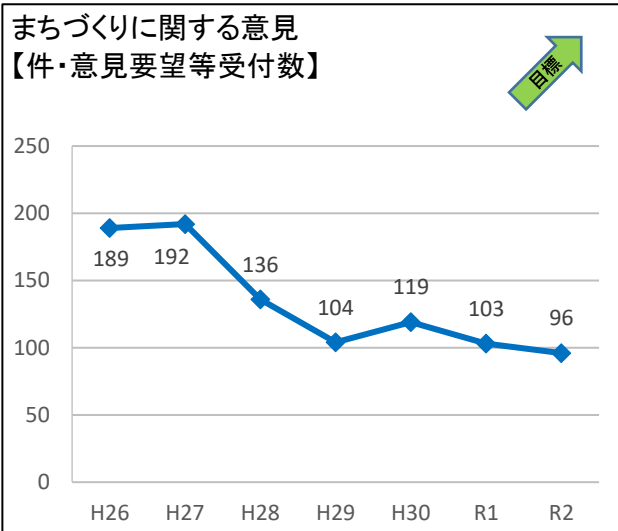
【担当】
財政課

【成果】
平成29年度には基準値を下回ったものの、平成30年度からは学校給食センターや新消防庁舎等の整備に伴い上昇している。

【課題・方向性】

国の健全化基準値以内の財政運営を堅持するため、地方債の発行においては、地方交付税措置該当事業を選択するなど、起債充当事業の厳選に留意する。

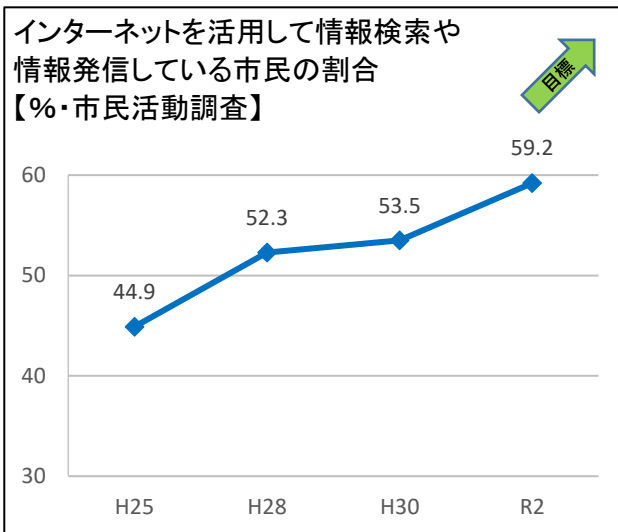
◆施策目的28「開かれた行政となり、透明性の高いまちになる」



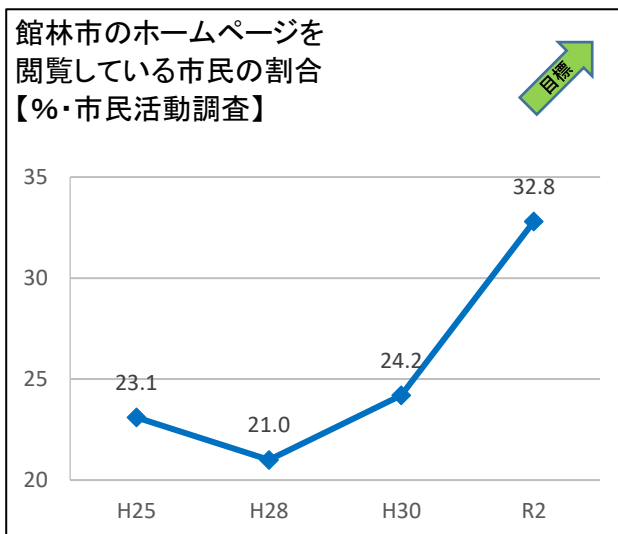
【担当】
市民協働課

【成果】
平成28年度～令和2年度で558件、年間平均112件意見要望等を受け付けた。基準値よりは大幅に低下した。

【課題・方向性】
市政に生かすため、電子メールや文書、電話、面談等のあらゆる手段によって意見要望等を受け付ける。



【市民活動調査結果】



【市民活動調査結果】

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム		基準値				今後の目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			出典	基準値に対する評価		
					年度	数値	単位	出典		実績	実績	実績	実績	実績	改善率	コロナ		[R2]	[総括]	[参考]
環境と安全	I	より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち																		
		01 良好な環境の中で、快適に暮らすことができるまちになる																		
		・BOD数値(城沼中央の水質)	H26	8.0	mg/l	市BOD調査	↓	12	12	9.8	8.3	8.8	-10.0%		市調査結果	×	×	×		
		下水道水洗化率	H26	86.5	%	課データ	↑	88.4	88.8	88.9	89.6	90.1	4.2%		課データ	○	○	○		
		・CO ₂ 排出の抑制を心がけている市民の割合	H25	83.5	%	市民活動調査結果(問1-1)	↑	80.9	72.7	データ無し	データ無し	71.9	-13.9%		市民活動調査結果(問1-1)	×	×	×		
		・良好な環境をつくるための活動をしている市民の割合	H25	42.6	%	市民活動調査結果(問4-1)	↑	44.8	40.7	データ無し	データ無し	36.1	-15.3%		市民活動調査結果(問4-1)	×	×	×		
		02 ごみを減らし、資源を生かすまちになる																		
		・市民一人あたりごみの排出量	H26	(1日当たり)1,034	g	課データ	↓	986	966	975	944	954	7.7%	○	課データ	○	○	○		
		・資源化率	H26	21.9	%	課データ	↑	20.2	22.3	23.2	20.8	19.9	-9.1%	○	課データ	×	×	×		
		・ごみ減量のためにさまざまな工夫をしている市民の割合	H25	84.1	%	市民活動調査結果(問1-2)	↑	78.4	75.2	データ無し	データ無し	75.2	-10.6%		市民活動調査結果(問1-2)	×	×	×		
		・地域として、ごみの発生抑制、再利用、再資源化に取り組んでいる市民の割合	H25	50.8	%	市民活動調査結果(問4-2)	↑	49.3	50.6	データ無し	データ無し	43.5	-14.4%		市民活動調査結果(問4-2)	×	×	×		
		03 安全でおいしい水が安定的に供給されているまちになる																		
		・有効率(有効水量/総配水量)	H26	94.0	%	部内資料(配水量分析表)	↑	92.11	89.24	88.59	87.15	87.17	-7.3%		群馬東部水道企業団データ	×	×	×		
		04 災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる																		
		・自主防災組織設置率	H26	89.4	%	課データ	↑	89.4	90.9	90.9	92.4	92.4	3.4%		課データ	○	○	○		
		・幹線排水路の整備率	H26	71.16	%	幹線排水路整備率一覧表(準用河川除く)	↑	71.5	71.81	76.8	76.80	76.79	7.9%		幹線排水路整備率一覧表(準用河川除く)	○	○	○		
		・公共下水道雨水きよの整備率	H26	72.3	%	課データ	↑	73.5	74	74.4	74.4	74.1	2.5%		課データ	○	○	○		
		・消防車の平均到着時間	H26	8.3	分	消防組合通信指令室データ	→	8.3	9.4	8.8	8.5	9.2	-10.8%		消防組合指令室データ	×	×	×		
		・救急車の平均到着時間	H26	9.7	分	救急統計データ	→	7.6	7.5	7.8	7.5	8.4	13.4%	○	救急統計データ	○	○	○		
		・刑法犯認知件数	H26	674	件	県民局別・市町村別刑法犯発生件数	↓	549	527	560	602	453	32.8%		市町村別刑法犯認知件数(令和2年1月~12月)	○	○	○		
		・交通事故発生件数	H27	424	件	館林警察署	↓	327	340	324	283	210	50.5%		館林警察署(令和2年1月~12月)	○	○	○		
		・消費生活センター出前講座回数	H26	17	回	消費生活センター事業概要	↑	22	19	13	17	1	-94.1%	○	消費生活センター事業概要	×	×	×		
		・災害に備えさまざまな準備をしている市民の割合	H25	46.9	%	市民活動調査結果(問1-3)	↑	47.6	44.8	データ無し	データ無し	51.8	10.4%		市民活動調査結果(問1-3)	○	○	○		
		・ご近所の方たちと声かけをしている市民の割合	H25	53.5	%	市民活動調査結果(問1-4)	↑	50.3	47.1	データ無し	データ無し	45.5	-15.0%		市民活動調査結果(問1-4)	×	×	×		
		・自主防災組織などに参加している市民の割合	H25	20.2	%	市民活動調査結果(問4-3)	↑	22.9	19.9	データ無し	データ無し	18.8	-6.9%		市民活動調査結果(問4-3)	×	×	×		
		・地域ぐるみで自主防災活動などを行っている市民の割合	H25	18.6	%	市民活動調査結果(問4-4)	↑	18.4	17.8	データ無し	データ無し	15.6	-16.1%		市民活動調査結果(問4-4)	×	×	×		

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム		基準値				今後の目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			出典	基準値に対する評価			
					年度	数値	単位	出典		実績	実績	実績	実績	実績	改善率	コロナ		[R2]	[総括]	[参考]	
福祉と健康	III		・乳がん検診受診率		H26	52.0	%	市民生活と福祉(所属集計データ)	↑	44.9	21	20.3	20.1	15.3	-70.6%		地域保健・健康増進事業報告(所属集計データ) ※40~74歳の受診者 令和2年度より地域保健・健康増進事業報告改正で対象年齢拡大(40~69歳→40~74歳)	×	×	×	
			・生活習慣病予防健康診査のうち、要指導、要医療者の割合		H26	71.1	%	課データ	↓	72	78.6	73.8	78.3	74.9	-5.3%		課データ	×	×	×	
			・メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者及び予備群の割合		H26	27.2	%	国保特定健診法定報告	↓	28.5	28.7(H28)	30.2(H29)	30.1(H30)	30.8(H31)	-13.2%		国保特定健診法定報告(平成29年度実績)	×	×	×	
			・健康の維持や体を鍛えるために運動をしている市民の割合		H25	60.1	%	市民活動調査結果(問1-5)	↑	57.2	55.7	データ無し	データ無し	61.8	2.8%		市民活動調査結果(問1-5)	○	○	○	
			・定期的に健康診断を受けている市民の割合		H25	81.3	%	市民活動調査結果(問1-6)	↑	81.2	79.6	データ無し	データ無し	80.0	-1.6%		市民活動調査結果(問1-6)	×	×	×	
			・心身ともに元気で暮らせるよう、地域の人々とともに健康づくり活動をしている市民の割合		H25	20.5	%	市民活動調査結果(問4-6)	↑	20.3	18.1	データ無し	データ無し	16.5	-19.5%		市民活動調査結果(問4-6)	×	×	×	
			10 適切な医療を受けることができるまちなる																		
			・かかりつけ医所持率		H26	66.7	%	健康づくりに関するアンケート結果(市健康推進課実施)	↑	データ無し(5年毎にアンケート実施。前回実施はH27年2月)	データ無し(5年毎にアンケート実施。前回実施はH27年2月)	データ無し(5年毎にアンケート実施。前回実施はH27年2月)	69.9	データ無し	-		健康づくりに関するアンケート結果(市健康推進課実施)	-	○	○	
			・かかりつけ歯科医所持率		H26	73.4	%	健康づくりに関するアンケート結果(市健康推進課実施)	↑	データ無し(5年毎にアンケート実施。前回実施はH27年2月)	データ無し(5年毎にアンケート実施。前回実施はH27年2月)	データ無し(5年毎にアンケート実施。前回実施はH27年2月)	75.3	データ無し	-		健康づくりに関するアンケート結果(市健康推進課実施)	-	○	○	
			・救急救命士の有資格者数(館林地区消防組合)		H26	41	人	消防組合データ	↑	47	47	52	52	58	41.5%		館林市地区消防組合	○	○	○	
・普通救命講習受講者数		H26	1,127	人	消防組合データ	↑	1,028	1,031	1,087	735	9	-99.2%	○	館林市地区消防組合	×	×	×				
・周産期死亡率		H25	1.9	人	健康福祉統計年報(県)	↓	3.8	2.1	2.1(H29)	0(H30)	0(R元)(千対)	100.0%		健康福祉統計年報(県)	○	○	○				
子育てと学び	IV		子どもたちが健やかに成長できるまち																		
			11 子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちなる																		
			・乳幼児健康診査受診率		H26	(4か月児)97.3 (10か月児)96.3 (1歳6か月児)97.2 (2歳児歯科)96.5 (3歳児)96.1	%	市民生活と福祉(乳幼児健診)	↑	4か月児:97.1% 10か月児:97.3% 1歳6か月児:97.3% 2歳児歯科:97.5% 3歳児:95.0%	4か月児:99.6 10か月児:99.0 1歳6か月児:97.5 2歳児歯科:97.5 3歳児:96.7	(4か月児)99.3 (10か月児)99.1 (1歳6か月児)96.3 (2歳児歯科)98.6 (3歳児)96.9	(4か月児)99.7 (10か月児)99.2 (1歳6か月児)98.2 (2歳児歯科)95.9 (3歳児)98.2	4か月児:98.6 10か月児:97.5 1歳6か月児:97.7 2歳児歯科:97.9 3歳児:98.2	1.3%		課データ	○	○	○	
			・予防接種の接種率		H26	麻しん風しん 第1期98.6 第2期93.8	%	予防接種の年度実績	↑	麻しん風しん 第1期99.5 第2期96.1	麻しん風しん 第1期99.6 第2期97.1	麻しん風しん 第1期96.9 第2期95.6	麻しん風しん 第1期91.7 第2期94.8	麻しん風しん 第1期103.2 第2期99.3	5.3%		課データ	○	○	○	
			・妊婦健康診査受診率		H26	79.2	%	群馬県 母子保健事業報告(妊婦健康診査)	↑	80.42	75.4	77.9	80.5	80.4	1.5%		群馬県 母子保健事業報告(妊婦健康診査)	○	○	○	
			・子育て中の親を応援する活動を行っている市民の割合		H25	17.1	%	市民活動調査結果(問4-7)	↑	17.1	16.5	データ無し	データ無し	15.3	-10.5%		市民活動調査結果(問4-7)	×	×	×	
			・子どもの心身の健全な成長を応援する活動を行っている市民の割合		H25	17.6	%	市民活動調査結果(問4-8)	↑	20.1	19.9	データ無し	データ無し	17.0	-3.4%		市民活動調査結果(問4-8)	×	×	×	
			12 心身ともに健康で確かな学力を身につけた子どもが育つまちなる																		
			・標準学力テストで全国平均を上回る小学校数(国語・算数2教科)6年生		H26	8	校	課データ	↑	11	7	10	11	10	25.0%		課データ	○	○	○	
			・標準学力テストで全国平均を上回る中学校数(国語、社会、数学、理科、英語 5教科)2年生		H26	4	校	課データ	↑	3	3	2	3	5	25.0%		課データ	○	○	○	

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム				今後の目標	基準値				令和2年度			出典	基準値に対する評価					
			年度	数値	単位	出典		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		[R2]		[総括]	[参考]				
								実績	実績	実績	実績	実績	改善率					コロナ			
子育てと学び	IV		新体力テストで全国平均を上回る小学校数 5年生	H26	5	校	新体力テスト	1	5	5	8	6	データ無し	-	○	新体力テスト結果	-	○	○		
			新体力テストで全国平均を上回る中学校数 2年生	H26	1	校	新体力テスト	1	3	4	4	3	データ無し	-	○	新体力テスト結果	-	○	○		
	学ぶよこびと豊かな心を育むまち																				
	13 生涯にわたって学び続けることができるまちになる																				
	V			生涯学習ボランティア登録者(団体)数	H26	88	人(団体)	たてばやしのまなびい情報	1	88	92	101	90	75	-14.8%	○	たてばやしのまなびい情報	×	×	○	
				生涯学習関係団体・サークルの登録数	H26	728	団体	たてばやしのまなびい情報	1	667	653	608	599	602	-17.3%	○	たてばやしのまなびい情報	×	×	×	
				自分を高めるために何かを勉強したり、研究している市民の割合	H25	52.2	%	アンケート集計結果(問1-7)	1	51.4	51.2	データ無し	データ無し	52.7	1.0%	○	市民活動調査結果(問1-7)	○	○	○	
	V			14 芸術や文化、歴史や伝統を知り親しむことで、郷土に愛着と誇りが持てるまちになる																	
				文化施設における年間利用者数	H26	223,620	人	館林市統計書 館林市の教育	1	197,732	199,004	200,160	213,501	48,049	-78.5%	○	課データ	×	×	×	
				芸術や文化などに学ぶ意欲を持つ人々のために貢献する活動を行っている市民の割合	H25	21.6	%	市民活動調査結果(問1-8)	1	20.5	23.4	データ無し	データ無し	21.6	0.0%	○	市民活動調査結果(問1-8)	×	×	×	
V			15 楽しんでスポーツができる環境があり、スポーツが盛んなまちになる																		
			週1回以上のスポーツ実施率	H27	45.9	%	スポーツに関するアンケート調査	1	44.4	44.2	45.5	31.3	57.1	24.4%	○	スポーツに関するアンケート調査	○	○	○		
			公園競技施設の利用者数	H26	395,898	人	館林市の教育	1	377,527	439,698	402,209	348,830	76,290	-80.7%	○	館林市の教育	×	×	×		
VI			スポーツに取り組む市民のために貢献する活動を行っている市民の割合	H25	17.8	%	市民活動調査結果(問4-10)	1	18.1	17.6	データ無し	データ無し	15.7	-11.8%	○	市民活動調査結果(問4-10)	×	×	×		
			便利で快適な住みやすいまち																		
			16 地域性に応じた土地利用ができていくまちになる																		
VI			地区計画の区域数	H26	6	地区	都市計画現況調査	1	7	7	7	7	7	16.7%	○	都市計画現況調査	○	○	○		
			17 まちなかににぎわいがあるまちになる																		
			館林東西駅前広場連絡通路の通行量	H26	296	人	課データ	1	396	426	396	694	データ無し	-	○	課データ	-	○	○		
VI			市街化区域内の人口密度	H25	30.3	人	都市計画現況調査	→	29.9	28.9	28.7	28.5	28.4	-6.3%	○	都市計画現況調査	×	×	×		
			中心市街地内の事業所数	H24	734	箇所	経済センサス	→	データ無し	691	データ無し	データ無し	データ無し	-	○	経済センサス	-	×	×		

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム		基準値				今後の目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			出典	基準値に対する評価		
					年度	数値	単位	出典		実績	実績	実績	実績	実績	改善率	コロナ		[R2]	[総括]	[参考]
VI	都市と産業	18 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちなる																		
		・ 土地区画整理事業進捗率																		
		・ 西部第一南地区	H26	84.7	%	西部第一南土地区画整理事業進捗率表	↑	87.6	88.7	89.3	90.6	92.1	8.7%		進捗状況一覧表(事業費ベース)	○	○	○		
		・ 西部第一中地区	H26	80.4	%	西部第一中土地区画整理事業進捗率表	↑	86.6	89.1	92.5	89.7	91.4	13.7%		進捗状況一覧表(事業費ベース)	○	○	○		
		・ 西部第二地区	H26	36.5	%	西部第二土地区画整理事業進捗率表	↑	41.5	43.3	43.8	44.9	48.2	32.1%		進捗状況一覧表(事業費ベース)	○	○	○		
		・ 走行速度調査																		
		・ 国道122号	H22	26.75	km/h	道路交通センサス一般交通量調査報告	↑	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	-		道路交通センサス一般交通量調査報告	-	-	-		
		・ 国道354号	H22	31.45	km/h	道路交通センサス一般交通量調査報告	↑	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	-		道路交通センサス一般交通量調査報告	-	-	-		
		・ 主要地方道佐野野田線	H22	44.75	km/h	道路交通センサス一般交通量調査報告	↑	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	-		道路交通センサス一般交通量調査報告	-	-	-		
		・ 都市計画道路の整備率	H26	60.0	%	都市計画現況調査	↑	61.76	62.95	63.6	64.72	65.54	9.2%		都市計画現況調査	○	○	○		
		・ 市道の整備率	H26	37.03	%	館林市道路台帳(改良率)	↑	37.32	37.57	38	38.35	38.53	4.1%		館林市道路台帳(改良率)	○	○	○		
		・ 駅(市内)の年間乗降人員	H25	5,442	千人	統計書	↑	5,429(H27)	5,328(H28)	5,394(H29)	5,396(H30)	5,316(R元)	-2.3%		統計書(令和元年度実績)	×	×	×		
		・ 路線バスの年間利用者数	H26	282,132	人	課データ	↑	256,301	257,176	261,661	248,074	188,632	-33.1%	○	課データ	×	×	×		
		19 緑の多い魅力のあるまちなる																		
・ 市民一人当たりの都市公園面積	H26	13.56	m ² /人	課データ	→	24.89	25.08	25.25	25.41	25.51	88.1%		課データ(都市公園)	○	○	○				
出会いと交流のある元気で活力のあるまち																				
20 新しい産業が起きるまちなる																				
・ 従業員一人当たりの付加価値額	H25	1,048	万円	工業統計調査	↑	データ無し	969	951(H29)	1,194(H30)	1,150(R元)	9.7%		工業統計調査	○	○	○				
・ 創業塾受講後の市内起業件数	H26	1	件	創業塾受講者追跡調査	↑	7	3	7	0	2	100.0%	○	創業塾受講者追跡調査	○	○	○				
・ 企業立地件数	H26	2	件	工場立地動向調査	→	3	1	1	1	0	-100.0%	○	工場立地動向調査	×	×	×				
21 事業者の活発な活動により、商工業が盛んなまちなる																				
・ 小売業・卸売業の商店数	H26	929	店	経済センサス	→	773	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	-		経済センサス	-	×	×				
・ 小売業・卸売業の年間商品販売額	H24	24,263,500	万円	経済センサス	→	26,043,176	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	-		経済センサス	-	○	○				
・ 従業者数	H25	7,584	人	工業統計調査	↑	データ無し	7,569	7,671(H29)	7,380(H30)	7,433(R元)	-2.0%		工業統計調査	×	×	×				
・ 事業所数	H25	204	事業所	工業統計調査	↑	データ無し	187	188(H29)	179(H30)	174(R元)	-14.7%		工業統計調査	×	×	×				
・ 製造品出荷額等	H25	25,331,475	万円	工業統計調査	↑	データ無し	25,974,556	26,384,014(H29)	28,417,465(H30)	28,052,391(R元)	10.7%		工業統計調査	○	○	○				
22 安定した労働環境が整っているまちなる																				
・ 有効求人倍率(ハローワーク館林管内)	H26	1.08	倍	ハローワーク館林	→	1.94	2.11	2.42	2.09	1.22	13.0%	○	ハローワーク館林	○	○	○				

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム				今後の目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			出典	基準値に対する評価						
			年度	数値	単位	出典		実績	実績	実績	実績	実績	改善率	コロナ		[R2]	[総括]	[参考]				
都市と産業	VII		新規就職者数(ハローワーク館林管内)				→	2,043	1,879	1,828	1,606	1,455	-29.8%	○	ハローワーク館林	×	×	×				
			23 農産物を安定して提供できるまちになる																			
			認定農業者数				H26	185	経営体	課データ	↑	253	252	251	255	212	14.6%		課データ	○	○	○
			農業法人数				H26	15	経営体	課データ	↑	18	17	18	19	18	20.0%		課データ	○	○	○
			農用地利用集積面積				H26	685.1	ha	課データ	↑	737	738.85	810.4	843.6	877.63	28.1%		課データ	○	○	○
			荒廃農地の面積				H26	13.4	ha	課データ	↓	19	20.6	26.3	35.1	40.4	-201.5%		課データ	×	×	×
			24 多くの人が訪れたい個性と魅力のあるまちになる																			
			観光客入込数				H26	1,639,517	人	観光入込客数調査結果	↑	1,678,260	1,711,420	1,624,749	1,489,539	513,161	-68.7%	○	観光入込客数調査結果	×	×	×
			観光ボランティアガイドの団体数				H26	5	団体	ボランティア団体総会資料	↑	4	4	4	4	4	-20.0%	○	ボランティア団体総会資料	×	×	×
			観光ボランティアガイドの登録者数				H26	84	人	ボランティア団体総会資料	↑	65	75	65	56	56	-33.3%	○	ボランティア団体総会資料	×	×	×
地域の行事などに参加している市民の割合				H25	37.1	%	市民活動調査結果(問4-11)	↑	35.5	33.3	データ無し	データ無し	27.2	-26.7%		市民活動調査結果(問4-11)	×	×	×			
国内外から来訪した方たちと交流をすすめる活動をしている市民の割合				H25	11.0	%	市民活動調査結果(問4-12)	↑	9.1	8	データ無し	データ無し	8.5	-22.7%		市民活動調査結果(問4-12)	×	×	×			
計画の推進	VIII		まちづくりのしくみが整い発展できるまち																			
			25 まちづくりを市民と行政が共創しておこなうまちになる																			
			館林市内に主たる事務所があるNPO法人数				H26	19	法人	課データ	↑	18	18	18	18	17	-10.5%		課データ	×	×	×
			「ちよいボラ」登録者数				H26	42	名	課データ	↑	66	76	77	81	92	119.0%		課データ	○	○	○
			共に魅力的なまちを創るために活動している市民の割合				H25	16.5	%	市民活動調査結果(問4-14)	↑	13.4	14.8	データ無し	データ無し	14.1	-14.5%		市民活動調査結果(問4-14)	×	×	×
			26 人権尊重の意識が生活の中に定着した住みよいまちになる																			
			在住外国人を支援する市民の数(個人等)				H27	258	人	館林市国際交流協会総会資料	↑	266	253	253	234	229	-11.2%		館林市国際交流協会総会資料	×	×	×
			在住外国人を支援する市民の数(法人)				H27	24	団体	館林市国際交流協会総会資料	↑	22	24	24	26	21	-12.5%		館林市国際交流協会総会資料	×	×	×
			男性優位と思う市民の割合(男女の地位の平等感)				H27	65.1	%	男女共同参画社会に関する市民意識調査	↓	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	73.0	-12.1%		男女共同参画社会に関する市民意識調査	×	×	×
			人権が尊重される平和な社会をつくるための活動をしている市民の割合				H25	14.0	%	市民活動調査結果(問4-13)	↑	12.3	11	データ無し	データ無し	12.6	-10.0%		市民活動調査結果(問4-13)	×	×	×
計画の推進	VIII		27 高品質で生産性の高い行政活動が展開されているまちになる																			
			第六次行政改革大綱の進捗状況				H27	0	%	第六次行政改革大綱実施計画書	↑	84.2(H27)	85.0(H28)	85.0(H29)	75.0(H30)	70.0(R元)	-		第六次行政改革大綱実施計画書	○	○	○
			財政指標(健全化判断比率)早期健全化基準値内の維持																			
			実質公債費比率(早期健全化基準 25.0%)				H26年度決算	4.3	%	課データ(H26決算ベース)	→	4.5	4.9	4.9	4.9	5.2	-20.9%		課データ(R2決算ベース)	×	×	×
将来負担比率(早期健全化基準 350.0%)				H26年度決算	91.2	%	課データ(H26決算ベース)	→	92.6	90.7	99.1	101.9	94.6	-3.7%		課データ(R2決算ベース)	×	×	×			

第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム				今後の目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			出典	基準値に対する評価			
			年度	数値	単位	出典		実績	実績	実績	実績	実績	改善率	コロナ		[R2]	[総括]	[参考]	
推進			28 開かれた行政となり、透明性の高いまちになる																
			・まちづくりに関する意見	H26	189	件	意見要望等受付数	↑	136	104	119	103	96	-49.2%		意見要望等受付数	×	×	×
			・インターネットを活用して情報検索や情報発信している市民の割合	H25	44.9	%	市民活動調査結果（問1-9）	↑	52.3	53.5	データ無し	データ無し	59.2	31.8%		市民活動調査結果（問1-9）	○	○	○
			・館林市のホームページを閲覧している市民の割合	H25	23.1	%	市民活動調査結果（問1-10）	↑	21	24.2	データ無し	データ無し	32.8	42.0%		市民活動調査結果（問1-10）	○	○	○